

第六十三回帝國議會
衆議院

米穀需給調節特別會計法中改正法律案委員會會議錄(速記)第三回

會議

昭和七年八月二十九日(月曜日)午前十時三十五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 東 武君

理事胎中楠右衛門君 理事宮澤 裕君

理事兼田 秀雄君 理事清家吉次郎君

理事原 吉郎君

胎中楠右衛門君 河野 一郎君

出井 兵吉君 八田 宗吉君

尾崎 天風君 西田 銳吉君

倉元 要一君 渡邊幸太郎君

長田 桃藏君 多木久米次郎君

若宮 貞夫君 寺田 市正君

三善 信房君 松山常次郎君

高田 耘平君 比佐 昌平君

山田 助作君 小川郷太郎君

池田 秀雄君 原 淳一郎君

小池 仁郎君 深水 清君

同日委員青木亮貴君辭任ニ付其ノ補闕トシ

テ池田秀雄君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同日理事青木亮貴君委員辭任ニ付其ノ補闕トシテ原吉郎君理事ニ當選セリ

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 後藤 文夫君

出席政府委員左ノ如シ

農林參典官 松村 謙三君

農林省米穀部長 長瀬 貞一君

拓務省殖產局長 北島謙次郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

米穀需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出)

米穀應急施設法案(政府提出)

米穀法中改正法律案(秦豐助君外二十三名提出)

○東委員長 ソレデハ是ヨリ開會致シマス、昨日ノ農林大臣トノ約束デ、今日ハ十時半カラハ完全ニ此會ノ議事ヲ進メル爲ニ出席スルト云フ約束デアリマスノデ、今十時半五分過ギテ居リマスガ、農林大臣ハ多

分出席スルコトダラウト思ヒマスガ、左様御承知ヲ願フテ置キマス

○清家委員 昨日質問致シマシタケレドモ、明カデナカッタ昨年ノ十一月ニ買上ゲラ

レタ米價ノ平均ハ幾ラデアッタカ、又十二月

ノハ幾ラデアッタカ、明ニ御答ヲ願ヒマス

○長瀬政府委員 只今ノ御尋ノ昨年ノ十一月ノ買入ノ分ヲ申上ゲマス、ソレハ一石當

リ十八圓二錢デゴザイマス、ソレカラ十二月ノ買入ガ十八圓三十七錢九厘デゴザイマ

ス

○東委員長 一寸米穀部長ニ伺ヒマスガ、此昨年買ッタ十一月、十二月ト、何回モ調節

買入、調節賣却チャッテ居ルガ、此中率勢米

價ヲ基準ニシテ買上、賣拂ヲシタモノハド

レダケアルノデスカ

○長瀬政府委員 賣拂ハ致シマセス、買入

ダケヲ行ヒマシタ、此時ハ何レモ率勢米價

ヲ割リマシタ時デアリマス、隨ヒマシテ標

準ハ率勢米價ノ下値二割ヲ割ッタト云フコ

付託議案

米穀需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出)

米穀應急施設法案(政府提出)

米穀法中改正法律案(秦豐助君外二十三名提出)

米專賣法案(胎中楠右衛門君外一名提出)

米專賣特別會計法案(胎中楠右衛門君外一名提出)

植民地米統制法案(胎中楠右衛門君外一名提出)

トデアリマスケレドモ、買入ノ値段ハ色々名柄等デ違ヒマスノデ、平均シテ見マスト

只今申上ゲタヤウナ値段ニナル譯デス

○東委員長 一寸伺ヒマスガ、例ヘバ六年

ノ十一月ニ百萬圓買入レタ、是ハ調節買、

六年十二月ニ二百二十萬石、是モ調節買、ソレ

カラ七年四月ニ五十萬石買入レ、サウシテ

五十萬石賣却シタ、五月ニ五十萬石買入レ、

六月七月ニ五十萬石買入、賣却、斯ウ云フ

風ニ昨日説明ガアッタノデアアルガ、是ハ事實

ニ於テ率勢米價ヲ基準ニシテ其上値下値ニ

依リ、米穀法ヲ基準ニシテチャッタノハ、何レ

ト、何レト、何レトニナルト云フ私ノ質問

デアアルガ、只今伺ッタ昨年ノ買入價格ノ十一

月ノ十八圓二錢、十二月ノ十八圓三十七錢

九厘ト云フモノハ、此率勢米價ノ基準ノ二

割ヲ潜ッタ時ニ是ハ買ッタト云フヤウナ御説

明デスカ

○長瀬政府委員 左様デゴザイマス

○清家委員 昨日聴キマシタノニハ、十一

月ノ最低價格ト云フモノハ、十八圓二十八錢デアツタ、其最低價格ヨリモ二十六錢安イ十八圓二錢ニ買入レラレタト云フコトハ、ドウ云フ意味ナンデアリマスカ

○長瀨政府委員 ソレハ率勢米價ノ下値ニ割ト云フノハ、要スルニ基準ノ標準米ガ此率勢米價ノ下値ニ割ニナリマシタ、實際ニ買上ゲマスノハソレノ格ガ上ノモノモゴザイマス、又下ノモノモゴザイマス、實際ハ上下色々ゴザイマスガ、ソレヲ平均致シマシテ、十八圓二錢ト云フモノニナル譯デアリマス

○清家委員 煩雜デアリマスガ、ソレノ格ノ良イノト惡イノト、石數分ケニ御示シテ願ヒタイノデアリマス、是ハ後ニ皆様モ御入用ニナルデアラウカラ、一寸刷ッテ貰ヘバ尙ホ都合ガ好イノデアリマス

○長瀨政府委員 細カク調べマシテ刷リマシテモ宜シウゴザイマスガ、少シ時期ガ掛ラウカト思ヒマス、只今申上ゲマシタヤウニ、基準米ト云フモノガ、率勢米價ヲ割リマシタノデス、其基準米ハ例ノ米穀法第四條ノ、東京、大阪、各正米市場ノ標準米ガ基準ニナッテ居リマス、ソレガ率勢米價ノ下値ヲ割リマシタ、實際之ヲ買ヒマス時ニハ、裾米ヲ買ヘト云フ要求ガ中々多イノデアリ

マス、ヤハリ格ノ下ツタ、安イ裾米ヲ澤山買ッテ呉レト云フ、斯ウ云フ希望ガ澤山ゴザイマシタノデ、結局平均致シマスと云フト、只今ノ安イ値段ニ相成リマスル譯ナンデアリマス、或ハ若シ急イデ御要求デゴザイマスレバ、是ハ一案デアリマスガ、格差表位ナラバ餘リ時間ガ掛ラズニ出來ヤシナイカト思ヒマス

○清家委員 ソレデ宜シウゴザイマス

○東委員長 大臣ハ今負債整理ノ方ニ行ッテ居リマシテ、精々早ク切上ゲテ此方へ廻ッテ來ルト云フコトデアリマスガ、其間色々數字其他ノコトニ付テ質問ガアレバ質問ヲシテ居ルコトハ、決シテ無用デナカラウト思ヒマスカラ、サウ云フコトニ願ヒマス、ソレデ米穀部長ニ一寸伺ヒマスガ、昨日六百萬石ノ大體買上ノ豫想デアルト云フコトヲ言ハレマシタガ、此六百萬石ト云フノハ、今度一億三千萬圓ヲ殖シテ、サウシテ六百萬石ト云フノデアルカ、ソレカラ實際政府ガ目安ヲ付ケテ、本年買上ゲルベキ標準ヲ六百萬石位ニ置イテ居ルト云フノデアルカ、ソレカラ六百萬石ノ中ニハ假ニ朝鮮、臺灣米モ其中ニ入ッテ居ルノデアルカ、昨日ノ說明ガ、六百萬石買フ餘力ガアルト云フノデアルカ、大體六百萬石位ハ買フ積リデア

ルト云フノカ、若シ積リデアルト云フナラバ、朝鮮、臺灣ノ米ハ幾ラ買フ積リデアルカ、其處ガハッキリシマセスガ一ツ能ク御説明ヲ願ヒマス

○長瀨政府委員 六百萬石買フ積リデアアル譯デアリマセヌノデ、ソレダケノ力ガ最高アルダラウト云フ積算ノ根據ヲ申上ゲタノデアリマス、隨ヒマシテ又朝鮮ノ方ハ六百萬石中ニハ積算ノ根據トシテハ入ッテ居リマセヌ、其以外ニナル譯デアリマス

○東委員長 三千萬圓デ朝鮮ノ方ハドレダケ米ヲ買フ積リデ計畫ヲ立ッテ居リマスカ、其「プラン」チ一ツ承リタイ

○長瀨政府委員 朝鮮、臺灣ヲ加ヘマシテ昨日モ御話ガアリマシタヤウニ、後ニ御答申上ゲタヤウニ自然ノ形ガサウ都合惡クナク入ッテ來テ居リマス、決シテ是ハ惡クナカラウト思ヒマス、要スルニ朝鮮、臺灣ヲ併セマシテ積算ノ根據ト致シマシテハ、先ヅ百二十萬石位デナイカト思ッテ居リマス

○東委員長 分リマシタ

○河野委員 朝鮮米ノ移入ガ不權衡デアルカラ之ヲ月別平均ニスルト云フ建前デ今度ノ案ヲ出シタ、ソレニ關聯致シマシテ縣外ノ移出米ノ方ノ調ヲ少シ御聽キシタイ、縣外移出米ニ付テノ調査ガ、昨日ノ朝鮮米ノ調

査ノヤウナモノガアリマシタラ御示シテ願ヒタイ

○長瀨政府委員 御示シスルモノガアルサウデアリマスガ、簡單ニ申上ゲマスルト云フト、道府縣ノ產米ノ縣外移出數量モ年柄ニ依リマシテ大變高低ガアルヤウデアリマス、併シ假リニ昭和二年カラ昭和六年迄ノ五ヶ年ノ平均位ヲ取ッテ見マス、約千三百萬石ト云フ數ガ出テ居リマス、是ハ私ハ少シ多過ギルヤウニ思ヒマスケレドモ、大體平均トシテハマア千三百萬石位ト抑ヘテ下スッテ差支ナイト思ヒマス

○河野委員 此米穀要覽ノ中ニ小作米以外ノ販賣米ノ調ト云フモノガ出テ居リマスガ、其調方ハ相當正確ナモノデアリマスカ、ドノ程度ニ御調べニナッタノデアリマスカ

○長瀨政府委員 是ハ各道府縣カラ報告ヲ取リマシタモノデアリマス、併シ地主ト生産者トノ米穀販賣狀況ト云フモノハ、御承知ノ通り非常ニ分チガ困難デアリマシテ、地主ト申シマシテモ、地主デ小作米ヲ得テ居ル以外ニ自ラ耕作シテ居ル者モ混ッテ居リマスシ、ハッキリシナイデ、中ニハ鼠色ノ部分モアルダラウト思ヒマス、是ハ十分正確ナト云フコトハ到底申上ゲラレマセヌト思ヒマス、先ヅ一應ノ標準ノ程度ト御承知

ヲ願ヒマス

○河野委員 大體之ヲ以テ比較的農家ノ有產階級ト、然ラザル者トニ分ケテ米ノ販賣狀況ハ之ヲ基準ニシテ差支ナイ程度ノ——能ク米ノ統計デハ不確實ナモノガ多イト云フ議論ガアルノデスガ、差支ナイ譯デスカ

○長瀨政府委員 例ヘバ在米調査ト云フヤウナモノハ漸次正確ノ度ヲ加ヘテ居ルト思ヒマス、私共ノ方デハ折角材料ヲ整ヘマスカラ、常ニ普通ノ人ガ常識的ニ知リタイト思フモノハ、成タケ取揃ヘテ置キタイト云フ所カラ、地方廳ノ方ヘ照會シテ居リマス、然ルニ地主生産者モ米穀販賣狀況ト云フ風ナモノヲ特ニ調査致シマスノニ特別ノ費用ヲ取ッテ人ヲ置イテ居ラナイノデアリマスカラ、普通ノ道府縣ノ報告ニアリマス報告ノ正確サノ程度ト同様ノ程度位ニ御承知ヲ願ヒマス

○清家委員 昨日御説明ニナッタカトモ思ヒマスガ、丁度私共ノ方デハ殘シテ居リマセヌガ、十八圓三十七錢九厘デ十二月ニ買上ゲラレタ時分ノ率勢米價ハ幾ラニナッテ居リマスカ

○長瀨政府委員 率勢米價ノ十二月ノ二十三日ニ致シマシタノガ最高二十四圓四十

七錢、最低十六圓三十一錢、隨テ中間ノ率勢米價ガ二十圓三十九錢デアリマス

○三善委員 一寸御尋致シマスガ、昨年十二月ニ御定メニナリマシタ率勢米價ハ十二月ノ幾日ニ御定メニナリマシタカ

○長瀨政府委員 十二月ノ二十三日デアリマス

○東委員長 一寸此場合報告シテ置キマス、本委員會ノ青木亮貴君ガ辭任シマシテ、池田秀雄君ガ代リマシタ、ソレカラ青木亮貴君ハ理事デアリマシタガ、原吉郎君ガ理事ニナリマシタ

○胎中委員 今清家君ノ質問デ一寸分リ兼ネルノハ、十一月ニ買上ゲタ時ハ率勢米價ノ下値ノ基準ガ十八圓二十八錢、其場合ニ米ノ格付ヤ何カデ少シ正米ノ基準ヨリ惡イ米ヲ多ク買ッタト云フコトデ十八圓二十八錢ニ買ッタ、是ハ能ク分リマシタガ、十二月ニ買ハレタ米ノ値段ガ十八圓三十七錢、其時分ノ率勢米價ノ基準價格ノ最低ハ十六圓幾ラト仰シヤッタヤウニ思フガ、サウスルト非常ニ農家トシテ有難イコトデ、高ク買ッテ戴イタコトニナルガ、一體率勢米價ト云フノハ、或時ハ基準價格ヨリ安ク、或ル時ハ殊ニ基準價格ヨリ非常ニ高ク買ハナケレバ運用ノ出來ヌモノデアリマセウカ、其點ヲ

一寸詳シク御話ヲ願ッテ置キタイト思ヒマス

○長瀨政府委員 只今御話ノゴザイマシタ際ノ買入ハ確カ十二月ノ五日ノ買入デアリマシテ、基準價格ガ十八圓二十八錢ノ時代ノ基準價格ノ際デアリマシタ、マダ改定以前デアリマシタ

○胎中委員 尙ホ序ニ伺ッテ置キマスガ、私ハ日ヲハッキリ知リマセヌガ、十二月ニ基準價格ヲ決メタ時ハ十二月ノ幾日デアリマシタカ、其日ヲ知リタイト同時ニ、十二月ノ五日ニ買上ゲタ時分ノ十八圓二十八錢ノ最低基準價格ト僅カ一ヶ月足ラナイ、恐ラクヤウニナッタト云フコトガ一寸分リマセヌノデ、是モ一寸序ニ詳シク御説明ヲ願ヒタイ

○長瀨政府委員 十二月五日ニ内地玄米ノ百五十萬石ノ買入ヲ決定致シタノデアリマシタガ、昭和六年度十二月ニ更ニ基準價格ヲ決定致シマシタノハ十二月ノ二十三日ナノデアリマス、ソレデ此僅カノ間ニ非常ナ異動モナイノニ基準價格ノ更正ガアッタト申シマスコトハ、是ハ只今米穀法ノ施行規則ニ依リマシテ、十二月ニ基準價格ヲ毎年年々決定シテ行クト云フコトニナッテ居

リマスノデ、昨年ノ十二月ガ初メテ此規定通り十二月ニ決定致シマシタ初メテノ年デアリマス、其以前ハ丁度初メテ此率勢米價ト云フモノガ出來マシタノデ、基準價格ヲ決定致シタノガ昨年ノ六月頃ノコトデアリマスノデ、昨年ダケハ六月ニ決メテ、サウシテ又十二月ニ決メル、斯ウ云フコトニナリマシタ譯デアリマス

○清家委員 昨日本年四月ニ改定セラレタノハ、率勢米價ニ依ッタモノダト云フコトデアリマシタガ、其率勢米價ハ一二三ノ所謂犬養景氣ノ最も高イ時ノモノヲ集メラレテヤラレタモノノデ、十二月ニ決メラレタモノハタツタ四箇月先ノ四月ニ、一二三ト云フ特別ナ月ダケデ御定メニナッタト云フコトハ明カデスナ

○長瀨政府委員 是ハ四月一日ニ決定シテ告示シテ居リマスケレドモ、實際ノ決定ハ三月ニ決定致シマシタノデ、其時ノ物價指數ヲ用キマスノハ、自然二月ノ物價指數ヲ用キタノデアリマス、隨ヒマシテ金解禁等ノ影響ニ依リマシテズット値段ガ先強ニナッテ參リマシタノデアリマシテ、二月ノ物價指數ト云フモノガ現レマシタノデ、詰リ三月ニ前月ノ物價指數ヲ用キテ之ヲ定メルト云フ行キ方デアリマスノデ、之ヲ三月ニ決

定シテ四月一日ニ公布シタ、斯ウ云フ譯デアリマス

○深水委員 私ハ臺灣米ノ事ヲ一寸御尋シタイト思ヒマス、昭和三年カラ四年、五年、六年、此四箇年ニ臺灣ニ於ケル蓬萊米ト在來米ガドレ程デアッタカト云フコトヲ昭和三年、四年、五年、六年ニ分ケテ御示シテ願ヒタイ、ソレカラ次ニハ内地ヘ移入サレル蓬萊米ガ此年度ニ於テドウ云フ風ナ狀況デ殖エテ居ルカ、其次ニハ臺灣ニ對シテ支那米其他ノ外國米ガドレダケ此年度ニ入ッテ居ルカ分リマセウカ、若シ分ルナラバソレモ御示シ願ヒタイト思ヒマス

○長瀬政府委員 此關係ハ丁度拓務省ノ殖產局長ガ御出ニナッテ居リマスノデ、殖產局長ノ方カラ一應ノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○北島政府委員 只今ノ御質問ハ御手許ニ「臺灣ノ米」ト云フ調書ヲ差上ゲテ居リマス、其調書ニゴザイマスガ——マダ行ッテ居リマセヌデスカ、ソレデハ一寸讀ミマス、昭和二年ノ在來米ガ合計四百三十八萬六千九百四十石、蓬萊米ガ百二十六萬九千五百石、ソレカラ昭和三年ガ在來米ガ三百八十萬六千二百二十石、蓬萊米ガ百六十二萬四千九百七石、ソレカラ昭和四年ガ在來米四百二十萬

千七百八十九石、蓬萊米百二十九萬五千三百四十四石、ソレカラ昭和五年ガ在來米ガ四百三十三萬六千七百七石、蓬萊米ガ百八十萬六千二百六石、ソレカラ昭和六年ガ在來米四百三十二萬三千三百三十三石、蓬萊米ガ百九十萬八千七百六十三石、斯ウ云フ數字ニナッテ居リマス

○兼田委員 御提供ニナリマシタ此調書デスガ、之ニ付テ一寸伺ヒタイノデスガ、十二月ノ率勢米價二十圓三十九錢トアリマシテ、ソレカラ十二月買入ノ價格ハ十八圓三十九錢、是ハ矢張此二割下廻リノ値デ御買ヒニナッタノダラウト思ヒマス、ソレカラサウナリマス

○長瀬政府委員 只今ノ御尋ハ買上價格ガ生産費ヲ割ッテ居ッタノデハナイカト云フ御尋デアルヤウニ考ヘマス、ソレハ矢張此米穀法ニ依リマシテ、時價ニ準據シテ買入又ハ賣渡ノ價格ハ之ヲ定メルト云フコトニ

ナッテ居リマスノデ、其時價ト云フコトヲ基調ニシテ買ヒマシタ譯ナンデアリマス、事實私共ノ方ノ生産費調ノ二十圓ト云フモノガ是ガ平均ニナッテ居リマス

○兼田委員 ソレデハ率勢米價ハ二十圓三十九錢デ、サウシテ買値ガ十八圓、率勢米價ニ約二割少ク、生産費ヨリモ亦二割少イト云フト、是デハドウモ農家ハ助カラナイヤウナ氣ガシマスガ

○松村政府委員 サウ云フ譯柄デアリマスカラ、昨日モ大臣モ申上ゲマシタ通りニ、大體ニ於テ生産費ノ調査モ大抵ハ今年中デ出來ル見込デアリマスカラ、サウシマスナラバソレヲ加味シテ運用ヲシタナラバ御話ノ通りニ生産費若クハ生産費ニ近イモノデ買上ゲルコトガ此秋カラ出來ハシナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○兼田委員 出來ル御見込ガアルノデスカ

○松村政府委員 今年カラ出來ル限リヤリタイト云フ考デヤッテ居ルノデス

○三善委員 私今政府委員ノ答辯ニ依ッテ更ニ疑義ヲ起シマシタガ、米ノ買入ハ其時ノ時價ニ依ッテ買ッテ居ル、必ズシモ此率勢米價ニ依ッタモノデナイ、ソレダカラ生産費ヨリ安クナッテモ致方ナイト云フ風ニ御答辯爲サッタヤウデアリマスルガ、昨日大臣カ

ラモ既ニ此生産費ヲ維持スルト云フコトガ適當デアアル、斯様ニ自分ハシタイト思フト云フコトヲ言明シテ居ラル、ニ拘ラズ、生産費ヨリ安ク決メテ買ハレルト云フコトハ非常ニ矛盾ガアリハシナイカ、昨日大臣ノ答辯デ申サレタコトヲ、實際取扱ハレタコト、ハ大ナル矛盾ガアリハシナイカト思フト、此點ハ如何デアリマス

○長瀬政府委員 昨日大臣ハサウ云フ風ニシタイト思フト云フ話ガアリマシタ、既往ノ事實ハヤハリ私共ト致シマシテハ、米穀法ニ依リマシテ、米穀法ノ運用ヲシテ行クヨリ仕方ガナイノデアリマス、唯市場ニ於ケル安イ糯米ヲ買ッテ呉レト云フ希望ニ應ジマシテ、市場ニアリマス所ノ安イ米ヲ吸上ゲテシマッテ、吸上ゲル値段ハ成程糯米デアリマスルカラ安クハゴザイマスケレドモ、凡ソサウ云フ風ニ米ガ外カラ吸上ゲテシマハレテ、サウシテ市場ニ殘ッテ居リマスノハ割合ニ高イ米ガ殘ッテ居ル、サウシテ數量カラ推シテ見マシテモ、先ヅ減ッテ來ルト云フコトニナリマスレバ、茲ニ米價ヲ幾分釣上ゲルト云フ作用ハアルデアラウ、其處ニ行クコトヲ目途トシテ努力シヨウ、是ダケノ力デ私共ハ少イ量ヲ目指シテ居ルト云フコトヲ申上ゲルヨリ仕方ガナイ、從ヒマシテ

昨日ノ大臣ノ御希望ハ、斯ウ云フ風ニシタ
イモノダト云フ御話ガアッタノデゴザイマ
ス、昨年中ニ行ヒマシタ所ハ斯様ナコトニ
ナツテ居リマス、唯ソレニ依ッテ糯米ヲ買上
ル、サウシテ市場ニ於ケル品物ノ數ヲ幾分
デモ少クスルコトニ依ッテ、出來ルダケ値段
ヲ率勢米價以來ノ「レール」ニ引戻サウ、斯
様ナ積リデ居ルノデアリマス

○三善委員 只今政府委員ハ甚ダ言葉ヲ巧
ミニ答辯セラレタノデアリマスルガ、昨日
大臣ハ生産費ニ成ベクシタイト思フト言ハ
レタ、ソレダカラ必ズシモ生産費デナクテ
モ宜クハナイカト云フヤウニ聞エタノデア
リマスルガ、大臣ガサウ思ッタバカリデ、實
際ソレヲ實現シナクレバ何モナラス、一體
大臣ガサウ云フ風ニ考ヘルト云フノダッタ
ナラバ、其考ノ通り實行スルコトガ責任ア
ル當局者ノ爲スベキ途デヤナイカ、斯様ニ
考ヘルニ拘ラズ、唯大臣ガサウ思フト言ハ
レタマケノコトダカラ、斯ウ云フコトト回
避スルト云フコトハ私ハ甚ダ不可解ニ堪ヘ
ナイ、併ナガラ今アナタニ御伺シタ所デ、
責任アル方デモアリマセヌカラ致シ方ナイ
ノデアリマスガ、其點ハ後デ質問致シマス
○深水委員 先刻ノ臺灣米ノコトデモウ少
シ伺ヒタイト思ヒマス、今ノ御話ニ依リマ

スルト、詰リ昭和二年ニ於テ蓬萊米ハ百二
十六萬石、ソレガ昭和六年ニナリマシテ、
百九十九萬八千餘石、斯ウナツテ居ル、約七十
萬石ダケ殖エテ居リマス、ソコデ一方ノ在
來米ノ作柄ヲ拜聽致シマス、昭和二年ニ
於テハ四百三十八萬六千餘石、ソレガ六年
ニナリマシテ、四百三十萬石デ、餘リ差ガナ
イ、此蓬萊米ノ殖エマス比例ニ在來米ノ減
ラナイノハ、是ハドウ云フ譯デセウカ、或
ハ新開墾地デモンノ出來テ、サウ云フ
結果ニ依ッテ殖エルノデアッテ、サウシテ從
來在來米ヲ植エテ居ル所ヲ蓬萊米ニ變ヘタ
ト云フ結果デナイト云フ結論ニナルノデス
カ、左様ニ考ヘテ宜シイノデアリマスルガ、
ソレカラモウ一ツハ、今度ハ臺灣ニ於テ在
來米ヲ成ベク勸誘ノ結果トシテ、在來米ヲ
廢シテ蓬萊米ニ變更スル御方針デハナカラ
ウカ、是ガ一ツ、ソレカラモウ一ツハ臺灣
人ノ嗜好ニハ在來米ガ適シテ居リマス爲
ニ、在來米ノ生産ガ少クナル結果トシテ、
詰リ支那米其他ノ外國米ガ自ラ臺灣ニ這
入ッテ來ルト云フヤウナコトニナリツ、ア
ルノデハナカラウカ、是ハ御尋シマシタケ
レドモ、外國米ノコトヲ今御話デアリマセ
ヌカラ分リマセスガ、ソコデ次第々々ニ蓬
萊米ガ在來米ノ耕作地ヲ侵害シテ行ク結果

トシテ、自ラ在來米ガ減ッテ、其結果ガ即チ
支那米、其他ノモノガ這入ッテ來ルト云フコ
トニナルノデヤナカラウカ、此點ヲ御尋致
シマス
○北島政府委員 只今ノ御質問ハ一寸相談
致シマシテカラ御答致シマス
○東委員長 一寸、三善君ニ御注意致シマ
スガ、アナタハ是デ三日ニ互リマスガ、他
ニ質問ノ通告ガアリマスカラ、今日ハ他ニ
御譲リ願ヒタイ、大體質問スル要項ハ同ジ
デスガ、アナタハ是デ三日續イテ居ル、同
僚ノコトモ考ヘテ戴カナイト困リマスカラ
後ニ廻シマス——河野一郎君

ト云フ、其氣持ヲ御伺シタイノデアリマス
○後藤國務大臣 價格又ハ數量ヲ調節ナス
ル、或ハ數量ノ調節ニ依ッテ價格ヲ調節シテ
行クト云フヤウナコトヲ、其事情ニ應ジテ
働カセルノガ米穀法運用ノ精神デアリマ
ス、私モサウ云フ趣旨デ米穀法ヲ運用致ス
積リデアリマス
○河野委員 サウ致シマス、價格並ニ數
量ヲ其時ノ情勢ニ應ジテ適當ニ扱フト云フ
御答辯デアリマスルガ、現在ノ狀勢ニ依ッテ
見マスルト、財界ノ非常時デアリマシテ、
數量ヲ調節シテモ必ズシモ價格ハソレニ
依ッテ動イテ來ナイト云フノガ現在ノ經濟
界ノ實情デハナイカト私ハ考ヘテ居リマ
ス、平時ノ場合ナラバ、數量ノ調節ガ取リ
モ直サズ價格ノ調節ニナツテ來ル、價格ガ安
イカラ數量ヲ買上デレバ、ソレデ上ツテ來ル
ト云フコトガ、平時ノ米穀對策ノ原則デア
リマス、併シ現在ハ平時トハ異リマシテ、
非常時デアリマス、此非常時ニ對シテハ、
非常時相應ノ米穀對策ガナクレバナラスト
考ヘテ居リマス、ソレニ對スル御考ハ如何
デアリマスカ
○後藤國務大臣 御尋ノ趣旨ヲ少シ了解シ
兼ネテ御答辯ナスルコトニナルカモ知レマ
セヌガ、數量ノ調節ニ依ッテ價格ノ調節ガ出

來難イト云フ狀況ニナッテ居ルノガ非常時
ダ、斯ウ云フ譯デスカ、サウスレバ數量ノ
調節ダケデハ價格ノ調節ハ出來ナイデハナ
カラウカ、ソレニ付テドウ云フ對策ガアル
カ、斯ウ云フ御話ノヤウデアリマス、私ハ
今日ノ狀態ニ於テ非常時ト云フコトハ色々
ナ意味ニ於テ用キラレマスガ、米穀ノ需給
關係及價格ト云フ關係ニ於テハ、數量ノ調
節ニ依ッテ相當ナ價格ノ調節モ行ヒ得ル狀
態デアルト考ヘテ居リマス

○河野委員 是ハ意見ノ相違デアリマスカ
ラ、更ニ追窮ハ致シマセスガ、唯一言申上
ゲテ置キマス、例ヘバ昨年ノ如ク不作ノ時
ニ、當然何人ガ考ヘテモ我が内地ニ於ケル
米ノ需給ガ不圓滑ヲ來ス筈デアッタ、所ガソ
レガ不景氣ノ爲ニ國民ノ消費ガ減ッテ來ル
ト云フコトデ、其米ガ必シモ出來秋ノ數量
ニドウ云フ關係ニナッテ來ルカ分ラナイ、又
最初ニハ足ラナイカラ上ル筈ノ米ガ——米
ノ數量ノ點カラ考ヘレバ高クナラナケレバ
ナラナイ筈ノ米ノ値ガ上ッテ來ナイト云フ
コトハ具體的ノ事實デアル、斯ノ如ク非常
時ト政府ガ認メテ非常時ト云フ言葉ヲ使フ
程、確ニ農村モ非常時デ米モ其影響ヲ受ケ
テ居ル、一般財界ノ異常ナル變動の狀態ニ
左右サレテ、米ノ値段ガ其通り上ッテ來ナイ

ト云フコトハ是ハ具體的ノ事實ダと思フ、
之ニ對シテハ當局ハソレ相當ノ現在施行サ
レテ居リマス 現行米穀法トハ異々非常時
ノ對策ヲ持タナケレバナラヌ筈ト私ハ考ヘ
ル、是ハ併シ意見ノ相違ニナリマスカラ、
意見ガアレバ承ハリマスガソレハドウデモ
宜シイ、更ニ現在ノ米穀法中ノ根幹ヲ成シ
テ居リマスル率勢米價ヲ現當局ハ何故ニ固
執ナサルカ、何故ニ現在ノ農村ノ事情ニ對
シテ——農民ガ全部安過ギテ困ルト云フ要
望ニ對シテ、何故ニ農林大臣ハ率勢米價ヲ
固執シテ米穀法ヲ運用シナケレバナラヌカ
ト云フ其理由ヲ承ハリタイ

○後藤國務大臣 率勢米價ノ規定ハ御承知
ノ通り昭和六年ニ議會ヲ通過シテ實施サ
レタノデアリマス、ソレマデニ米穀法ノ運
用ニ付テハ專門ノ人々、又經驗ノアル人々
ニ於テ非常ナ熱心ニ慎重ナ考慮ガ遂ゲラレ
テ、サウシテ今ノ基準米價ノ規定ヲ米穀法
ニ設ケルコトニナッタノデアリマス、其運用
ハ今日マダ一年何箇月カヲ經テ居ルニ過ギ
ナイノデアリマス、而モ米穀法ノ規定スル
所ハ、未ダ完全ニ應用サレテ居ラナイノデ
アリマス、例ヘバ生産費ヲ加ヘテ基準米價
ヲ決メルト云フ點モ認メテ居ラヌノデアリ
マス、此米價ヲ生産費等カラ見テ相當ナ所
ニ基準ヲ置クト云フ論議ノ餘地ガ殘ッテ居
ル、直チニ米穀法ノ今日根幹ニ觸レテ運用
ヲ改變致シマセヌデモ、米穀法ノ今日ノ運
用ノ下ニ於テ爲シ得ベキ餘地ノ殘ッテ居ル
モノヲ行フコトニ依ッテ、米價ノ調節ハ相當
ニ實行シ得ルト私ハ考ヘテ居リマス

○河野委員 更ニ先日同僚ノ質問ニ對シ
テ、成ベク生産費ニ近イ値段ニ最低價格ヲ
持ッテ行キタイト云フ大臣ノ御言葉デアッタ
ノデアリマスルガ、私モ是ハ同感デアリマ
ス、生産費ノミヲ最低基準トセズシテ率勢
米價ヲソレニ加味シテ行カナケレバナラナ
イト云フ理由ヲ承ハリタイ、諄クナルヤウ
デアリマスガ、生産費ヲ最低基準ニ米ノ對
策ヲ行ヘレバソレデ宜シイヤウニ總テノ者
ガ考ヘラレルノデアリマスルガ、大臣モソ
レニ異存ハナイヤウデアリマス、併シ特ニ
生産費ヲ最低基準トセズシテ、ソレニ率勢
米價ノ下値ニ割テ基準ノ中ニ入レテ考ヘナ
ケレバナラヌト云フ理由ヲモウ一遍御答願
ヒマス

○後藤國務大臣 率勢米價ノコトヲ此處デ
改メテ御説明スルニモ及ブマイト存ジマス
ガ、米價ハ物價ノ一體ノ變動ト或ル程度ノ
權衡ヲ保ッテ行カナケレバナリマセヌ、ソレ
ガ率勢米價ヲ生シタ所以デアルト思フノデ

○河野委員 只今ノ御答辯ニ依リマシテ、
農林大臣ガ率勢米價ヲ妥當ナリト考ヘ——
強い信念ヲ持ッテ妥當ナリト御考ニナッテ居
ルコトガ分ッタノデアリマス、私ハ其點ニハ
根本カラ反對デアリマス、今ノ物價ト米價
トノ關係、ソレヲ基礎ニシタ率勢米價ノ算

○後藤國務大臣 只今ノ御答辯ニ依リマシテ、
農林大臣ガ率勢米價ヲ妥當ナリト考ヘ——
強い信念ヲ持ッテ妥當ナリト御考ニナッテ居
ルコトガ分ッタノデアリマス、私ハ其點ニハ
根本カラ反對デアリマス、今ノ物價ト米價
トノ關係、ソレヲ基礎ニシタ率勢米價ノ算

○河野委員 只今ノ御答辯ニ依リマシテ、
農林大臣ガ率勢米價ヲ妥當ナリト考ヘ——
強い信念ヲ持ッテ妥當ナリト御考ニナッテ居
ルコトガ分ッタノデアリマス、私ハ其點ニハ
根本カラ反對デアリマス、今ノ物價ト米價
トノ關係、ソレヲ基礎ニシタ率勢米價ノ算

○河野委員 只今ノ御答辯ニ依リマシテ、
農林大臣ガ率勢米價ヲ妥當ナリト考ヘ——
強い信念ヲ持ッテ妥當ナリト御考ニナッテ居
ルコトガ分ッタノデアリマス、私ハ其點ニハ
根本カラ反對デアリマス、今ノ物價ト米價
トノ關係、ソレヲ基礎ニシタ率勢米價ノ算

○河野委員 只今ノ御答辯ニ依リマシテ、
農林大臣ガ率勢米價ヲ妥當ナリト考ヘ——
強い信念ヲ持ッテ妥當ナリト御考ニナッテ居
ルコトガ分ッタノデアリマス、私ハ其點ニハ
根本カラ反對デアリマス、今ノ物價ト米價
トノ關係、ソレヲ基礎ニシタ率勢米價ノ算

○河野委員 只今ノ御答辯ニ依リマシテ、
農林大臣ガ率勢米價ヲ妥當ナリト考ヘ——
強い信念ヲ持ッテ妥當ナリト御考ニナッテ居
ルコトガ分ッタノデアリマス、私ハ其點ニハ
根本カラ反對デアリマス、今ノ物價ト米價
トノ關係、ソレヲ基礎ニシタ率勢米價ノ算

○河野委員 只今ノ御答辯ニ依リマシテ、
農林大臣ガ率勢米價ヲ妥當ナリト考ヘ——
強い信念ヲ持ッテ妥當ナリト御考ニナッテ居
ルコトガ分ッタノデアリマス、私ハ其點ニハ
根本カラ反對デアリマス、今ノ物價ト米價
トノ關係、ソレヲ基礎ニシタ率勢米價ノ算

○河野委員 只今ノ御答辯ニ依リマシテ、
農林大臣ガ率勢米價ヲ妥當ナリト考ヘ——
強い信念ヲ持ッテ妥當ナリト御考ニナッテ居
ルコトガ分ッタノデアリマス、私ハ其點ニハ
根本カラ反對デアリマス、今ノ物價ト米價
トノ關係、ソレヲ基礎ニシタ率勢米價ノ算

○河野委員 只今ノ御答辯ニ依リマシテ、
農林大臣ガ率勢米價ヲ妥當ナリト考ヘ——
強い信念ヲ持ッテ妥當ナリト御考ニナッテ居
ルコトガ分ッタノデアリマス、私ハ其點ニハ
根本カラ反對デアリマス、今ノ物價ト米價
トノ關係、ソレヲ基礎ニシタ率勢米價ノ算

○河野委員 只今ノ御答辯ニ依リマシテ、
農林大臣ガ率勢米價ヲ妥當ナリト考ヘ——
強い信念ヲ持ッテ妥當ナリト御考ニナッテ居
ルコトガ分ッタノデアリマス、私ハ其點ニハ
根本カラ反對デアリマス、今ノ物價ト米價
トノ關係、ソレヲ基礎ニシタ率勢米價ノ算

定ト云フ其本質ニ私ハ反對デアリマスル、其點ニ於テハ同僚ノ方々カラモ御質問ガアルヤウデアリマスカラ、私ハ其本質論ニ付テノ質問ハ他ニ譲リマス

更ニ質問ヲ進メマシテ今ノ御答辯デモ生産費ヲ加味シタ所ノ率勢米價ノ基準價格ニ依ッテ米價對策ヲチャツテ見タイト云フ御答辯デアリマスケレドモ、生産費ノ調査ハ一體何月ニ出來上リマスカ

○長瀬政府委員 生産費調ベノ完了致シマスノハ十二月ノ十日頃デアリマス

○河野委員 十二月ノ十日ニ出來上ッタ生産調ヲ加味シテ率勢米價ヲ按排シテ米價ノ對策ヲ御遣リニナルノデアリマス、ドウシテモ來年ノ正月以降デナケレバ是ハ出來スト考ヘマス、然ラバ大臣ニ御伺スルノデアリマスガ、一體ノ農家ガ米ヲ賣出ス實情ハドウナッテ居ルカ、御説明願ヒタイ

○後藤國務大臣 非常ニ早く出廻ル少量ノ米ハ姑ク別トシテ、寒イ地方ハ十一月カラ米ガ出廻リマス、十二月殊ニ一月ガ其最盛期デアルト思ヒマス、ソレカラ二月三月ト云フ頃モ其出廻ノ相當盛ナ時ト思ッテ居リマス

○河野委員 只今ノ大臣ノ其御考ハ根本カラ違フノデアリマス、唯簡單ニ極ク早手ノ

寒イ地方ノ米ハ十一月十二月頃ニ出ルダラ

ウガ、大體年ヲ越エテ出ルト御考ヘニナルト非常ニ違フノデアリマス、統計ニ依ッテハ明ニナッテ居リマス、此政府デ作りマシタ

米穀要覽ノ中ニ詳シイ數字ガ出テ居ルノデアリマス、此數字ニ依ッテ見マスル地主ノ米ハ別デアリマス、大體小作人並ニ自作人ノ米ニ付テ見マスルト、其半分、五十「パーセント」マデハ十二月マデノ間ニ出ル、ソコ

デ吾々ガ問題ニスルノハ、米價對策ハ少クトモ十二月マデノ間ニ考ヘナケレバナラヌ、寧ろ來年ノコトハドウデモ宜シイト云フノハ其點デアリマス、一應米穀要覽ヲ御覽ニナッテ上ニ御答辯願ヒタイ

○後藤國務大臣 私ノ申上ゲタコトハ大體トシテ間違ッテ居ナイ積リデアリマス、御話ノヤウニ小作人トカ、自作農ノ米ガ早く出テ居ルト云フ事情ハアルノデアリマス、隨

テ出來秋ニ於ケル米ノ對策、小作人或ハ自作農ト云フヤウナ生産者ノ米ガ出廻ル時ニ最モ必要ナコトデアルト云フコトハ私モ御同感デアリマス、地主其他ノ米ハドウナッテモ宜イト云フコトハ決シテ申スノデハアリマセヌガ、ソレハ餘程程度ガ輕イノデアルト思フノデアリマス

○河野委員 ソレナラバ今御認メニナッタ

ヤウニ、年内ニ中小生産者ノ米ガ賣出サレ

ルト云フ時ニ當ッテ、只今御答辯ノヤウニ生産費ヲ加味シタ所ノ米穀對策ト云フモノハ來年ニナラナケレバ出來ヌ、少クトモ今

年ノ十二月十日ヲ過ギテ、ナケレバ生産費調ハ出來ヌト云フコトニナリマスルト、生産費ヲ加ヘタモノデ米ノ對策ヲチャツテ見タイカラ、暫ク待ッテ吳レ、此儘ニ置イテ吳レト云フノデ生産調ガ出來ルマデ待ッテ居ル、其間ニ大部分ノ中小農家ノ米ハドウナル

カ、此點ヲ私ハ御伺申上ゲマス

○後藤國務大臣 其點ニ付テハ私モ憂ヲ同ジウシテ居リマス、ソレデ生産費ヲ加ヘテ米ノ基準價格ヲ定メルコトハ十二月十日頃デナクテハ出來マセヌガ、是ハ出來ル限リ早くヤリタイト思ッテ居リマス、サウスレバ十二月カラ一月ニ掛ケテ御話ノヤウナ種類ノ米ガ生産者カラ手放サレル時ニ買ナスル

ニハ相當間ニ合フト思ヒマス、以前ノモノニ對シテハ米穀法ノ只今ノ運用ニ於テ米穀ノ買換ノ方法ガアル、相當ナ買換ノ餘力ヲ只今モ持ッテ居リマスルガ、今後ニモ持ッテ得ル積リデアリマス、其間ニ買ニ有カニ出動スルコトガ出來テ、最初ノサウ多量デナイ

米ノ買上ニ付テハ對策ヲ實行シ得ルト思ッテ居リマス

ソレカラ引續イテ今ノ生産費ヲ加味シタ

基準米價ヲ以テ更ニ對策ヲ行フ、之ニ相當ナル資金ノ力ヲ持タシテ置イテ戴ケバ可ナリノコトガ實行シ得ルモノト信ジテ居リマス

○河野委員 今ノ御話デスト、現行ノ米穀法竝ニ特別會計法ニ相應ノ餘力ガアルカラ、米ノ買上ハ其間ニ出來ルト云フノデアリマスカ

○後藤國務大臣 現行法ノ今ノ生産費ヲ加味シタ基準ト云フモノハ十二月十日頃ニハ出來マセヌシ、其前ニ於キマシテ米ガ多數ニ出廻ッテ、價格ニ惡イ影響ガ來ルヤウナ情勢ヲ見ル時ニハ、是ハ今ノ率勢米價ニ拘ラズ買換ノ餘力ヲ以テ相當ニ對應シテ行ケル、其買換ノ餘力ヲ養フテ置クコトハ今モ致シテ居リマスガ、今後モ相當出來ル、其間ニ繋ギガ出來ルト思フ

○河野委員 私ハ農林大臣ノ米穀對策ノ根本ニ疑義ヲ持ツ、買換ヲ以テ米價ノ調節ヲスルト云フコトハ、米穀法ノ精神ガ許サヌノデアリマス、買換ト云フモノハ米價ノ引上トカ、サウ云フ價格ノ點ニ付テ考ヘル制度デアリマセヌ、サウ云フ風ナ勝手ナ買換トカ何トカ云フ名義ノ下ニヤルコトガイ

カヌカラ、率勢米價ニ依テ基準スルノデア

ルト云フノガ現行法ノ根本精神デハアリマセスカ

○後藤國務大臣 御話ノ通りデアリマシガ、買換ハ保存ノ爲ニヤルノデアリマス、併シ今中シタ生産費ヲ入レルマデノ間ニドウ云フ茲ニ手段ガ殘ッテ居ルカト言ヘバ、買換ノ餘力ヲ其時ニ應用スルト云フコトハ、是ハ買換ノ目的ハ唯米ヲ交換シテ置クト云フ目的デアリマスケレドモ、其心配ヲサレル時期ヲ矢張買換ノ目的ノ外ニ、サウ云フ效果ヲソコニ生ゼシメルコトノ出來ル餘力ガアルノデアアルカラシテ、生産費ノ調ガ少シ遅レルコトモ大シテ妨ゲハナイト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス

○河野委員 買換ニ依テ價格ノ調節ヲヤルト云フ御意見デアリマシネ

○後藤國務大臣 買換ニ依テ價格ノ調節ヲ目的トシマセスケレドモ、其結果ニ依テ上ゲ得ル場合ガアルト云フコトヲ申上ゲルノデアリマス

○河野委員 併シ上ゲ得ル場合ガアルノデハ、尠クトモ中小農ノ五十「パーセント」迄ノ米ヲ賣出ス期間ヲ、上ゲ得ルト云フ場合ガアルト云フ程度デ對策ヲ立テラレルコトハ、甚ダ中小農ニハ殘酷デハナイカト考ヘマス、是ハ更ニ御研究ヲ願ヒタイト思ヒマ

ス、更ニ質疑ヲ進メマシテ、唯一點今ノ問題ニ付テ申上ゲテ置キマスガ、其十月、十一月、十二月ニ一體ドノ地方ノ米ガドノ程度ニ出テ來ルカト云フコトモ統計ガ示シテ居リマシカラ、此點モ十分御考ノ上ニ對策ヲ御決メ願ヒタイ、即チ新潟デス、此數字ヲ讀ンデモ分リマスガ、北陸地方ノ各縣、東北地方ノ各縣、北海道ハ違ヒマスガ、是等ノ我國ニ於テ最モ多量ニ米ヲ縣外ニ移出スル地方ハ大部分早手ニ出テ來ル、而モ此現下ノ一番窮狀ノ極ニアル地方ノ米ヲ考ヘルコトガ大事ナ點デアアル、此點ヲ考ヘズニ、場合ガアルト云フ程度ノ對策ヲ御示シニナルコトハ、是ハ聊カ當テ缺イテ居ルノデハナイカト思ヒマス

更ニ質問致シマスガ、今回御提案ニナリマシタ應急法案、朝鮮、臺灣米ノ月別移入、其他ノ規定ガアリマスガ、其骨子トスル所ハ月別ニ朝鮮米、臺灣米ヲ内地ニ移入スルコトガ根本デアルト思フ、然ラバ御伺シタイノハ朝鮮米ハ大體平均スルト一年ニ内地ニ來ルノハ六百萬石、然ルニ我が内地ノ縣外移出米ハドウカト申シマス、千三百萬石アル、此縣外ニ移出サレタ所ノ千三百萬石ノ米ハ、之ヲ統計ノ示ス所ニ依リマス、臺灣、朝鮮米同様ニ出來秋ニ消費地ニ向ッテ

殺到シテ居ルコトハ數字ノ示ス通りデアアル、一寸モ統計上變ッテ居ラス、朝鮮米ガ十月、十一月、十二月、一月ニ内地ニ向ッテ殺到シテ來ルト云フコト、同様ニ、我國ノ縣外移出米ハ十月カラ始マリマシテ、十一月十二月ガ最モ盛デ、正月二月頃マデノ間ニ殺到シテ參ル、此同様ノ實情ニアル内地ノ縣外移出米ヲ率勢米價ヲ基準トスル所ノ現行米穀法ニ依ッテ此對策ヲヤリ、同様ノ事情ニアル鮮米、臺灣米ニ付テ應急策ヲ此際御提案ニナリマシタル理由ヲ御伺シタイ

○後藤國務大臣 朝鮮米、臺灣米ノ移入ノ調節ハ年内ノ調節ヲ目標トシテ居リマス、御話ノ通り主タル目的ハ出來秋ニ殺到スルコトヲ防グノデアリマスガ、内地米ノ調節ハ市價及數量ノ調節ヲ致シ、此年内ノ調節ヲスルコトヲ目標トセズ、永年ニ互ッテノ調節ノ觀念ヲ持ッテ居ルノデアリマス、唯出來秋ニ於ケル米ノ特別ノ事情ガ生ジタ場合ニ應ゼンガ爲ニ、一面ニハ米穀法ノ資金モ餘力ヲ擴張シテ十分ナル力ヲ持ッテ置カウ、又地元ニ持ッテ居ル粳ノ貯藏ヲ獎勵シテ市場ヘノ殺到ヲ防ガウ、併セテ臺灣米ノ出來秋殺到ヲ防グト云フヤウナ諸種ノ方法ヲ以テ内地ノ米ノ需給關係ヲ調節シテ、適當ナ價格ノ安定ヲ圖ルト云フコトニ考ヘテ居リマ

ス
○河野委員 今ノ御話デアリマス、出來秋ノ米ノ調節ノ爲ニ朝鮮米ノ對策ヲヤル、内地ノ米ハ永久ノ策デアアルカラ其儘ニシテ居ル併シ之ヲ全國的ニ農民ノ騷イデ居ル問題ヲ朝鮮、臺灣米ニ依ッテ内地ノ米ノ出來秋ノ對策ヲヤルナラバ、何ガ故ニ内地ノ米ヲ直接ノ目的トシテ對策ヲヤラナイノデアリマスカ

○後藤國務大臣 内地ノ米ノ對策モ立テ、居リマス、ソレハ米穀ノ貯藏ノ問題、ソレカラ米ノ買入資金ノ増額ノ問題、斯ウ云フモノヲ備ヘテ内地ノ米ノ出來秋ニ應ジテ居ルノデアリマス

○河野委員 今御話ノ米穀ノ貯藏ト云フコトハ、是ハ今マデ再三經驗シテ其成績ハ知ッテ居リマスカラ議論ハシマセス、粳ノ貯藏デ米價ガ維持サレタ先例ハナイノデアリマ

ス
更ニ資金ノ増額ハ確ニ此議會ニ提案サレテ居リマスガ、資金ノ増額ハ先程モ御話ノ通り唯買換ハ出來ルガ、買上ハ出來ヌ、率勢米價ノ一石當リ十七圓何ガシノ値ヲ割ラナケレバ買上ガ出來ヌト云フコトデ、是ハ幾ラヤッタ所デ、ソレマデニ下ラナケレバナラス、内地ハ買換デ、其結果ガ米價ノ引上

ガ目的デハナイガ、引上ニナルカモ知レナ
イト云フヤウナコトデヤラズニ、朝鮮臺灣
米ニ向ッテ是程勇敢ニ對策ヲ實施爲サルノ
ナラバ、此窮迫シテ居ル内地米ニ向ッテドウ
シテヤラナイノカ、此根本ノ理由ガモウ少
シ何カ御アリデアラウト思ヒマスガ、ドウ
デスカ

○後藤國務大臣 内地ノ米ニ付キマシテ
モ、先程申上ゲマスヤウニ、生産費ダケ
加味シタ基準ヲ定メテ對應シヨウトシテ居
ルノデアリマス、御話ノヤウナ趣旨モ含シ
デ大ニヤッテ居ル積リナノデアリマス

○河野委員 一寸御斷リ致シテ置キマスガ
内地ノ米ニ付テ生産費加味ト、私ノ議論ス
ルノハ、此十二月マデドウスルカト云フコ
トガ私ノ論點デアリマスカラ、十二月カラ
先ノ生産費ヲ加味シタ場合ハ後デ質問シマ
スカラ、ソレハ後刻ニ願ヒタイト思ヒマス、
十二月迄生産費ヲ加味スル以前ノ米ヲドウ
スルカト云フコトヲ今質問ノ要旨ニシテ居
ルノデアリマスカラ、ソレヲ御答辯ヲ願ヒ
マス

○後藤國務大臣 十二月迄ハ先程申シタヤ
ウニ相當米穀法ノ運用ニ依ッテ之ニ對應ガ
出來テ行ケル、效果ヲ擧ゲ得ル、御心配ハ
爲サラズトモ宜シイカト申シタノデアリマ

ス

○河野委員 私ノ只今申シタノハ、心配ア
ルナシハ別トシテ、朝鮮米ニ是ダケノ對策
應急法律案ヲ出シテ御ヤリニナルナラバ、
何故ニ直接效果ノアル内地米ニ對シテ御ヤ
リニナラヌカト云フ、此點ヲ承リタイノデ
アリマス、事情ハ先程申上ゲマシタ通り、
朝鮮米六百萬石ニ對シテ縣外移出米ハ千三
百萬石、此千三百萬石ノ縣外移出米ガアル
ノニ、朝鮮米、而モ出廻期、米穀事情ハ總
テ同ジデアリマス、此總テ同ジモノガ内地
ニアルノニ、朝鮮米ニ對シテサウ云フ對策
ヲ法律迄出シテ御ヤリニナルノニ、内地ノ
米ニ對シテハ何故ニ對策ヲ御ヤリニナラヌ
カ、此點ヲ承リタイノデアリマス

○後藤國務大臣 内地ノ米ノ對策ハ、根本
ノ處置ヲ考究シナケレバナラヌト思ッテ居
ルノデアリマス、唯内地米ノ對策ヲ何故ヤ
ラヌカ、臨時應急策ヲ何故ヤラヌカト仰セ
ラレマシテモ、此根本ノ米穀政策ニ立脚シ
ナイデ參リマス限リハ、非常ナ有效適切ナ
方法ト云フモノハ中々立得ナイノデアリマ
ス、今日ノ米穀法ノ運用ヲ以テシテ相當ニ
是ガ實行出來ルノデアリマスカラ、米穀法
ノ根幹ヲ茲ニ改メテ行ク問題ハ根本策ト併
セテ考究スルノ外ハナイト思ッテ居リマス

○河野委員

内地ノ米ハ根本策ノ出來ル迄
此儘置イテ置クト云フナラバ、私ガ先程申
上ゲマシタヤウニ、ソレナラバ朝鮮ノ米ノ
應急策ヲ何故御ヤリニナルカ、内地ノ米、朝
鮮ノ米ト申シマシテモ、何方モ相並ンデ是
ガ内地ノ米價ニ影響ガアルノデアリマス、
何ヲ好ンデ朝鮮米ヲ目標トシテ應急策ヲ御
樹テニナッタノデアリマスカ、何ヲ好ンデ内
地ノ米ニ對シテハ迂遠千萬ナル——朝鮮、
臺灣米ニ對シテハ、而モ二箇年トカ、三箇
年トカ期間ヲ切ッテ應急策ヲ御樹テニナル
ナラバ、内地ノ米ニ對シテ何故二箇年ナ
リ、三箇年ナリ根本策ノ出來ルマデノ應急
策ヲ御樹テニナラヌノデアリマスカ

○後藤國務大臣

内地ノ米ニ對シテ期限ヲ
切ッテ應急策ヲ講ジタノデアリマス、又朝
鮮、臺灣米ノコトモ、是ハ朝鮮臺灣米ヲ主
トシテ見タノデアリマセヌ、内地ノ米ノ
爲ニ講ジタ應急策ナノデアリマス、何故朝
鮮臺灣米ダケ見テヤッタト、斯ウ仰セラレマ
スガ、朝鮮、臺灣ノ米ガ特ニ内地ノ出來秋
ニ非常ニ多量ニ一時ニ殺到スルト云フコト
ガ實情デアリマス、之ヲ緩和スルコトガ内
地ノ米ニ可ナリ有效デアルト思フカラデア
リマス、内地ニソレヲヤラヌ位ナラバ、朝
鮮ノ方モ止シタラ宜カラウト云フ御意見デ

ハアルマイトハ思ヒマスケレドモ、之ヲヤ
ルコトガ内地ノ米ノ出廻リニ非常ニ宜イト
思ッテ居リマス

○河野委員

今ノ御話ノ中ニ朝鮮、臺灣米
ガ出來秋ニ殺到シテ來ルト云フ御話ガアリ
マシタガ、是ハ先程カラ諄ク申上ゲルヤウ
ニ、内地米ハ縣外移出米ガ千三百萬石ガ消
費地ニ向ッテ殺到シテ來ルモノガアル、朝鮮
米ハ僅ニ六百萬石、其六百萬石ヲ目標トセ
ズシテ、而モ手近ニアル所ノ千三百萬石ヲ
目標トシテ何故ヤラヌカ、臺灣米ハ別デス、
是ハ論外デス、朝鮮米ノ僅ニ六百萬石、此
數字ニシテ見マシテモ、多クテ百萬石、昨
年ノ如キモ八十萬石カラ九十萬石、月別ニ
シテ殺到シテ來ルト云フ言葉ヲ使ッタ所デ、
八十萬石カラ九十萬石其數字ヲ調節スルヤウ
ナ法律マデ態々出シテ御ヤリニナルナラ
バ、内地ノ縣外移出米ノ此數量ノ多イ直接
我が清算市場ヲ壓迫スル所ノ米ヲ何故御ヤ
リニナラヌカト云フノデアリマス

○後藤國務大臣

私モ諄ク申上ゲルヤウデ
アリマスガ、内地ノ米穀對策ノ根幹ハ根本
策ト共ニ考ヘナケレバナラヌ、内地ノ米穀
ハ今ノ米穀法ニ依ッテ運用シテ參リマシテ、
其限度内ニ於テ出來ル限リ尙ホ殘ッテ居ル
方法ヲ講ジテ、ソレカラ今ノ米穀ノ貯藏ニ

付キマシテモ今迄效果が無イト仰シヤラレマスクレドモ、ソレハ今マデノ遣方が無力ノ遣方デアッタ、今度ハ六千五百萬圓限度ノ助成金ヲ出シテ、有力ナ米穀ノ貯藏方法ヲ行ハセヤウトシテ居ルノデアリマス、内地米ニ對シテハサウ云フ幾多ノ今ノ方法ニ依ッテ相當ニ是ガ調節ヲ圖ルコトガ出來ルト思ヒマス

○河野委員 詰リ意見ガ相違スルノデ其點ハ此程度ニシテ置キマス、唯御斷リシテ置キマスガ、穀貯藏ノ點ハ六千五百萬圓ノ補助金ガアルカラ云々ト云フコトデアリマスガ、是ハ今ノ農村事情ニ適サスト思フノデアリマス、何故カナラバ八圓ノ米ヲ一俵賣ッテ八圓現金ガ欲シイ者ガ、一俵預ケテ置イテ五圓金ヲ借りテ居ッタノデハ間ニ合ハスカラ賣ルノデアリマス、此點ヲ十分考慮ニ入レテ對策ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレガ失敗ノ根本デアッテ、獎勵金云々ハ末ノ末デアリマス、其點ヲ御考ヲ願ヒタイト思ヒマス

更ニ質問ヲ進メマシテ、朝鮮米ヲ時價デ買上ゲテ、内地米ハ率勢米價竝ニ生産費ニ關聯シタ米穀法ノ規定ニ據ラナケレバ買上ガ出來スト云フ點ニ非常ナ疑義ヲ有ツノデアリマス、即チ朝鮮米ヲ時價デ買上ゲテ、

内地ノ米ヲ之ニ依ッテ統制ヲシテ行ク、月別ニシテ行クト云フコトニナルト、將來率勢米價竝ニ生産費ヲ若シ加味サレタ場合ニ於テモ、ソレヲ下廻ハラウトスル時ニハ、朝鮮カラ來ルモノヲ政府ノ手デ「チエック」スルコトニナル、朝鮮カラ來ル米ヲ内地デ買フヨリ、朝鮮デ買フナラ朝鮮米ヲ時價デ買フ、サウシテ朝鮮ノ米ヲ政府ガ持つテ居テ、内地ニ來ヌヤウニスル、其反對ノ場合モ無論アリマス、斯ウシタ意味デ將來内地ノ米ハ絕對ニ私ハ買上トカ拂下ト云フコトヲナクナシテ、總テノ米穀對策ハ朝鮮竝ニ臺灣デシテ、内地ノ米ガ上ッテモ、朝鮮米ヲ澤山買上ゲテ、内地ニ來ヌヤウニスル、此米ニ向ッテ政府ガ時價デ左右スルコトニシタナラバ、率勢米價デ當ニ下廻ラントシタトキニハ、朝鮮米價ヲ抑ヘテ、内地デ要望シテ居ッテモ、内地ニハ來ヌヤウニスルコトガ出來ルヤウニナルノデハナイカト考ヘマスカ、其點ハ如何デスカ

○後藤國務大臣 朝鮮、臺灣米ノ月別平均的ニ運用スルト云フコトヲ圖ル爲ノ限度ハ自カラ決ッテ居リマス、今御話ノヤウナ行キ方ヲシヤウトシテ居ルノデハアリマセヌ、朝鮮、臺灣米ヲ月別ニ均シテ入ルヤウニ運用スルコトヲ、今度ノ提案ノ趣旨トシテハ

居ラヌ、資金ニモ限度ガ生ジマス、今申シタヤウナ其月別ノ朝鮮米臺灣米ノ移入統制ヲ拵ヘテ、唯朝鮮米ダケデ内地ノ米價ノ調節ヲ圖ラウト云フヤウナコトヲ致ス積リデハアリマセヌ

○河野委員 ソレナラバ御伺シマスガ、朝鮮米、臺灣米ノ月別統制ニ關スル具體的ノ計畫ヲ一ツ御發表ヲ願ヒマス

○長瀬政府委員 朝鮮米ニ付キマシテハ昨日申上デマシタヤウナ「パーセント」ニ依リマシテ、十一月、十二月、一月、二月ト云フ風ナ月ニ相當ニ是ガ増加シテ入ッテ參リマス、即チ十一月ハ十二「パーセント」以上、十二月ハ十六「パーセント」ト云フヤウナコトデ入ッテ參リマス、其過剰スル米ヲ月ニ買ッテ行キマシテ、サウシテ五月六月以降ノヤウナ、非常ニ移入數量ノ減ッテ參リマス時期ニ之ヲ賣拂フ、斯ウ云フコトニ致シマスレバ、是ハ絕對的ノ平均ト云フ譯ニハ參リマセヌガ、唯平均的ニ、甚シイ衝撃ヲ與ヘナイデ、穩ニ内地ニ這入ッテ來ル、斯ウ云フコトニシヨウ、是ハ朝鮮米、臺灣米兩方ヲ見合ッテノコトデアリマシテ、内地カラ見マスレバ、一方ガ平均シテモ、一方ノ爲ニ平均ガ破レテハナリマセヌガ、兩方ヲ考ヘテ、サウシテ内地ニ入レヨウ斯ウ云フ

大體ノ計畫デアリマス

○河野委員 非常ニ餘裕ノアルヤウナ計畫デアリマスルガ、内地ニ向ッテ米ノ入ッテ來ル關係ハ、勿論其根本ハ經濟ノ原則デ内地ノ米ガ高イ時ニ入ッテ來ル場合モアリマス、又ハ朝鮮ガ非常ニ窮迫シテ居ッテ手離サナケレバナラスト云フ事情デ入ッテ來ルコトモアリマセウガ、其結論トシテ何レノ原因ニセヨ、當局ノ申サレル今ノ統計通りニ出テ來レバ宜シイガ、元々内地ヘ來ル米ハ六百萬石アリマス、政府ガ豫定通りノ、例ヘバ三「パーセント」、五「パーセント」ト云フモノヲ月々「チエック」シテ居レバソレ以上ハ出テ來ヌト云フモノデアリマセヌ、ソレガ月々ニ清算セラレルモノナラバ、月々ノ餘リダケ取レバ、ソレ以上來ル虞ハナイト云フコトハ言ヘマスガ、何シロ秋ニナレバ一遍ニ實ッテ、後ハ米ニナッテ居ルカラ、若シ引合フナラバ、賣リタイ希望ヲ持つテ居レバ、最大限度迄ハ内地ヘ來ル餘裕ハアル、サウ云フ場合ノ御計畫ハドウ云フ御考デアリマスカ

○長瀬政府委員 是ハ絕對ニ平均的ニ、平均以上ニハ入ッテハナラス、即チ朝鮮米、臺灣米ノ移入制限、或ハ許可ト云フトコマデ行キマスレバ、是ハ確ニ御話ノヤウナ徹底のノ

仕方ニナルノデアリマス、併ナガラ御承知

ノ通り、サウ云フコトが現今ノ内鮮ノ事情トシテ、事情ガ許シマセヌノデ、ソコデ出来得ル限りサウ云フ事情ニ近付ケヤウ、斯ウ云フコトニ向ッテ居ル、豫算ニ過ギナイノデアリマス、デ朝鮮ニ於キマシテモ前年來行ッテ居リマス農業倉庫ノ設定、新設、其計畫ヲ擴張スル、斯ウ云フコトニ致シマシテ、現在野積ニ致シテ居リマサウナモノハ完全ナ倉庫ニ入レルト云フヤウナコトニシテ、金融ノ便ヲ圖リ、一方經濟的ノ施設ニ依リマシテ、此買上以外ノ部分ガダブツイテ入ッテ參ルト云フ趨勢ヲ「チエック」シタイト云フ風ニシテ、此施設ト相俟チマシテ、兩方ノ施設デ以テ之ヲ出来ルダケサウ云フ形ニ近付ケテ行キタイ、斯ウ云フコトニ過ギマセヌ

○河野委員 恐ラク一ツノ方針ヲ御作リニナルニハ、其目的ハ絶對ニ私ハ達シナケレバナラヌト思フ、宜イ加減ノコトデ、大體ノ計畫ハ此程度ノモノヲ買ッたらバ斯ウナルダラウカラ、斯ウ云フ方針ヲ作ルノダ、無論サウ云フ場合モアルカモ知レマセヌガ、ヤラヌ先カラ入ッタ時ノコトヲサウ云フ風ニ豫想シテ、他ノ方デモ斯ウヤッテ居ルカラト云フヤウナコトデナシニ、兎ニ角

朝鮮臺灣米ガ内地ヘ殺到シテ、米價ヲ壓迫スルト云フ茲ニ具體的ノ事實ガアル以上ハ、ソレヲ除去スルコトガ目的デ此法律ヲ出シタノダト云フナラバ、作ッタ以上ハ其法律ノ目的ヲ達成シナケレバナラヌ、法律ガ一方ニ在ルカラサウ云フコトハナイダラウト信ズルト云フコトハ、誤解ヲ招カセル虞ガアルト思フ、ソレハ今御話ノヤウニ計畫ハ僅ニ六百萬石入ッテ來ルモノヲ、三箇月カ四箇月ヲ通ジテ百萬石カ百五十萬石ノ米ヲ「チエック」シテ、ソレデ内地ノ月別移入ノ平均ガ達成出来ルト云フ御考ハ、私ハ恐ラクドウ云フ人モサウ云フコトハ御考ニナラヌデアラウト思フ、本當ニサウ云フコトデ目的ヲ達シ得ラレルト御考ニナルノデアリマスカ、若シソレガ出来ヌトスレバ、此法律ガ出来たらバ朝鮮米ノ壓迫ハ將來無クナルノダト云フ建前デ總テノ農民ナリ、總テノ國民ガ經濟ノ將來ノ方針ヲ立テタ場合ニ非常ニ迷惑ヲ蒙ラナケレバナラヌ、政府ノ今度作ッタ法律ノ内容ハ、コンナ僅カノ下ラヌモノデアアル、而モ一面ニ於テ他ノ方法デ抑ヘルカラ行ケルデアラウ、ソレデ行ケルナラバソレダケデ行ケル筈デアルガ、從來モヤッテ居ッタガ、依然トシテ來テ居ル、ソレ以上ノ方針ハナイノデアリマスカ

○長瀬政府委員 私共ノ斯ウ云フ案ヲ立テマシタノハ、要スルニ現在ノ自由ナ米穀ノ經濟ヲ執ッテ居リマス間ハ、ドウシテモ制限或ハ許可ト云フ以外ニハ方法ガナイ、併シソレガ許サレヌカラ已ムテ得ナイ、朝鮮米、臺灣米ガ内地ニ殺到スル數量ヲ幾分デモ避ケタイ、斯ウ云フコトニ外ナラヌノデアリマス、之ヲヤッタレバトテ、徹底的ニ朝鮮米臺灣米ノ過剰移入ヲ「チエック」スル力ガアルト云フコトハ私共モ考ヘテ居リマセヌ、併シ例ヘバ現行ノ米穀法ニ依リマシテ之ヲ徹底的ニ買上ゲマシテモ、出動後直チニ思フヤウニ値ガ上ルト云フコトモ必ズシモ期セラレヌ場合モアルト同ジヤウニ、出来ルダケ此法律ノ運用ヲ十分ニ努力シテ見マシテ、ソレデドウモ及バナイ分ガアレバ、或ハ只今申シマシヤウナ經濟施設デ幾分補ヒ得ヤウ、斯様ナコトヲ申上ゲマスニ過ギマセヌノデ、私共ハ初メカラ此法律ヲ出シマシテ、朝鮮米臺灣米ノ移入ガ徹底的ニ是ガ「チエック」出来ルモノダト云フコトハ申シテ居ラスノデアリマスカラ、其點モ御諒承ヲ願ヒタイ

○河野委員 大臣ニ御答辯ヲ願ヒマス、私ノ知リマス範圍デハ從來農林省ガ行ヒマシタル内地米ノ買上ハ非常ニ農村ノ望ム所デアリマシテ、是ハ唯値段ヲ釣上ゲル、價格ヲ維持スル、安定サセルト云フ意味ノ外ニ、例ヘバ栃木縣ノ何等米ハ政府ノ買上ノ中ニ入ル、神奈川縣ノ何等米ハ政府ノ買上ヲシテ買フコトガ出来ル、此政府ノ買上ノ指定ノ中ニ入ルコトサヘ、非常ニ農民ハ要望ガアルノデアリマス、何故之ヲ望ムカト申シマスルト、我國ノ農村ノ實情ヲ調べテ見マスルト、米ニ付テハ中間ノ利得ガ非常ニ多イノデアリマス、米ノ賣買ノ事情カラ見マシテ、庭相場カラ深川、神田川ノ正米市場マデ來ル間ノ開キガ相當ニアル、其開キヲナクシテ、直接生産者カラ政府ニ買ッテ貰ヘル、此中間ノ利得ヲナクシテ、ソレヲ農民自身ノ懷中ニ入レルコトガ出来ルノデアリマスカラ、是非政府ガ買ッテ貰ヒタイト云フ要望ガ各地ニアルノデアリマス、其意味デ私ハ先程カラ諄々ト申上ゲマスヤウニ、朝鮮米ヲ買上ゲテ、朝鮮ノ米ヲ「チエック」スルナラバ、内地ノ米ヲ買上ゲテ消費地ニ於ケル内地ノ米ヲ「チエック」シタガ宜イデヤナイカト云フ議論ハ私ハ其處カラ來テ居ルノデアリマス、所ガ内地ノ米ハ率勢米價並生産費ヲ下廻ラナケレバ絶對ニ買ッテ貰フコトハ出来ヌ、朝鮮デ米ヲ作ッテ居ル人ハドウカト云フト、何時デモ米ヲ澤

山持つて來サヘスレバ、大體餘リ内地へ殺到シナイ爲ニ、斯ウ云フ法律ガ出來テ居ッテ買ッテ貰ヘル、朝鮮臺灣デ米ヲ作ッテ居ル者ハ非常ナ恩惠ニ浴スルコトガ出來ルト云フコトニナルノニ、内地デ米ヲ作ッテ居ル中小農ハサウ云フ恩惠ニ浴スルコトガ出來ナイト云フ、茲ニ非常ナル不合理ガ起キハセヌカト私ハ考ヘマス

○後藤國務大臣 私ハサウ言ッタ不合理ガ起ルトハ思ヒマセヌ、朝鮮臺灣デ月別平均ニ米價ノ調節ヲヤルト云フ御答ヲ先程米穀部長カラ致シマシタヤウニ是ハ徹底的ニハ參リマセヌガ、數量ヲ相當ニ緩和スルト云フコトガ目的デアッテ、其相當緩和ノ目的ハ達シ得ルト思フノデアリマス、ソレ故ニ朝鮮ノ米ヲ持つて來ルノハ幾ラデモ買ッテヤルト云フヤウナコトヲ致ス積リデアリマセヌ、亦内地ニ於キマシテモ米穀法ノ建前ニ基キマシテ買出動ヲ致ス時ニ、相當程度ノ餘力ヲ持つて居レバ地元ノ買上ヲ致スコトガ出來ルノデアリマス、之ニ依ッテ内地ノ農民ニモ、今御話ノヤウナ要望ノ總テヲ絕對ニ満足サセヨウトスレバ、是ハ亦米穀ノ根本對策ニ觸レテ行カナケレバナラヌ問題デアリマスガ、今ノ米穀法ノ運用及特別會計資金ノ限度ガアル運用デアリマス限リハ、

或程度ノコトハ出來マス、御話ノヤウナコトハ何モ彼モ出來ルトハ申シマセヌケレドモ、出來ルト思フノデアリマス

○河野委員 私ハ米穀部長カラデ宜シウゴザイマスガ、現在我國ノ庭相場ノ大體ノ平均ト、庭相場ト清算取引市場ノ値開キハドノ位ノモノカ、調査ガアリマシタラ御同致シマス

○長瀬政府委員 是ハ色々ノ推定ガ入ラナケレバナリマセヌ、ソコデ全部ト云フ譯ニハ參リマセヌカラ庄内米、ソレカラ本石米、此ニツツ抜檢査的ニ取ッテ調べテ見タモノガアルノデアリマス、ソレハ御尋ニ依ッテ御答致シマスガ、農家ノ庭先相場ト、深川ノ正米相場ノ差額ダケヲ申上ゲマス、月ニ依ッテ色々違ヒマスケレドモ、本年六月頃ノ相場デアリマス、差額ガ一圓八十七錢ト云フコトニナッテ居ル、是ハ平均デアリマス、元ノ數字ヲ申上ゲマス、六月デアリマスガ、農家ノ庭先相場、是ガ山居米ノ三等ガ二十一圓二錢ト云フコトニナッテ居リマシテ、是ガ深川ノ正米相場ニ參リマス、二十二圓八十九錢ニ相成ルノデアリマス、其差額ガ一圓八十七錢トナルノデアリマス、ソレヲ今度ハ東京市ニ於キマスル白米ノ小賣相場、是ハ二等米ノ相場デアリマス

ガ、二十七圓五十六錢ト云フコトニナッテ居リマス、ソコデソレヲ玄米ノ庭先相場ト、只今申上ゲタ白米小賣相場ト比較致シマス、茲ニ六圓五十四錢ト云フ差ガ出テ參リマス

○若宮委員 ソレニ關聯シテ、今一寸聽漏シマシタガ、六月ノ凡ソノ數字ヲ御示シノヤウデアッタと思ヒマス、ソレデ昨年ノ十二月ヲ承レバ大變化合デアリマス

○長瀬政府委員 昨年十二月ノ八日ノ庭先相場、是ハヤハリ庄内米、山居米ノ三等デアリマスガ十九圓三十六錢デアリマス、之ニ對シマシテ深川ノ正米相場ニナリマス、九圓七十三錢、其差額ガ三十七錢ト云フコトニナッテ居リマス、ソレガ東京市ニ於ケル白米小賣相場ノ二等米ニシマス、二十四圓三十三錢ト云フコトニナリマシテ、結局玄米庭先相場ト白米トノ差額ガ四圓九十七錢ト云フコトニナリマス

○若宮委員 序ニ庄内米デ十一月ノハドウデセウカ

○長瀬政府委員 十一月ハヤハリ同ジ銘柄デ庭先相場ガ十七圓六十九錢デアリマス、深川ノ正米相場ガ十八圓四十五錢デアリマシテ其差額ガ七十六錢デアリマス、而シテ東京市ノ白米小賣相場ガ二等デ二十二圓九

十二錢、而シテ玄米庭先相場ト白米トノ差額ガ五圓二十三錢トナリマス

○胎中委員 今御伺シマシタ六月ト、昨年ノ十二月、十一月ノ三回ニ互ッテ、庭先相場ト深川正米相場トノ開キガ非常ニアリマスガ、或場合ニハ一圓八十七錢、或場合ニハ極メテ少イト云フコトハ、是ハドウ云フ譯デアリマスカ御説明ヲ願ヒタイ

○長瀬政府委員 此點ハ農家ノ庭先相場ト云フモノモ月々ニ依ッテ相當差ガアルノデアリマス、ソレト相場ノ立チ工合ニ依リマシテ、深川ヘ持つて參リマシテ、彼處ノ正米市場ノ強弱ノ趨勢ト云フモノガ、更ニ之ニ附加ハリマス、サウ云フ關係カラ致シマシテ玄米トシテ相當ノ差額ガゴザイマスガ、更ニ是ガ御承知ノ通り清算市場ノ關係上、清算市場ガ上ッテ參レバ自然正米モ引摺ラレル、此趨勢ハドウシテモ免レナイ、隨ッテ其強弱ノ趨勢ニ依リマシテ自然此清算正米ノ價格ニ或變動ヲ起シマス、更ニ今度東京市ニ於テ白米ノ小賣相場ト云フモノモ是亦建植ガ始終變ッテ參リマス、自然僅カノ月數デアリマシテモ、相當ノ開キガアルと思ヒマス

○胎中委員 尙私ハ確メテ置キタイと思フノハ、生産地カラ先ヅ深川ノ方ニ參リマス

ル運賃ナドハ除イタモノデスカ、或ハ此開キノ間ニ含テ居ルモノデアリマスカ、伺ヒタイノデアリマス

○長瀬政府委員 是ハヤハリ運賃ヲ含メテ居リマス、ソレデ庭先相場ト申シマスノガ、例ヘバ庄内米デアルト致シマスト丁度其地方ノ中心市場、例ヘバ酒田ナラ酒田ト云フモノヲ一ツ考ヘテ、其處ノ値段ヲ取リマシテ、ソレカラ大體ノ平均デ農家ノ庭先カラ其處マデノ運搬賃ト云フモノヲ差引キマシテ、庭先ノ値段ニ戻シタモノヲ只今申シマシタ庭先相場ニ致シタノデアリマス、ソレカラ自然深川ノ正米ニナリマストヤハリ東京ニ参リマス、酒田ナラ酒田カラ東京ヘ参リマス運賃ヲ見込ンデ居ルヤウニナッテ居リマス

○胎中委員 モウ一ツ御伺致シマス、何ダカ分ツタヤウデアルケレドモ、一寸マダ分ラヌ點ガアリマス、サウスルト何デスカ、例ヘバ酒田ナラ酒田ヲ生産地ノ中心トシテ、サウシテ其處マデノ、所謂庭先カラノ費用ヲ引ク譯デゴザイマスネ

○長瀬政府委員 サウデス

○胎中委員 ソレガ今言フ庭先ト云フ相場デ御報告ニナッタ數字ダラウト思フノデアリマスガ……

○長瀬政府委員 サウデス

○胎中委員 サウスルト、ソレガ更ニマア深川ナラ深川ヘ参ル、サウシマスルト、私共ハ非常ニ疑問ガアル、其庭先ヨリ深川ノ相場ガ安イコトモアルデセウ、サウ認メル、サウスルト此場合デスネ、此酒田カラ庭先マデハ所々ニ依ッテ違ヒマスルカラシテ、是ノ運賃ノコトヲ議論スルコトハ無理デアリマスガ、庄内米ヲ假リニ酒田ヲ中心トシマシテ、酒田カラ東京ノ深川マデ持ッテ來ル運賃ハ幾ラ位掛リマスカ

○長瀬政府委員 只今御話ノヤウニ逆鞘ト申シマシテ、詰リ親ヨリ子供ノ方ガ偉クナッタ、即チ庭先相場ノ方ガ深川正米市場ヨリ高イト云フ場合ガ現ニアルノデアリマス、是ハモウ極メテ稀ナル場合デアリマスケレドモ、サウ云フ逆鞘ノ現象ガ生ジテ來ルノデアリマス、ソレハヤハリ深川ノ正米市場ノ強弱ニ依ッテサウ云フ狀況ガ現レテ居リマスガ、是ハ觀念トシテハ、ドウシテモ、這入ッテ居ルト云フコトデアリマセヌト云フト、深川ノ正米市場ト云フモノ、値段ガ立チマセヌ、事實、今申ス通りニ逆鞘ノ場合モ一二アルノデアリマス（運賃ハナンボニナッテ居リマスカ）ト呼フ者アリ（只今申上ゲマシタノハ農家ノ庭先相場ト東京相場ノ

比較ト云フコトヲ申上ゲマシタ、ソレデ只今申上ゲタヤウナ現象ガ起ルノデアリマスガ、更ニ其運賃ダケヲ取ッテ見ルト幾ラニナルカト云フコトニナリマス、是ハ又表ガ別ニナリマスカラ、前ノ表ト後ノ表ト喰違フデハナイカト云フコトニナリマス、ソレハ全ク違ッテ居リマスカラ其點ハ御承知ヲ願ヒタイト思フノデアリマスガ、茲ニマア一ツ机ノ上デ値段ヲ拵ヘテ見ルト云フコトニシマシテ、例ヘバ只今庄内米ヲ取リマシタカラ庄内米デ申上ゲマスカ、庄内米ノ四等デ見マシテ、ソレガ東京マデ参リマス、ソレガ運賃プラス諸掛リ、其兩方デ二圓十錢三毛ニ付イテ居ルコトニナル譯デアリマス、是ハ先程申シマシタヤウニ色色ナ推定ナドモ這入リマスノデ、十分ニハ行カヌト云フコトハ私共重々承知シテ居リマスケレドモ、マアサウ御承知ヲ願ヒマシテ、先ヅ鐵道運賃ダケガ五圓六十八錢ソレカラ……（若宮委員）ソレハ噸ヂヤアリマセヌカ、石デスカ（ト呼フ）一石デス、――

ノガ五十二錢バカリニナッテ居リマス、サウスルト二圓十錢三毛――三毛ハ間違デアリマシタ、二圓十錢三厘デアリマス、前ニ三毛ト申上ゲタノモ訂正シマス、三厘デアリマス

○胎中委員 關聯シテ居リマスカラ一寸モウ一言聴イテ置キタイ、私共非常ニ蒙リ啓イテ戴イタシタダ、尙ホ茲ニ御伺シテ置キタイコトハ、能ク常識的ニ正米相場ト庭先相場ノ開キト云フコトヲ人ガ言ヒマス、今仰シヤッタノハ庄内米ノ話デアリマスルガ、マア總體的ニ之ヲ平均シテノ意味デ、常識的ニ一體正米相場ト庭先相場ノ間ハドレ位ノ開キヲ普通見テ宜イノデアリマスカ、無論其距離等ニ依ッテ違フコトハ承知シテ居リマスガ……

○長瀬政府委員 是ハ只今申上ゲマシタヤウニ、非常ニ高イ時ハ七圓八十七錢ト云フヤウナ差ノ出テ居ル場合モアリマスガ、非常ニ低イ時ハ四圓四十錢ト云フヤウナ場合モアリマシテ、非常ニ區々ナノデアリマスガ、先ヅ六年一月カラ七年ノ六月マデチズツト眺メマス（ト云フト、マア六圓八九十錢位ノ所ニナリハシナイカト思ヒマス）

○胎中委員 有難ウゴザイマシタ

○池田委員 私ハ簡單デスガ、一寸伺ッテ見

タイコトガアリマス、先程生産費ノ調ガ十二月ニ出來ルト云フ御答辯デアリマシタガ、是ハ十二月デナケレバ事實上出來ナイモノデアリマスルカ、或ハ内規、規定ト云フヤウナモノ、上カラ十二月トナッテ居ルノデアリマセウカ、是デハドウモ出來秋カラノ期間ガ餘リ長過ギルヤウニ思ヒマスガ、如何デセウカ

○長瀬政府委員 此生産費ヲ調べマスノハ、色々其生産費ノ項目ガアッテ大變記帳ガムヅカシイノデアリマス、隨ヒマシテハハ私共ノ方ノ規定デアリマスケレドモ、是ハ實際此時デナケレバムヅカシイ事情ノ困難ニ打當ッテ居リマス、ソレデ結局調査項目ガ出來マス、其出來タ度毎ニ何月幾日マデト云フコトニシテ縣廳ニ送りマス、此縣廳ニ送ッタモノヲ縣廳ガ取纏メテ私共ニ又報告ガアリマス、其農家カラ縣廳ヘ送りマス一番最後ノ期限ノモノガ、只今ノ所デハツバカリゴザイマス、ソレガ十二月一日マデニ縣廳ニ到達スルヤウニ報告シロト云フコトニナッテ居リマス、ソレヲ大急ギデ縣廳ノ方デ纏メマシテ、ソレカラ私共ノ方ニ來マシテ、ソレガ先ヅ十二月十日頃ニスッカリ纏マル、斯ウ云フコトニナッテ居リマスカラ、一寸十二月十日以前ニハ私共ガ此規

定タイヂリマスコトガ無理デアルヤウニ考ヘマス

○池田委員 先程ヨリ他ノ方カラモ色々ナ御質問ガアリマシタガ、是ハ私ハ役所ノ遣方ニ依ッテハ私ハモット早く出來ヤシナイカ、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居リマス(出來ナイト言ッテ居ル、其他發言スル者アリ)

○河野委員 今庭先相場ト清算取引ノ相場トノ開キヲ承ッタノデアリマスガ、大體一圓八十何錢、私ノ考デハ……

○長瀬政府委員 正米デスカ

○河野委員 正米デス、二圓乃至三圓位ノ開キヲ見ルコトガ妥當ダト考ヘテ居リマス、ソコデ政府ハ、此米穀法ノ根幹ニナッテ居リマスル率勢米價デアリマス、ソレカラ生産費調、生計調ト云フモノヲ總テ確實ナル統計ヲ基礎トシテ米價ヲ決定シヨウトシテ行ク其時ニ、吾々農民ノ立場カラ言ヒマス、庭先相場ガドウカト云フコトガ重大問題デアアルノデアリマス、深川ノ米ガドウデアラウガ、神田川ノ米ガドウナラウガ、堂島ガ幾ラニナラウガ、ソシナコトヨリモ、要スルニ農民ノ手ヲ離レル時ノ値段ガ幾ラニ買ッテ貰ヘルカト云フコトガ問題ノ中心ナンデアリマス、ソコデ又同時ニ政府ノ生産費ノ調ヲ見マシテモ、其生

産費調ノ中ニハチャント、庭先相場ヲ基準ニシテ生産費ヲ調べルヤウニナッテ居ル、政府ノ米穀法ノ一番ノ基礎ニナル調べハ、庭先相場ヲ基礎ニシテ生産費ノ調べヲスルト云フコトニナッテ居ル、一方ニ庭先相場ト、正米市場ノ相場ノ開キガ二圓乃至三圓アル、此二圓三圓ト云フコトガ非常ナ大問題デアアル、正米相場ト庭先相場ガ二圓乃至三圓ノ開キガアルナラバ、一方ノ生産費ノ調査ノ根幹ヲ成ス所ノ米價ハ、何ヲ基準ニシテ居ルカト言フト、庭先相場ヲ基調トシテ居ル、其間ノ矛盾ハドウ云フコトニナルノデアリマス

○長瀬政府委員 此生産費調ハ、何レ農家ノ直接耕地ニ勞力ヲ加ヘマシテ生産スルニ必要ナル生産費ヲ調べルノデアリマスカラ、是ハドウシテモ私ハ庭先相場デナケレバナラスト考ヘマス、唯只今ノ賣買ノ價格ハ一圓七十錢カラ二圓バカリノ開キガアリマス所ノ標準期米ヲ取ッテ居ルト云フコトガ矛盾デハナイカト云フ御話デアリマスガ、ソレハ先程モ申上ゲル通り、現在ノ米穀法ニ依リマシテ、此米穀ノ數量又ハ市價ヲ調節スル爲ニ、買入又ハ賣渡ノ價格ハ時價ニ準據シテ之ヲ定メルト云フコトニナッテ居リマス、サウ云フ譯デアリマス、私共

ハ矢張此正米市場ノ價格ト云フモノヲ見マシテ、サウシテ買上價格賣渡價格ヲ定メテ來テ居ル譯デアリマス、併シナガラ將來ノ率勢米價ニ付テノ生産費ト云フモノハ、私ハ矢張今日ノ庭先相場ヲ基礎トシテ考ヘナケレバナラスト思ヒマス

○東委員長 一寸是デ委員會ハ暫ク休憩シマシテ、午後正一時半カラ開會ト云フコトニ致シマス、暫時休憩致シマス

午後零時二十四分休憩

午後一時四十六分開議

○東委員長 是ヨリ開會致シマス、大臣ハ直グ出席サレルサウデス

○河野委員 先程ニ引續キマシテ、庭先相場ト生産費ノ關係ヲ少シ承リタイト思ヒマス、先程政府委員カラ御答辯ガアリマシタヤウニ、庭先相場ト、神田川ナリ、深川ナリ、堂島ナリノ相場トノ間ニハソコニ二圓以上ノ値開キノアルコトハ、常識的ニ考ヘテモ明カダト思ヒマス、所ガ現在ノ米穀法ト云フモノハ總テテ數理的ニキチット定メテ置ク、一方農家ガ手放ス時ノ價格デアアル庭先相場、詰リ現實ニ農家ノ收入ニナル價格ト、米穀法發動ノ基準トサレル正米市場ノ値段トノ間ニ二圓幾ラノ開キガ出テ來ルガ、是ハソレデ宜シイノデアアルカドウデア

ルカチ承リタイ、大臣が見エマシタカラ、大臣カラ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマスカラ、モウ一度簡單ニ申シマス、當局ガ米穀對策ヲ行ヒニナル時ニハ、農家ノ現實ノ收入ヲ目的ニシテ行ヒニナルカ、消費者ガ實際買ッテ食ベル所ノ値段ヲ對照ニシテ行ハナクレバナラヌカ、ソレトモサウ云フモノハ考ヘヌデ宜イ、正米市場ノ中米ノ値段ヲ取ッテヤレバ宜イノダト云フコトデ満足爲サルカ、其點ヲ承レバ宜イノデアリマス

○後藤國務大臣 今ノ御話ハ米穀對策ノ根本問題ニ觸レル點ガアルガ、ソハ姑ク別ト致シマシテ、今ノ米穀法ヲ運用シテ米穀ノ買入、賣却ヲヤリ、市價又ハ數量ノ調節ヲスルト云フ場合ニハ、矢張此市場ノ價格ヲ以テ買入、買上ヲ數量ニ依ッテヤルノデ、値ト云フコトヲ狙ッテ居ラナイ、數量ノ買上、或ハ賣却ニ依リマシテ、サウシテ市價ノ上ニ相當好イ影響ヲ持ッテ來ヤウ、斯ウ云フコトヲ考ヘルノデアリマス、庭先相場、或ハ市場ノ消費者ノ口ニ入ル米ノ相場ト云フヤウナコトモ米穀對策トシテハ非常ニ重要ナ問題デアリマスケレドモ、ソレ等ノ問題ヲ考慮シテ茲ニ米穀對策ヲ講ジヤウトスレバ、米穀對策ノ根本策ヘ入ッテ來ナケレバナラヌデ、只今ノ米穀法ノ制度デヤリマス

限リニ於テハ、時價デ或ル數量ヲ買ヒ、或ハ時價デ或ル數量ヲ賣拂フト云フコトデ、米穀ノ數量ヲ考慮シテ、ソコニ行動ヲ執ルト云フコトニナル譯デアリマス

○河野委員 私ノ申上デマシタノハ政府ノ現行米穀法ハ總テ其基礎ヲ數理ニ置イテ居ル、物價ノ動キガドウナッテ居ル、ソレニ伴フ米價率ガドウナルト云フコトデ率勢米價ヲ定メテヤル、之ニ依ッテヤルコトガ正シイノデアルト云フ農林大臣ノ根本觀念ニ付テ、若シサウデアラナラバ、吾々ノ立場カラ申シマス、農村ガ非常ニ困ッテ居ルカラ米ヲモット買上ラレルヤウニシテ吳レト云フノガ吾々ノ主張デアリマス、ソコデ農林大臣ガ對照シテ居ラレル所ノ數量ヲ基礎ニシテ、立法マデシテ居ルモノガ農家ノ手ヲ離レル所ノ値段ト、農林大臣ガ對照サレル値段トノ間ニ二圓以上ノ開キガアルト云フコトハ矛盾デハナイカ、其二圓以上ノ開キガアルノヲ、更ニ抛ッテ置イテモ構ハヌカ、之ヲ現在ノ率勢米價ヲ以テスルナラバ、十七圓九十何錢ニナル、ソレヨリモ更ニ二圓方安イ所ノ十五圓デ、農民ハ庭相場デ手離サナケレバナラヌト云フコトヲ、之ヲシモ認メルカドウカト云フ質問デアリマス

○後藤國務大臣 庭相場ト市場ノ相場ト云フモノヲ見較ベテ、米穀對策トシテノ米ノ買出動、又賣出動ト云フヤウナモノヲ致スト云フコトハ現行ノ制度ニ於テハ出來ナイト思ヒマス、ソレハ率勢米價ト云フ問題ヲ別ニシテ、之ヲ無イトシテモ、有ルトシテモ同ジコトデアルト思ヒマス、斯ウ云フ問題ノ解決ニ進マウトスルナラバ、ドウシテモ米穀對策ノ根本ニ入ッテ來ナケレバナラヌコト、思フノデアリマス

○河野委員 一寸斯ウ云フコトヲ御斷リ申上ゲテ置キタイ、吾々ハ現行法ヲ改正シテ、率勢米價ヲ廢止シヨウト云フ主張ヲ持ッテ居ルコトヲ觀念ニ御置キヲ願ヒタイ、大臣ノ仰シヤルコトハ、ソレガ根本問題デアル、根本問題デアルト仰シヤルガ、ソレガ根本問題デアッテモ、根本的ニ他ノ立法ヲスルナラバ別デアリマスガ、唯現在アル所ノ率勢米價ヲ止メテシマフ、斯ウ云フ點ハ窮屈ニ考ヘズニ出來ルデハナイカト云フノガ吾々ノ主張デアリマス、サウ云フ主張ヲ以テ吾々ハ質問シテ居ルト云フコトヲ御考ヘ願ヒタイ、大臣ノ今仰シヤルヤウニ率勢米價ノ廢止ガ出來ヌト云フヤウニ簡單ニ片付ケラレテハ困ル、絶對ニ出來ヌコトデハナイノデアル、議會ヲ通過スレバソレデ極ク簡單ニ出來ル、ソレヲ今ヤルコトガ惡イト云フノ

ガ問題ニナッテ、吾々ガ質問スルノデアリマスガ、之ニ對シテ大臣ノ御考ヲ承ッテ置キタイノデアリマス、ソレデ今申上ゲマスヤウニ、現在ノ農村事情カラ致シマシテ下値ニ割ト申シマス、吾々ハ非常ニ不滿デアリマスガ、十七圓九十何錢ニナッテ居ル、併シ現實ニ農民ガ手離ス相場ハ更ニソレヨリモ二圓何ガシ安イト云フコトハ、誰デモ認メナケレバナラヌ、サウスルト一石十五圓幾ラデ農民ガ手離ス時期ニナラナケレバ、政府ハ買上出動ニ出ルコトノ出來ナイノガ、現在ノ本法ノ實情デアリマス、是デモ農林大臣ハ宜シイト云フノカ、ドウカト云フ質問デアリマス

○後藤國務大臣 ソレニ付テハ先刻申上ゲマシタヤウニ、生産費ノ調査ヲ入レテ考ヘヤウト云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、現在ノ米穀法ニ上値二割下値二割、何レヲ狹メテモ基準ニ近付カシメルコトガ出來ルト云フ適當ナ材料ガアレバ、其適當ナ資料ヲ取入レル、即チ生産生計費ト云フモノニ適正ナモノガアレバ取入レ、今ノ米穀法ヲ運用スルコトニ依テ、今ノ米穀法ノ制度デヤル限リハ、ソレガ至當デアルト思フノデアリマス、根本ノ改革デ進メルト云フコトデアレバ議論ハ自ラ別ニナリマス

○河野委員 生産費ノ問題ニ付テ伺ヒタ

イ、農林大臣ハ率勢米價ニハ不備ガアル、率勢米價ニハ斯ウ云フ不備ガ起ルト申スト、其點ハ肯定爲サレル議論ヲセズニ、生産費ノ方デ何トカ按排スルト云フコトデアリマスガ、然ラバ此十二月ニ出來ル所ノ生産費調査デアアル、此生産費調査ノ本質ニ付テ少シ承ハッテ見タイト思ヒマス、元來昨日モ米穀部長ニ御伺シタノデアリマスガ、凡ソ統計ト云フモノハ成ベク多數ノモノカラ材料ヲ集メテ、ソレヲ永年繼續シテ始メテ妥當ト認メル場合ニ其統計ヲ基礎ニシテ間違ナイノデアアルガ、一國ノ農村ノ對策ノ根幹ヲ成ス所ノ米價ニ付キ、唯去年ヤッテ見タ統計デ、農林當局ハ満足シテ居ルカドウカ、之ヲ腹藏ナク仰シヤッテ戴キタイ、去年ノヤウナ東北ノ饑饉デアッタ時ハ、一石ノ生産費ガ百何十圓ニナッテ居ル所モアル、或場所ニ依ッテハ一石十圓ノ所モアル、左様ナ場合ノ生産費調査ト云フモノハ中々面倒ナモノデ、簡單ニ出來ルモノデナイト信ズル、ソレデ去年ヤッテ餘リ芳シクナカッタ、若シ農林大臣カラ昨年ノ生産費調査ガ、スッカリ發表出來ルナラバ發表シテ戴イテ、ソレニ付テ批判シタイ、恐ラク斯ウ云フ統計ト云フモノハ、ドノ統計ニシテモ一度ヤ二度ノ

統計ヲ基礎ニシテ、我國ノ政府ガ其統計ヲ基礎ニシテ政策ヲ確定シタコトハナイ、世界各國何處ノ國デモ一遍ノ統計ヲ以テ之ヲ國家ノ政策ノ基礎ニスルト云フヤウナコンナ馬鹿々々シイ政策ノ決メ方ハ未ダ曾テ前例ハナイダラウト思ヒマス、其點ニ付テ一ツ御意見ヲ承ハリタイ

○後藤國務大臣 生産費ノ調査ガ不完全デアラウト云フ御話デアリマス、御話ノ通り生産費ノ調査ト云フモノハ非常ニムツカシイモノデアリマス、殊ニ完全無缺ナ何人ガ見テモ立派ナ生産費ノ計數ガ出テ、之ヲ何處ヘ當嵌メテモ宜イ生産費ト云フモノハ想像ガ出來ナイ、要スルニ比較的合理的ダト認ムル所ノ基準ヲ置カナケレバナラスノデアリマシテ、御話ノヤウナ東北ノ凶作デア

ル時分ニハ、一石百圓以上ノ生産費ガ出テ來ルカモ知レヌガ、其時ニ百圓ノ相場デ米ヲ買フト云フ譯ニハ參ラヌノデアリマス、自ラ根本策ガ立ツ時デナケレバ、サウ云フコトガ解決セラレナイノハ明ナコトデアリマス、唯今日ノ米穀法ヲ運用スル時ニ於テハ、相當ナル生産費ガ得ラレマスレバ、其相當ナモノヲ持込ンデ來ルト云フコトデ吾

○河野委員 私ハアナタノ御意見ニ満足ハ出來ヌノデアリマスガ、諄クナリマスカラ私ノ意見ハ此程度ニ止メテ置キマスガ、唯一點今申サレマシタ生産費ノ中ノ重要ナル部分ヲ占メテ居ル所ノ米價ノ決定ハ、庭先相場デ決メテ居ル、是ハ米穀法ノ中ニチャント規定シテアル、地代利潤、小作料等ヲ決メルト云フヤウナ場合ニハ、米ノ値段ハ庭先相場デ決メテ居ル、政府ガ同ジ立法ノ中ニ於テ、一方ハ正米市場ノ仲相場ヲ取ッテ決メ、一方ハ庭先相場ヲ取ッテ生産費ヲ安カラシムルト云フ、此矛盾ハドウシテ解決シマスカ

生産費ヲ加味シマスカ、何レカ政府ノ決定シタ基準ノ價格ヲ下廻ッタ場合デアリマス、下廻ッタ時ニ始メテ買ノ出動ニ出ルノデアリマス、サウシタナラバ一方ハ買ノ出動ニ出ル基準ガ正米市場ノ仲値デ取ル、其處マデ下ッテ來ナケレバ政府ハ對策ヲチャッテヤラス、併ナガラ一方ハ其生産費ハソレデ成ベク安カラシメルヤウナ結果ニナリハシナイカト思フ、一方生産費ノ調査ノ時ニ、庭先相場ヲ取ッテ生産費ハ是レ々々出タノダト云フナラバ、ヤハリ同様ニ買出動ヲシテヤル場合ニハ、其庭先相場ヲ基準ニシテヤラナケレバ、同ジ政府ガ米穀政策ヲ行フト云フ場合ニ、一方ハ庭先相場ヲ取り、一方ハ正米市場ノ仲値ヲ取ル、而モ其間ニ僅カナ金ナラバ宜イケレドモ、重大ナル二圓乃至ハ三圓ト云フヤウナ開キガ起ッテ居ルト云フ點ハ、只今ノ御説明ノヤウニ簡單ニ理窟ノ上デ此方ハ是デ宜シイ、此方ハ是デ宜シイト云フノデハイカスト思フ、其點ハ如何デスカ

○後藤國務大臣 ソレハ別ニ私ハ矛盾デナイヤウニ思フノデアリマス、生産費ノ調査ノ爲ニ庭先相場ヲ取ッテ、地代其他利子等ノ計算ヲスルト云フノハ、生産費調査ノ普通ノ遣方デアラウト思ヒマス、政府ガ買又ハ賣ノ出動ヲスル時分ニ、正米市場ノ仲相場ヲ取ッテヤルト云フノハ時價デ賣リ、又ハ買フカラデアリマス、色々ナ米價ノ基準ヲ設ケテ居リマシテモ、買フノハ基準ト離レテ時價デ買フノデアリマス、自ラ直接ノ關聯ヲ有タナイ事柄デアルト思ヒマス

○河野委員 買フノハ時價デ買フト申サレマスガ、其時價ハ率勢米價ニシマスカ、生

○後藤國務大臣 ドウモ私ハイカストコトガナイヤウニ思ヒマスガ、庭先相場ト云フモノヲ見テ、庭先相場ヲ維持サセルヤウニ米ヲ買フト云フ譯ニモ參リマセヌノデアリマス、買フ時ハ正米市場ニ於テ買付テ大體行

ヒマスカラ、其中カラ時價デ買フコトニナル、其間ニ多少ノ開キガ出テ來ルト云フコトハ、此米穀法ノ見方カラ見レバ當然デアリマシテ、率勢米價ノ有無ト云ッタ問題デハナク、自然ニヤハリサウナルノデハナイカト思ヒマス

○河野委員 ソレナラモウ少シ簡單ニ申上ガマスガ、率勢米價ヲ離レテ生産費ダケデ考ヘル——大臣ハ生産費ヲ入レルカラ、生産費ヲ入レルカラト云フ御話デアリマスカ、生産費一本デ考ヘタ場合ニ、生産費ガ二十圓何ガシニナッタ、其生産費ノ基礎ニナルモノハ庭先相場デアルト云フ場合ニ、政府ガ生産費一本デ扱フト假定致シマス、生産費ガ二十圓何ガシ、政府ハ生産費ヲ割ッタ買フト云フコトニ法律ガナッテ居ッタ場合ニ、生産費ヲ決メルニハ庭先相場ヲ決メテ置イテ、サウシテ一方ガ正米市場ノ値段デ扱フト云フコトニナッタ場合ニハ、ドウナルノデスカ

○後藤國務大臣 生産費ヲ決メル時ノ割出ハ色々ナモノデ、生産費ヲ割出シテ來マスカ、其一項目ノ基準トシテ庭先相場ヲ取ッテ、利廻ナリ、小作料ナリノコトヲ判定シテ行クト云フデアリマス、一方ハ時價デ買フト云フデアリマス、御話ノヤウニ何

カ庭先相場デ一切ノモノヲ決メテ置イテ、今度ハ此方ハ庭先相場ニ關係ナク、市場ノ相場デ一切ヲ決メルト云フヤウナ事柄デハナイヤウニ思ヒマス

○河野委員 私ハ初カラ農林大臣ノ御説明ノ中ニ、金額ガ非常ニ細カイ點ニ議論ノ餘地ガ存シテ居ルト思フ、例ヘバ今ノ問題ニシマシテモ、勿論生産費ノ總テガ庭先相場ヲ決マルモノデハナイコトハ私モ分ッテ居リマス、併シ米ノ値段ガ五十錢高イカ安イカト云フコトガ重大ナル論點デアリマス、而モ一面ニ於キマシテハ率勢米價ノ如クピシット總テヲ算術デ割出シテ來ルト云フ時ニ、數理的ニ一ツデモ矛盾ガアルナラバハ重大ナ缺點デアルト思フ、ソコデ其問題ハ止メマシテ更ニ先程ノ點ニ戻リマシテ、朝鮮米ヲ時價デ買上ゲテ、内地ノ米ハ率勢米價デナケレバ出來ヌ、率勢米價ニ生産費ヲ加味シタモノデナケレバヤルコトガ出來ナイ、此間ニ非常ナ私ハ矛盾ガアルヤウニ考ヘマス、同時ニ内地ノ農民ニ成ベク米ノ買上ヲヤッテ呉レト云フ要望ガアル時ニ、朝鮮米ハ時價ヲ以テドン／＼買上ゲテヤル、必要ナダケハ年々政府ガ買上ゲテヤル、而モ値段ハ率勢米價ヤ生産費ト關係ナシニ、ソレガ二十五圓デアラウガ、三十圓デアラ

ウガ、朝鮮カラ内地ニ向ケテ米ガ豫定ヨリ餘計來ル虞ガアレバ買上ゲテヤルト云フコトニナッテ居ル、隨テ朝鮮米ハ値段ガ高クナッテ來ルト云フコトニナルノダラウト考ヘル、而モ一方内地ノ農民ハ非常ニ買上ヲ要望シナガラ、常ニソレヲヤッテ買フコトガ出來ナイ、率勢米價トカ、生産費トカ云フ面倒ナ數字ニ縛ラレテヤッテ買フコトガ出來ナイト云フ、其間非常ナ差別待遇ヲ受ケルヤウナ氣ガ致シマスガ、如何デスカ

○後藤國務大臣 内地ノ米穀法ニ依ッテ米ノ買上ヲスルコト、朝鮮ノ米ノ買上ヲスルコトガ自ラ違ッテ居ルコトハ御話ノ通りデアリマス、唯、朝鮮米ヲ無暗ニ幾ラデモ買上ゲル譯デハアリマセヌ、年々月別平均ニ買上ゲテ行カウト云フデアリマス、隨テ内地ノ米ノ對策ガ吾々ノ主眼トスル所デアリマス、内地ノ米ノ對策ヲ側面カラ掩護スル爲ニ、朝鮮米ノ統制ヲ或ル程度ニヤッテ見ヨウ、徹底的デナイト云フ御批評ガアリマシタナラ、確ニ徹底的デハナイ、併シ相當ニ是デ緩和シヨウト云フデアリマス、内地ノ米ノ問題ニ付キマシテハ根本ノ政策ヲ考ヘナケレバナラヌノデアリマス、根本ノ政策ガ如何様ナ結論ニ至リマスカ、是ハ分リマセヌ、併ナガラ根本ヲ考ヘルコトナ

ク當面ノ處置ト致シマシテハ、只今ノ米穀法ニ依ッテヤッテ行クトニ何等ノ不都合ハナイト考ヘルノデアリマス

○河野委員 サウスルト根本ヲ決メルマデハ應急策ハ別ニ必要ガナイ、今ノ朝鮮米云々ト云フ程度デ何トカヤッテ行ケルト云フノデスカ

○後藤國務大臣 朝鮮米並先程來申シマシタ貯藏ノ問題、ソレカラ米穀法ニ依ル米ノ買又ハ賣ノ出動ト云フコトデ相當ノコトガ出來ルト考ヘテ居リマス

○河野委員 更ニ君ハ質問ノ趣旨ヲ變ヘテ伺ヒマス、大體農林大臣ノ米穀對策ハ率勢米價ニ付テハ、ソレニ生産費ヲ加味シテ行クト云フコトデアリマスガ、少クトモ生産費以下ニナッタ場合ニ買出動ヲスルト云フヤウニ解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○後藤國務大臣 左様デゴザイマス

○河野委員 ソレナラ私ハ米ニ重大ナ關聯ヲ持ッテ居リマスカ簡單ニ伺ッテ見タイト思ヒマス、農林大臣ノ硫酸「アンモニア」ニ對スル根本觀念ハ如何デアリマスカ、内地ノ硫酸、肥料デス、内地ノ肥料會社ノ現在ノ輸出入許可制度ノ施行サレル其根本觀念ハ如何デアリマスカ

○後藤國務大臣 御質問ガ具體的デナイノ

デ分り兼ネマス

○河野委員 ソレデハ具體的ニ申シマス、少クモ私ガ今マデ知ッテ居ル範圍デハ、内地ノ硫酸製造會社ニ對スル政府當局ノ態度ハ生産費ヲ保護シテヤラウ、生産費ヲ割ラセヌヤウニシテヤラウト云フノガ趣旨ニナツテ、硫酸ノ輸出入ノ許可制度ヲ現在布カレテ居ル、何トカシテ硫酸ノ會社ガ潰レナイヤウニ、各肥料會社ガ潰レナイヤウニ、其生産費ヲ割ラナイヤウニシテヤラウト云フ建前デ、從來ノ肥料政策ガ來テ居ルヤウニ私ハ考ヘテ居リマスガ、如何デスカ

○後藤國務大臣 從來ノ農林省ノ採ッテ居リマス肥料ノ對策ハ、肥料ノ需要供給ノ關係ヲ顧慮シテ輸出入ノ許可ヲスルト云フコトニナツテ居リマス、今日肥料會社ノ生産費ト云フモノハ頗ル區々デアリマスシ、肥料會社ノ事情ガ色々デスカ、其事情ニ一々即シテ考ヘル譯ニハ參リマセヌ、吾々ノ希望ハ今日ノ所ハ——他ノ方ハドウ云フ希望ガアルカモ知レマセヌガ、成ベク農民ノ爲ニ肥料ハ安イガ宜イト考ヘテ居リマス

○河野委員 ソレデスト數量ノ需給ヲ圓滑ナラシムルト云フコトガ目的デアツテ、價格ノ點ハ御考ニナツテ居ラスノデスカ、出來ルダケ安イガ宜イト云フ御考デスカ

○後藤國務大臣 出來ルダケ安イト言ヒマシテモ、日本ノ肥料會社ガ皆潰レテシマツテモ宜イト云フ位マデモ考ヘテ居リマセヌガ、何トカ立行ク限り安イガ宜イト思ッテ居リマス

○河野委員 立行ク限リト云フ限度ハドウ云フノデスカ、生産費ヲ割ッタラ會社ガ潰レルニ決ッテ居ルデヤアリマセヌカ

○後藤國務大臣 先程モ申上ゲマシタ通り會社ノ生産費ハ區々デアリマスカラ、ソレヲ一々見テ居ル譯ニ行キ兼マス、大體肥料ノ需給ノ狀況ヲ見、今日ノ農村ノ狀況ヲ見マスレバ、肥料ハ成タケ安イ方ガ結構ダト思ッテ居リマス

○河野委員 モウ少シ研究シテ御答願ヒタイ、内地ニ於ケル硫酸製造ノ會社ハ七ツカハツデアリマス、百モ二百モアルナラバデスカ、七ツヤハツノ會社ノ生産費ガ研究ガ出來スト云フコトハナイ、七ツカハツノ會社ガ生産費ガ幾ラト決ッテ居ルカ分ラヌト云フ筈ハナイ、アノ會社ハ大體下ノ位ノ生産費デアルカ、凡ソ營利會社デアル以上生産費ヲ割レバ參ッテシマフニ決ッテ居ル、農民デアルカラコソ假令生産費ヲ割ッテモ二年々三年ハ辛抱スル、其間ニ何トカシテ今日ノ窮境ヲ打開シマスガ、是ガ肥料會社ノ

ヤウナモノデアレバ潰レルニ決ッテ居ル、而モ最惡ノ會社ヲ基準ニセズ——私等モ多少ハ研究シテ居リマス、最惡ノ生産費八十圓、九十圓ト云フ會社ヲ政府ガ擁護シテ居ルトハ思ハレマセヌガ、少クモ最新ノ組織ノ下ニ計畫ヲ立ッタ肥料會社ノ生産費ハ何時デモ政府ノ對策ノ基準ニナツテ居ルデヤアリマセヌカ、モウ少シハッキリ御答辯願ヒマス

○後藤國務大臣 肥料ノ會社ノコトニ付テハ私ハ此際深ク申上ゲナイ方ガ宜イト思ッテ居リマス、肥料ノ各會社ノ生産費ハドウ云フモノデアルカ、或ル程度ノ調査ヲシタコトモアリマスガ、今ノ所ハッキリ申上ゲルヤウナ調査ガ出來テ居リマセヌ、尙ホ今後十分ニ研究シテ見タイト思ッテ居リマス

○東委員長 一寸河野君御相談ガアリマスガ、此委員會ニハ大臣ハ三時マデト云フ負債整理ノ方トノ約束ガアルノデスカ、ソレデ肥料問題ナラバモウ少シ後ニ廻シテ貰ッテ、質問ヲ讓ッテ戴イテ、多數ノ人ニ質問ヲ願ヒタイト思ッテ居リマス

○河野委員 宜シウゴザイマス、唯モウ一遍ダケ言ハシテ下サイ、私ハ肥料ノ問題ハ委員長ノ御注意デスカラ止メマスガ、米ノ生産ニハ肥料ガ一番重大ナ要素デアル、而モ其肥料ニ付テ此際發言スルコトヲ慎重ト

カ、研究スル云々ト云フコトヲ言ハレマスケレドモ、既ニ政府ハ硫酸ノ輸出入ノ許可制度ヲ施行シテ居ル、サウシテ内地ニ於ケル肥料ノ値段ハ政府ノ腹一ツデドウデモナルヤウニナツテ居ル、而シテ肥料ノ値段ハ生産費ヲ保ツヤウニシテ置イテ、米ノ値段ハ生産費以下ニナツテ居ルト云フ立前ハ何處ニアルカ、私ノ言フノハ此處デスカ、ソレニ對シテ農林大臣ハ肥料ノ方ハ言ハズニ、——抑肥料ヲ商工省ニ讓ルノハ卑怯デスカ、肥料ノ問題ハ農林大臣ガ自ラ進ンデヤラナケレバナラス、現在ノ農村ノ不況ヲ打開スルニハ米ト生絲ト肥料、是ダケヲ片付ケルト云フノガ農民ノ要望デスカ、此肥料ノ問題ニ付テ發言ヲ差控ヘル、目下研究中デアアル、目下研究中デアラナラバ何ガ故ニ肥料ノ獎勵ヲシテ政府ノ胸三寸デ硫酸ヲ入レルコトモ、出スコトモ出來ルヤウニ、認可、許可ノ鍵ヲ握ッテ居リマスカ、此鍵ニ依ッテ政府ハ上ゲモスル、下ゲモスル、上ゲモスレバ下ゲモスルヤウニサレテ居ッテ、一方此米ヲ作ルニハ此肥料ガナケレバナラス、農林大臣トシテハドウシテモ此責任ガアルト思ヒマス、モウ一遍最後ノ質問ニ御答ヲ願ヒマシテ、質問ヲ留保シテ置キマス

○後藤國務大臣 肥料ノ根本問題ニ付テハ

深く考究シタイと思ッテ居リマス、唯、當面ノ肥料ノ問題トシテ輸出入ノ許可ノ權能ヲ政府ガ持ッテ居ル、ソレニ依ッテ生産費ヲ償フヤウニ巧ク安排シテヤッテ居ルデヤナイカト云フ御尋ノヤウデアリマスガ、今日ノ肥料ノ輸出入ノ許可ト云フ問題ニ付テハ、生産費ト申スヨリ寧ろ需給ノ關係ヲ見テヤッテ居リマス云フコトヲ申上ゲテ置クノデアリマス

○東委員長 河野君ノ質問ハ留保スルト云フコトデアリマスカラ、松山君

○松山委員 私ハ農林大臣ニ御尋ヲ致シタイノデアリマスガ、先程カラ同僚河野君ノセラレタ質問ヲ受繼ギマシテ、私ノ質問ヲ開始致シタイと思フノデアリマス、先程河野君ノ斯ウ云フ質問ニ對シテ農林大臣ハ答ヘラレタ、米ノ買出動ヲ始メルノニ生産費ダケヲ考ヘテソレニ準據シテ決メタ方ガ宜シイデヤナイカ、何ガ故ニ率勢米價ト云フコトヲ併セテ考ヘナケレバナラヌカ、現行法ニ依リマス率勢米價ト生産費ト云フモノヲ併セテ考ヘテ、ソレヲ基準ニシテ買出動ヲ始メル、最低米價ヲ定メル、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデアリマスガ、何ガ故ニ率勢米價ト云フコトヲ併セテ考ヘナケレバナラヌカ、生産費ダケヲ基準ニ考ヘテヤッ

タ方ガ宜シイデヤナイカ、斯ウ云フ河野君ノ質問ニ對シテ農林大臣ノ御答ハ、物價指數ト云フモノヲ考ニ入レナケレバナラヌ、ソレデ此率勢米價ト云フモノヲ考ヘナケレバナラヌ、ソレノ方ガ宜シイと思フ、斯ウ云フ御答デアッタと思フノデアリマス、若シソレガ間違ッテ居ッタラバ後デ御訂正願ヒマス、ソレヲ本トシテ私ノ議論ヲ進メテ見タイと思ヒマス、此率勢米價ト云フモノハドウ云フ項目カラ成立ッテ居ルカト云ヘバ、日本銀行ニ於テ定メタル物價指數ト、ソレカラ基準米價、即チ明治三十三年十月ニ於ケル深川正米市場ノ中等米ノ市價十一圓八十一錢ト云フモノト、ソレカラ米價率ノ趨勢値ト云フモノ、三ツノ積カラ成立ッテ居ルノデアリマス、大臣ノ申サレマシタ物價指數ト云フモノヲ考慮ニ入レナケレバナラヌト云フ意味ハ、此三ツノ中ノ一ツガ物價指數デアルト云フコトカラ來テ居ルダラウト思フノデアリマス、ソコデ私が御尋致シタイノハ此率勢米價ヲ算出スル場合ニ、例ヘバ今日米穀法ニ依リマスルト、今日政府ガ買ハネバナラヌト云フコトガ起ッタ場合ニ、其物價指數ハ當リ前ナラバ、何時ノモノヲ取ルカト云ヘバ、昨年ノ十一月ノ物價指數ヲ取ル、唯今年ハ是ハ算出計算ヲ改正

致シマシタカラ四月ニ致シマシタガ、即チ今年ノ三月ニ於ケル物價指數ト云フモノニ依ッテ、今日ノ基準率勢米價ト云フモノガ算定セラレテ居ル、當リ前ナラバ昨年ノ十一月ノ物價指數デアリマスガ、今年ハ今年三月ノ物價指數ト云フモノカラ率勢米價ト云フモノハ算定セラレテ居ル譯デアリマス、サウスルト、私ノ御尋シタイノハ、茲ニ少シ經濟界ノコトニ付テ、私共ノ考ヲ運ラサナケレバナラヌト思フノデアリマス、昨年ノ十二月十三日、犬養內閣ニナッタ時ニ、金輸出再禁止ヲヤッタ、ソレデ對外爲替相場ガ動クヤウニナッタ、今日ハ爲替相場ガ二十二弗ヲ割ッテ居リマスガ、兎ニ角半以下ニ下ッテ居ルト云フ實情デアリマス、サウスルト物價ト云フモノハドウ云フ風ニ動クカ、外國貿易ニ關係アル品物ハ此爲替相場ノ變動ニ依ッテ、爲替相場ガ半以下ニ下レバ、物價ハ倍以上ニ上ガルベキ道理デアリマス、唯米ノヤウナ純國內的ノ商品ハ直グソレニ依ッテハ動カナイケレドモ、自然ソレガ上ッテ來ルコトニナル、今日ハ小麥ガ少シ高クナッテ、米ハ直グ高クナラナイトスレバ、「パン」ヲ食フコトヲ差控ヘテ、米ヲ食フコトニナルカラ、米ノ需要ガ増シテ來ル、ソレデ米ノ植段ガ上ガッテ來ル、今米ガ上ガッテ

來ルノハソレガ爲デアル、サウスルト純國內的ノ商品ガ稍遅レテ、半年トカ、一年トカ遅レテ、ソレガ段々上ッテ來ルコトニナルノデアリマス、サウスルト、日本銀行ノ物價指數ハドウカト云ヘバ、五十何種ノ商品ニ付テ平均シタモノデアリマスカラ、其中ヲ行ク譯デアル、其實易的ノ商品ト、純國內的ノ商品ト、對外的ノ商品ト國內的ノ商品ト平均シタ所ガ物價指數ニ行ク譯デアリマス、サウスルト、昨年ノ十一月カラ是ガ順々ニ上ッテ來テ居ルノデアリマス、今日ノ率勢米價ヲ定メル、詰リ米價ノ或ル標準ヲ茲ニ算定スル場合ニ、昨年十一月ノ標準デ算定シタノト、今年三月ノ物價指數ト云フモノ、標準ニ依ッテ算定シタ物價指數ト云フモノハ、餘程今日ノ實情ニ遅レテ居ル、ソレカラ申シマシテモ、私ハ率勢米價ノ規定ハナイ方ガ、農林大臣ノ申サレル今日ノ物價指數ト云フモノヲ考ニ入レテ判斷ヲシタイト云フ御趣旨ニ合スルノデハナカラウカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、農林大臣ハ如何ニ御考ニナリマスカ

○後藤國務大臣 率勢米價ヲ容易ニ動カサナイ方ガ宜イと思ッテ居リマス、率勢米價ハ御話ノヤウニ昨年ノ十二月ニ一逼決メマシテ、又三月ニ一逼動カシテ居リマス、其後

物價ノ下落、物價指數ノ低下ガズットアリマシタ、併シソレダカラト言ッテ、基準ヲ直チニソレニ應ジテ下ゲテ、毎月々々變ヘテ行ッタナラバ、御話ノヤウニ物價指數ト適正ニ調子ヲ取ルコトニナルデアリマセウケレドモ、是ハ却テ米價ノ安定ヲ妨ゲルコトニナルヤウニ思ハレマスノデ、今日マデ改正ヲセズニ居ル譯デアリマス、少シバカリノ其邊ノ喰違ヒ、上リ下リハサウ細カニ見テ行ッテ、下ゲタリスベキモノデハナカラウト思ヒマス、物價指數ト申スヨリハ、物價ノ狀況ト、米價ノ狀況トハヤハリ凡ソ睨合ッテ行カナケレバナライ、又實際ノ趨勢モサウナッテ參ッテ居ルノデアリマス、今日米作ハ相當ニ宜カラウト云フ風ニ傳ヘラレテ居リマスル際ニモ拘ラズ、一體ノ物價ノ高騰ノ趨勢カラ參リマス、米ナドハ可ナリ早ク響イテ騰貴スルヤウナ形ニナッテ居リマス、唯率勢米價ト云フモノヲナクシテヤル時ト、率勢米價ニ依ッテヤル時トハ、率勢米價ニ依ッテヤル時ト寧ロ基準ガアッテ、運用ニハエライ無理トカ、亂暴ナコトガ行ハレナイト云フ私ハ寧ロ利益ガアルヤウニ思フノデアリマス、御話ノヤウニ非常ナ不便ナモノト云フ譯デモアルマイト思ヒマス

○松山委員 大臣ノ御答ハ私ノ質問ニ對シ

テ見當ガ外レテ居ルヤウニ思フノデアリマス、此點ヲ能ク御考ヲ願ヒタイ、大臣ノ今ノ御考ノ意味ハ一箇年ニ一過ダケ率勢米價ヲ算定シテヤルノガ不都合デアアル、月々算定シタ方ガ宜イノデハナйкаト云フ質問ニ對スル御答ノヤウデアリマス、サウ云フ質問デハナイ、率勢米價ガアル故ニ不都合デアアル、ソレヲ月々ヤルコトハ仰シヤル通りニ不都合ガアリマセウ、ソレガ宜シイトハ私ハ言ッテ居ラナイ、ケレドモ一年ニ一回算定シテ居ルコトニ不都合ハアリハシマスマイカ、アナタノ仰シヤルノハ、物價指數ヲ考ニ入レナケレバナラス、ソレハ勿論其通りデス、是ハ率勢米價ノヤウナ規定ガナクテモ、政府ガ最低最高ノ價格、買出動ノ時ノ價格ヲ判定スルニハ、物價指數ト云フモノハ斯ウ云フ規定ガナクテモ、勿論斯ウ云フモノハ考ニ入レナケレバナライ、標準ハ色々政府ノ手加減ニ依ッテヤルベキモノト思ヒマス、ソレヲ當ズボニ無暗ニヤルベキモノデハナイ、ソレニハ相當ノ算定ノ基礎ガアリ、標準ガアルケレドモ、法律デ斯ウ云フコトヲ決メルノニモ、基準ガナケレバ自由ニ裁量シヨウニモ出來ナイコトニナルノデハナイカ、即チ今日ノ米ヲ買フ値段ヲ決メルニモ、今日ハ今年ノ三月ノ物

價指數ニ支配セラレテ居ル、通常ノ年ナラバ、昨年ノ十一月ノ物價指數ニ支配セラレテ居ルコトガ不都合デアアル、吾々カラ言ヘバ此率勢米價ト云フヤウナ規定ハナイ方ガ、大臣ノ言ハレル物價指數ヲ考慮ニ入レルト云フ趣旨ヲ實行スルノニ都合ガ宜シイノデハナイカ、此事ヲ私ハ御尋致シタノデアリマスルガ、ソコハ意見ノ相違デアルト思ヒマスガ、其コトニ付テ御答下サルナラバ、御答願ヒマス

○後藤國務大臣 ドウモ伺ヒマスト、一年ニ一回ノ率勢米價デヤルコトハイケナイ、物價指數ヲ十分考慮シタトハ言ハレナイ、物價指數ト云フモノガ變ッテ來ル、物價指數ハ考慮シナケレバナラスノデアアルガ、一年ニ一回デハイカヌト云フコトデアリマス、サウスルト毎月ヤレバ宜シイト云フ御意見デハナイカト思ヒマスルカラ、ソレハ却テ安定ヲ妨ゲルト云フヤウナ見地デ變ヘナイト云フコトヲ御答申シタノデアリマス

○松山委員 ソレデ今ノ對外爲替相場トノ關係ノコトニ付テ、一寸私ガ言及テ致シマシタカラ、此際モウ一ツ申シテ置カナケレバナラヌト思フノデアリマス、ソレハ大臣ハ頻リニ此生産費ノ調ベガ近イ内ニ出ルカラ、此率勢米價ノ入ッテ居ル米穀法ノ現行法

デモ米價ノ維持ニハ差支ナイト思フト云フ非常ニ自信ヲ持ッテ居ラレルノデスガ、是ハ私ハ大臣ノ考ヘテ居ル所ハ別ノ所ニアルト思ヒマス、ソレハ何故カト言ヘバ、米ノ値段ガ上ッテ居ルカラ、買出動チスル必要ハ近い將來ニナイト云フコトヲ頼ンデ言ッテ居ラレルト思ヒマス、ソレハ米穀法ノ影響デハナイ、金輸出再禁止ノ結果デアリマス、即チ日本ノ對外爲替相場ガ下落シテ、ソレニ追隨シテ米價ガ上リツ、アルト云フコトニ依ッテ、大臣ハソレヲ頼ンデ居ラレルカラ、此不都合ナ米穀法デモ差支ハ生ゼヌト云フ自信ヲ持ッテ居ラレルノデアラウト私ハ思フノデアリマス、併シソレト同時ニ近キ將來ニ不都合ガ起ッテ來ルト思フ、此率勢米價ハ農家ヲ壓迫スベキ事實ガ起ッテ來ルデアラウト思フ、ソレハ對外爲替相場ハ今半分迄ニ下ッテ居ル、サウスレバ外國貿易ノ關係ノ品物ハ、倍以上ニ上ルベキ道理デアリマス、サウスルト純國內的ノ米モ倍迄ニハナリマスマイケレドモ、理論上カラ言ヘバ相當ソレニ付イテ上ッテ來ル、私ハ近キ將來ニ生計費ト家計費ヲ割ル時ガ生ズルト思ヒマス、家計費ト云フモノハ、何チ基準トシテ計算スルノデアアルカ、政府ノ説明スル所ニ依リマスレバ、内閣ノ統計局ニ調ベサ

シテ居ルト云フガ、少クトモソレハ昨年ノ物價指數ヲ標準ニシタ家計費デアル、ソレカラ或ハモット數年前カラノ平均デアルナラバ、一層今日ノ現在トハ懸離レテ居ルノデアル、サウ云フ材料ニ依ッテ計算シタ家計費ト云フモノト、率勢米價ト云フモノヲ標準トシテ、今度ハ政府ガ米ヲ賣出スト云フ時ガ來ルト、農家ハソレダケ抑ヘラレル譯デ、當リ前ナラバ本當ノ今日ノ物價指數カラ言ヘバ、モット賣出動ノ時ハ物價指數ハ高クアルベキ筈デアルガ、米穀法ノ如キ賣抑ヘル時ガ近キ將來ニ來ルト私ハ思ヒマス

○後藤國務大臣 家計費ノ調べハ出來マス、家計費ヲ入レテ上値ヲ定メル所ノ計算ガ得ラレルカドウカ、近キ將來家計費ヲ加ヘテ上値ヲ作ルト云フ考ハ有ッテ居リマセヌ、其處ヘ行ッテ二割ノ所デ制限サレナケレバナラヌ、其處ヘ行ッテ賣出動ヲシナケレバナラヌト云フ判斷ハ今カラ一寸豫測出來兼ネルト思ヒマス、一體消費者ノ側ノ困難ナ狀況ヲ見タ上デナケレバ——賣ルト云フコトニハナリマスケレドモ、賣ルカ賣ラヌカト云フコトハ、其時ノ問題デアリマス

○松山委員 意見ガ多イノデアリマスカラ此事ニ付テハ、注意ダケヲ促シテ私ハ議論ヲ進メタイト思ヒマス、率勢米價ト云フモ

ノハ、先程申上ゲマシタ通り、日本銀行デ定メタ物價指數ト、明治三十三年十月ニ於ケル米價、即チ十一圓八十一錢ト云フモノト、米價率ノ趨勢値ト云フモノトノ三ツノ定義カラ成ッテ居ル、米價率ノ趨勢値ト云フモノニ付テハ、昨年ノ五十九議會ニ於テ大分論議セラレタ問題デアリマスガ、今ノ農林大臣竝ニ米穀部長ハ當時ハ其局ニ居ラレナカッタノデアリマスカラ、其時ノ事情ヲ少シク申上ゲテ置キタイト思ヒマス

是ハ所謂米價率ト云フモノニ關係シテ、最小自乘法ト云フ數學ヲ適用シタモノデアリマス、其當時私ハ其事ヲ當局ニ申上ゲタノデアリマシタガ、元來最小自乘法ト云フモノハ、今ノ農林大臣モサウ云フ御考ヲ有ッテ居ラレルガ、其當時ノ政府當局デモサウデアリマシタ、私ハ始め色々質問シタラ、最小自乘法ト云フムツカシイ數學デ計算シタモノデアルカラ、オ前ニハ分ラヌケレドモ承服セヨト云フ御話デアッタ、所ガ最小自乘法ト云フモノハドウ云フ時ニ使フベキ學說デアルカト云フト、例ヘバ此處ノ議院カラ私共ガ東京ノ或一點ヲ測量スル機械ノ誤差ヲ出スノデアッテ、或ハ溫度ノ關係、空氣ノ關係、濕度ノ關係ヲ嚴密ニ測ッテ、百遍測ッテ、百遍ナガラ測ッタ結果ガ違フ、即チ

其誤差デアル、其極ク少ナイ誤差ヲ修正スル學說デアル、サウ云フ微小ナ誤差ヲ修正スル學說デアル、ソレヲヤルコトニ於テ權威ガアル、或ハ米穀ノ値ノ高低ト云フヤウナ非常ニ大キナ動キ、コンナ荒ッポイ二倍ニモ、三倍ニモ變化スルモノニ適用スル學說デハナイ、ソレデアルカラ之ヲ用キタカラト言ッテ學理上ニ何等權威ガナイ、唯學者ハ之ヲ使フテ計算スルト便利デアル、或一ツノ公式デ計算ガ出テ來ルカラ、便利デアルカラ使フノデアル、之ヲ實驗的範式ト稱シテ、此公式デヤッタ結果ガ實際ニ適合スル場合ニハ便利デアルカラ、學者ハ之ヲ使フノデアル、其場合學者ハ皆其實驗的範式ヲ用キテ公式ヲ拵ヘタ、サウシテ責任ヲ明ニスル爲ニ或ハ「ダランベール」ノ公式デアルトカ、或ハ日本ナラバ井口博士ガ公式ヲ拵ヘテ居ル、井口公式ト申シマス、其學者ノ責任ヲ明カニシテ居ル、宜イ加減ナモノデハナイト云フ責任ヲ負フ意味デ誰々ノ公式ト云ッテ居ルモノヲ世間デハ使フ、デアリマスカラ學理上何等根據ガナイ、其當時私ハ安藤博士ト議論シタ、同博士ハソレヲ十分ニ承認シテ居ラレタ、此率勢米價ト云フモノハ學理上根據ハナイ、而シテ實際的ニ其當時ニ於テハ、生産費ハ直グニ出ナイ、家

許費ハ直グニ出ナイ、上下二割ト云フモノヲ標準トシテ最高ヲ定ルト云フコトデアッテ、其二割ト云フモノハ學理上何等根據ガナイノデアルカラ、サウ云フモノデアッテハイカヌト云フコトヲ私共ハ力説シタ、其當時ニ於テハ農林大臣モ可ナリニ困ラレテ、是ハ可ナリ不合理デアルト云フコトヲ承認サレテ居ルト云フコトヲ確信シテ居リマス、唯民政黨ガ多數デ以テ其當時押シテシマッタ、ダカラ民政黨ガ少數ナラバ率勢米價ガ破レルノハ當然デアル、其當時私共ハ此法ハ實際ニ於テ價值ガナイト云フコトヲ言ッタコトガアル、是ノ一ツノ證據ハ、一體生産費ト云フモノハ農家ノ忍ビ得ル最低價額デアラネバナラヌ筈デアアル、勿論生産費ハ昨年モ調べ、今年モ調べ、サウシテ段々比較的信頼スベキモノニナルノデアアル、政府ノ調べタ生産費ト云フモノハ、自作農、小作農、自作兼小作農ニ就テ調べタノデアッテ、二十圓十一錢ト云フ平均ニナッテ居ル、ソレガ農家ノ忍ビ得ル最低價額デアルベキ筈デアリマス、之ヲ農林省ハ二十圓十一錢、帝國農會ハ二十六圓幾ラトナッテ居ル、其二十圓十一錢ヲ採ッテ見テモ、農林省カラ與ヘラレタル表ニ依リマス、最低價額ハ昨年ノ十二月ノ若槻內閣當時ニ決定セラレタ最

低價格ハ十六圓三十一錢デアリマス、犬養内閣ノ時、即チ今年ノ四月ニ修正シタモノデモ十七圓九十一錢デアリマス、而モ是ハ市場ノ價額デアッテ、所謂庭先相場デハナイ、サウスルト市場ノ價格ノ十七圓九十一錢ト、庭先相場ノ十五圓八十一錢トハ二圓十錢ト云フ開キガアル、シテ見ルト今年ノ四月ニ定メタ最低價額カラ申シテモ、十七圓九十一錢、之ヲ庭先相場デ言ヘバ十五圓八十一錢、是ヲ前ノ二十圓十一錢ト云フモノニ比シテ、四圓三十錢ト云フモノヲ農家ガ損ヲスル、農家ヲ虐メタ最低價額ハ生産費カラ言ウテモ農家ハ四圓三十錢ト云フモノヲ損スルコトニナル、是ガ私共ガ昨年ノ議會ニ於テ率勢米價ヨリ二割ト云フモノヲ最低價格ニスルト云フコトハ、不都合ダト云フコトヲ言ウタノハ現ニ此數字ニ現ハレテ居ルデハアリマセヌカ、此意味ニ於キマシテ、私共ハ此二割ト云フモノハ、是ハ農林大臣ハ此二割ト云フモノヲ適用スルノデハナイ、近イ内ニ生産費ガ出テ來ルカラト云フコトヲ頻ニ説明シテ居ラレルノデアリマスガ、吾々ハ其當時ノ當局ニ對シテ二割ト云フモノヲ最低價格ニスルトハ、不都合ダト云フコトヲ絶叫シタノガ現ニ數字ニハッキリ此處ニ現ハレテ來テ居ルノデアリ

マス、サウスル意味ニ於キマシテ、私共ハ少シ専門的ニ互ルコトヲ農林大臣ニ御尋スルコトハ、少シク御氣ノ毒デアリマスケレドモ、併シ責任ヲ負ッテ居ラレル當局デアリマスカラ、率勢米價ト云フモノヲ米價ノ標準ニスル、苟モ農民ノ生活ニ非常ニ關係ノアル此米穀法ノ規定ノ標準ニスルト云フコトハ間違ッテ居ル、學理上又根據ガナイ、實際ニ適合シナイモノデアルト云フコトヲ私共ハ確信シテ居ルコトヲ此處ニ申述べタ次第デアリマス、御氣ノ毒デアリマスガ責任者トシテ何等カ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○後藤國務大臣 率勢米價ニ付テ色々御批評ガアリマシタ、率勢米價ガ今御話ノヤウナ計算ニ依ッテ出テ居リマスルコトハ承知致シテ居リマス、此米穀法ノ發動ニ自ラ一ツノ定規ヲ得タイ、政府ガ唯自由勝手ニ買ッたり、賣ッたり相場ト共ニ動クヤウナ譯ニハ行カナイヤウニシテ置カウト云フコトガ、率勢米價ヲ置カレタ根本ノ精神デアルト思フノデアリマス、率勢米價其モノガ完全無缺ナモノデアルト、恐ラク當時ノ方達モ考ヘテ居ルマイト思ヒマス、若シ率勢米價ガ完全無缺ナラバ、御話ノ通り率勢米價一本デ動イテ行ケバ宜イノデアリマス、上値下値ト餘裕ヲ置イテ、其間ニ運用ノ餘地

ヲ置イタノモ其爲デアルノデアリマス、併シ大體物價ノ趨勢ト、米價ノ趨勢ト睨合テ付ケタ所ニ米價ト云フモノ、動キノ標準ガアルデアラウ、ソレト生産費ト云フヤウナモノヲ見合セテ米穀法ノ發動ヲシテ行クト云フコトハ、只今ノ建前デハ、是ト代ルベキ更ニヨリ良キ根本的ナ立派ナ方策ノ出ルマデハ、ソレヲ守ッテ然ルベキモノデアラウト私共ハ思ッテ居リマス

○松山委員 私共ハ農林大臣ニナル程ノ人ハ相當ナ學識モアリ、經驗モアリ、又相當ナ技術モアル幕僚ヲ有ッテ居ル、ソレヲ統率シテ行ク能力アル人ダト信ジテ居ル、又米穀部長ニナル人及其部ニ屬シテ居ラレル人ハ、皆此米ノコトニ付テハ相當ナ經驗モアリ、知識モ有ッテ居ラレル人々デアルト信ジテ居ル、假令是ガ斯ウ云フ規定ガナクとも、自ラソコニ農林大臣ハ標準ガナケレバナラヌト云フコトヲ申サレマスルガ、例ヘバ生産費ト云フモノハ一ツノ標準ニナル筈デアル、生計費ト云フモノハ一ツノ標準ニナル筈デアル、之ヲ又其當時ノ當局ハ率勢米價ガ非常ニ宜シイトセラレタ、率勢米價ト云フモノヲ計算シタ結果、使ッテ非常ニ參考トシテ宜シイト云フナラバ、御勝手ニ當局ガ自分ノ所デ計算ノ參考ニ爲サルコトハ、

決シテ私共ハ惡ク言ッテ居ルノデハナイノデスヨ、唯法律デ規定スルガ故ニ、今日ノヤウニ經濟界ニ非常ナ變動ガアッテ、對外爲替ノ相場ニ非常ナ變動ガアル、又農民ノ生活狀態ニ非常ニ危急ナコトガ迫ッテ來、社會ガ非常ニ不安ニナリ、政府當局モ今度買上資金ヲ一億圓ニ殖ヤサレタ、是ハ決シテ唯一億圓積ンデ置ケバソレデ農民ガ安心スルト御考ニナッテ居ル爲デハナイト思フ、是ハ買上ゲテ農民ノ生活ヲ安定サセル爲ニ、此一億圓ハ米穀ニ關スル特別會計ニ御置キニナッタノダト思フ、率勢米價ト法律デ之ヲ規定サレテ居ルガ爲ニ、買ハウニモ買ハレヌデハアリマセヌカ、最低價格ト云フト、今日デ言フナラバ二十二圓三十九錢ト云フモノマデ來ナケレバ買ハレヌデハアリマセヌカ、殊ニ今日ノ此議會ト云フモノハ時局匡救ノ議會デアリマス、非常特別ノ場合デアル、ソレモ率勢米價ト云フモノガ法律デ規定サレテ居ル以上ハ、何トモ出來ナイデハアリマセヌカ、農林當局ガ宜シイト云フナラバ、之ヲ標準ニ爲サルノハ宜シイガ、或ハ家計費ヲ調ベテ標準ニスル、或ハ生産費ヲ調ベテ標準ニスル、總テサウスル云フモノヲ標準ニスルノハ宜シイガ、而モソレガ間違ッタモノデア

ル場合ニハ、又自由ニ改メルコトガ出來ルケ

レドモ、法律ニ決メラレテ居ル場合ニハ如何トモスルコトガ出来ナイ、其處ハ見解ノ相違ト云フコトニナリマセウ、併シ私共ト致シマシテハ、斯ウ云フ經濟界ノ變動ノ甚シイ非常特別ノ場合ニ於テハ、寧ろ無軌道ニシテ置イタ方ガ宜シイ、其軌道ヲ此處ニ拵ヘルコトガ宜シクナイト私共ハ思フ、而モ其軌道ガ實際ニ適合シナイト云フ多クノ苦イ經驗ヲ握ツタ以上ハ、斯ノ如キモノハ廢止スベキモノデアル、殊ニ初メニ週ッテ、米穀法ニ此規定ヲ入レタ其當時ノコトヲ顧ミマシテモ、是ハ民政黨ガ少數ニナルト共ニ當然破ルベキ法規デアル、斯ノ如ク私共ハ信ジテ居リマスガ故ニ、私共ハ率勢米價ト云フ規定ハ取除イタ方ガ宜イト云フノデアリマス、率勢米價ト云フモノハ、學理上何等根據ノナイモノデアリ、實際上ニモ何等效果ノナイモノデアルカラ、是ハ取除イタ方ガ宜シイト思フ、生産費、家計費ト云フモノハ、是ハ理論上カラハ確ニ必要ナモノデアルケレドモ、之ヲ法律ニ規定スル場合ニ於テ、今申上ゲマスヤウニ、根本ノ生産費ト云フモノハ、昨年ノ物價指數デアリマスカラ、昨年ノモノカラ來テ居ル、經濟界ノ變動ノ甚シイ時ニ、其事自體ガ既ニ適合シナイ、生計費モ其通りデアリマス、此意

味ニ於テ私ハ之ヲ法律デ規定シナイ方ガ宜シイト、斯様ニ信ズルノデアリマス、殊ニ是ハ昨日河野君ガ質問セラレタ中ニモアル、朝鮮ニ於テハ率勢米價ハ使ハヌノダ、無軌道デアル、日本ニ於テハ率勢米價ヲ使アノダト云フコトハ、是ハ法制ノ統制ノ上カラ言ウテモ宜シクナイトコトダト思フノデアリマス、此意味ニ於テ私ハ第一ニ此率勢米價及家計費生産費ト云フヤウナ規定ヲ設ケルコトハ、却テ有害ニシテ無益デアル、是ハナイ方ガ宜シイ、斯ウ云フヤウニ私ハ考ヘルノデアリマス、ソコニ行クト農林大臣ト見解ノ相違ト云フコトニナルカモ知レマセヌ、唯別ナ御考ガゴザイマスナラバ御答下サツテモ宜シウゴザイマス、ナケレバ私ノ質問ハ是デ打切りマス

○宮澤委員 同僚諸君カラ引續イテ色々質問ガアリ、其御答辯ニ依ッテ私モ大分政府當局ノ御意思ノアル所ヲ拜聽シタノデアリマス、ヤハリ今回ノ此米穀法ノ改正ノ中心論點ハ所謂米價問題ニアルコトハ申スマデモアリマセヌ、ヤハリ私ノ伺ヒマスル所ハ此米價ノ問題ニ付テ同僚諸君カラ屢々率勢米價ノ不合理ナルコトヲ實際上カラ、且學理上カラ色々御説明ガアッタ、私共聽キマシテハ尤モダト思フノデアリマスガ、政府

ニ於テモ之ヲ十分ト思ハヌガ、無キニ勝ル、而モ之ニ近ク査定サルベキ生産費、生計費ト云フモノヲ加味シテ、サウシテ按排宜シキヲ得タ米價ヲ以テ價格ヲ決メル、斯ウ云フ御話デアルノデアリマスガ、ソレガ違フノデアリマス、私ハ此率勢米價ト云フモノガ有害無益デアルト思フ、無キニ勝ル、今トシテハ已ムヲ得ヌト仰シヤイマスガ、是ハアッテ却ッテ有害ナ結果ヲ今日招來致シテ居ル、ト申シマスノハ、是ガアリマスルガ爲ニ、米價ガ他ノ物價ニ比例シテ暴騰シテ所謂經濟財貨トシテノ價格ヲ市場ニ維持セントスルノガ目的デアラウガ、是ガ爲ニ却テ束縛サレテハ居ラヌカ、申スマデモアリマセヌガ、米ノ價格ト云フモノハ、明治三十三年頃ノ所謂物價ノ指數、米價ノ指數、ソレカラ米價率ト云フヤウナ、米價趨値ト云フヤウナモノカラ割出シテ見マスト、其當時ノ一般物價ト米價ノ上リ工合トヲ比較致シマシテ、極メテ其間ニ不合理ナル趨勢ヲ辿ッテ來テ居ルト私ハ信ジマス、私共ガ子供當時ノ明治三十年頃ノ米一升ノ値段ト云フモノハ、殆ど人一人ノ勞銀ニナッテ居ル、米一升ハ一人ノ勞銀ト云フコトニ算定サレテ居ル、大抵玄米ノ一升ノ値段ガ八錢カ十錢デアル、勞銀モ其通りデアル、然

ルニ數十年後ノ今日デアリマスルガ、他ノ物價ハ十倍、甚シキハ二十倍ニナッテ居ル、米ノ方ハドウデアルカト言ヘバ、依然トシテ三倍ニモナッテ居リマセヌ、二倍カ二倍半デアル、斯ウ云フ風ナ趨勢ヲ辿ッテ米ハ上ッテ來テ居ルノデアリマス、是ハ何ニ原因シテ居ルカト言ヒマス、農民ト云フモノハは何ト云フカ計算ニ疎イ、收支ノ打算ニ極メテ鈍イ、デアリマスカラ生産費ト云フモノニ對スル觀念ガ極メテ薄イ、勞銀ナント云フモノニ付テノ考ヲ持ッテ居ナイ、隨テ安クテモ之ヲ當リ前ノヤウニ思ッテ居ル、又政府當局トシテモ、動モスレバ一方ノ米ノ消費者、之ニ迎合スル爲ニ、米ガ安イワ宜イワデ、其儘放任シテ居ッテ、之ニ甘ンジテ今日ノ狀態ニナッテ居ルノデアリマス、是ガ今日ノ情勢デアリ、三十年後ノ今日迄ノ推移ノ經過デアリマス、其狀態ヲ基準ニシテ一般物價ノ趨勢ヤ、米價ノ趨値ニ依ッテ、此米價率ト云フモノヲ算定シテ行クト云フコトガ根本ニ於テ既ニ誤ッテ居ル、私ハ斯ウ思ッテ居ルノデアリマスガ、果シテ農林當局ハ如何ナル御考デアリマスカ、之ヲ一ツ伺ヒタイ

○後藤國務大臣 大體ノ趨勢ヲ率勢米價デ計算シテ參ッテ居ルノデアリマス、ソレデ

率勢米價ト云フモノヲ出シテ居ルノデアリマス、物價ノ趨勢ト米價ノ趨勢トハ、個々ノ品物ニ付テ見マスト色々ナ開キガアリマスケレドモ、大勢カラ申スト、ヤハリ大體同ジヤウニ參ッテ居リマス、唯、米價ノ方ガ常ニ少シ上廻リヲシテ行クト云フヤウナ傾向ヲズット長イ間持ッテ居ルヤウデス、御話ノヤウニ米價ハ二三倍ニシカナラナイガ、他ノ物價ハ數倍ニナッテ居ルト云フヤウナ動キ方デハナイト云フヤウニ觀察シマス

○宮澤委員 私ハ其觀方ガ根本的ニ違フト思ヒマス、例ヘバ勞銀ニ付テ例ヲ取リマスガ、其當時十錢カ十五錢デ以テ換算サレテ居リマシタ米一升ノ値段ガ、今日ハヤハリ二十錢カ二十五錢デアル、勞銀ト云フモノハ大抵七、八十錢、多ケレバ一圓カラ一圓四五十錢、一圓取リマシテモ正ニ是ハ十倍以上ニ上ッテ居リマス、一圓五十錢ト見レバ十五倍以上デアル、燐寸一箱ニ致シマシテモ、其當時ハ大抵二厘デアル、今日ハ大抵二錢位シテ居リマス、物價ト云フモノハ大抵サウ云フ風ニ變動シテ、非常ナ暴騰ヲ來シテ居ル、然ルニ今日從來カラノ極メテ騰貴率ノ緩慢ナル比率ヲ以テ、此米價比率ト云フモノヲ決定致スノハ、根本的ノ誤リデアルノデアリマスカラ、此米價率ヲ適用

シマスルト云フコトハ、本當ニ公正ナ米價ヲ算定スルコトニナラヌト思ヒマス、ソレカラ尙ホ生計費ニ付テバアリマスガ、生計費ヲ米價ヲ算定スル基準ニサレル、斯ウ云フノデアリマスガ、生計費ニ致シマシテモ、今ノ色々ノ物價ニシマシテモ、生活ノ必需品ハ色々アリマセウガ、恐ラク米位騰貴率ノ緩慢ナモノハナカラウト思ヒマス、然ルニ生計費ヲ標準ニシテ、米ノ全部ガ生活費ノ何ボニ當ッテ居ルカラ何ボニスルト云フコトニ依ッテ、之ヲ御決メニナルダラウト思ヒマスガ、果シテ生計費ヲ算定ハドウ云フ風ナ關係デ、其米價ヲ算定スル材料ニ御使ヒニナル御考デアリマセウカ、私ハ之ヲ御用キニナルコトガ既ニ誤リデアルト思フノデアリマスガ、ドウ云フ風ナ程度ニ此生計費ヲ米價ノ算定ニ引用爲サル御考デアルカ之ヲ一ツ承リタイ

○後藤國務大臣 先程モ申シマシタヤウニ、生計費ヲ米價ノ基準ニ入レ得ルモノガ得ラレルカドウカト云フコトノ見込ハ、マダハハッキリシテ居リマセヌ、ソレハ生産費ノ如ク直チニ之ヲ近イ將來ニ入レルカドウカト云フ決心ハ付イテ居リマセヌガ、生計費ハ近ク出來ルコトニナッテ居リマス、尙ホ細カイコトニ付テハ政府委員カラ御答申上ゲマス

マス

○長瀬政府委員 生計費ニ付キマシテハ、此十一月ニ大體調査ガ完了スル見込デ居リマス、ソレデ大體ノ家計費カラ一家ノ消費致シマス所ノ米ノ價格トカ云フモノヲ見出シマス譯デアリマシテ、ソレニハ色々調査ノ項目等ガゴザイマス、ソレデ大體ハ都會地、即チ消費地ニ於ケル家計費ノ狀態ヲ見ルノデアリマス、只今ノ所デハ十箇ノ市街地ニ於キマス家計費ノ調査ヲヤラシテ居ルノデアリマス、是ガ追々ト調査資料ガ纏テ參リマスノデ、本年ノ十一月ニハ調査ガ完了スル豫定デアリマス、サウナリマスレバ其家計費ノ中ノ一石當リノ價格ニ換算致シマシタモノヲ賣出シノ基準ニスル、斯ウ云フ考デアリマス

○宮澤委員 今ノ御答辯デハ私ハ満足出來マセヌガ、要スルニ一戸ノ家ノ中ニ米ヲドレタケ持ッテ居ルヤラ、ドノ程度マデ上ゲテ宜イカ、ドノ程度マデ下ゲテ宜イト云フ考ナノデスカ

○長瀬政府委員 左様デゴザイマス

○宮澤委員 私ハソレガ根本的ニ誤リデアルト思フ、米ト云フモノハ諸物價ヨリ比較的低位ニアル、比較的安イ、ソレガ今日迄放任サレテ居ル、其誤レル生計費ト云フモノ

ノヲ依然其價格ノ算定ノ參考材料ト爲サルト云フコトハ、茲ニ誤ガ非常ニアルト思フ、前ノ率勢米價ニ致シマシテモ誤ガアル、更ニ之ニ援用セラレル生計費ニ依ッテ、所謂米價ヲ算定シヨウト云フコトハ、是ハ誤ッテ居ル、何レモ是ハ誤レル基礎ノ下ニアル材料ヲ、ヤハリ今回ノ米價算定ノ材料ニ援用サレルト云フコトハ、根本的ノ間違ガ其處ニアルダラウト思フノデアリマス、一體是ハ質問スルノデアリマスガ、米ハ各自ノ生活ノ必需品デアル、是ハ固ヨリデアリマス、生活ノ必需品デアルト云フ故ヲ以テ、他ノ物價ニ比較シテ其價格ノ制限ヲサレテ居ル必需品ガ他ニアリマセウカ、私ハ恐ラクナカラウト思フ、例ヘバ今日國民多數ノ用キマスル綿布ニ致シマシテモ、或ハ味噌、醬油ニ致シマシテモ、或ハ瓦斯電氣ニ致シマシテモ、水道ニ致シマシテモ、他ノ全部ノ生計費ノ中ニ於テ何割ヲ占メテ居ルカラ、此處迄ニシナケレバナラヌ、是レ以上上ゲル譯ニ行カヌト云フ風ニ、他ノ一般生計費ヲ基準ニ置イテ此價格ヲ制限シ、干涉スルト云フヤウナモノガ他ニ何處ニアリマスカ、御アリニナレバ承リタイノデアリマス、取締上或ハ公共物トシテノ取締ハアルデアリマセウガ、斯クノ如クマデ立入ッテ干涉壓

迫テ加ヘテ居ル物ガ米以外ノ何處ニアリマセウカ、其意見ハドウデアリマセウカ

○後藤國務大臣 我國ニ於テハ米以外ニハ、政府ガ大キナ力ヲ以テ價格ニ干與シヨウトスル態度ヲ探ツテ居ル品物ハ御話ノ通りニ只今ノ所アリマセヌ、肥料ノ問題ハ稍、ソレニ似通ツタ點ガアルノデアリマス、併シミダケハ日本ニ於ケル特殊ノ品物デアリマシテ、高クレバ幾ラ高クテモ宜イ、安クレバ幾ラ安クテモ宜イ、安イ方ガ宜イト云フ譯ニ參リマセヌ、而モ内地ノ多數ノ人ガ生産シ、内地ノ殆ド全部ノ人ガ消費シ、外國ニ之ヲ輸出スルト云フヤウナモノデハナイノデアリマスカラ、ソコニ米ノ大キナ困難ト必要トガ存在シテ居ル、是ハ申迄モナイコトデアリマス、隨テ只今ノ米穀法ノ布カレタ沿革ヲ見マスレバ、米ノ暴騰ニ驚イテ何ト力之ヲ制限シナケレバナラス、米ガ豐凶ニ依ツテ非常ナ暴騰暴落ノ差ガアル、成ベクサウ云フ値幅ヲ狭メテ是ガ安定ヲサシテ置キタイ、是ガ國民生活ノ總テヲ見渡シテ、必要ヲ感じテ居ル所デアリマシテ、ソレニ對シテ今ノ米穀法ハ或程度ノ作用ヲ致シテ居ルト云フ譯デアアルノデアリマス

○宮澤委員 私ハ後藤農林大臣ノ御答辯ニ依テ、仰セノコト其儘御話申上ゲルノデア

リマスガ、仰セノ如ク私モヤハリ米以外ニ干涉ヲ受ケテ居ルモノハナイト思フノデアリマス、而モソレハ國民多數ガ生産シ、國民全部ガ消費スルノデアリマスカラ、申上ゲタイト思ヒマスガ、斯ノ如キ重大ナル關係ノ食糧品デアアル、而モ國民ノ過半数ガ此米ヲ食フ、而モ彼等ガ是デ生計ヲ營ム、此値段ヲ公正ニ決メルカ、決メスカト云フコトハ一家ノ消長、一國ノ消長ニ重大ナル關係ガアル、是ガ他ノ物價ニ比例シテ生産費以上ニ利潤ヲ籠メテ市場ニ賣買サレントスル、國家ガ之ニ干涉壓迫ヲ加ヘテ値段ヲ不公正ニ釣下ゲ、壓迫スル時ハ、是ガ果シテ國民ノ過半数ヲ占メテ居ル生産者、即チ農民ニ取ツテ苦痛ナラザルヲ得ルデアリマセウカ、又國民全部ガ之ヲ消費スルト云ツテモ、國民多數ガサウ云フ不合理ナル生産狀態ニ甘ンジテ居ル者ガアツテ之ヲ買ハントスル國民ノ心理狀態ヲ疑フノデアリマス、政府當局ハ國家トシテ之ヲ我慢スルコトガ出來ルデアリマセウカ、如何ニ國民多數之ヲ消費スルモノト雖モ、ヤハリ國民多數ガ之ヲ生産シ、生産利潤ニ依ツテ生活シテ行カナケレバナラス、之ヲ不合理ニ斯ノ如キ價格ニ抑壓シテ置イテ此生活ヲ脅スト云フコトハ、本當ニ國家ノ爲スベキコトデアルカ、

今日此時局匡救ノ問題ハ農村ノ救済ト云フコトガ主要ナル眼目ニナツテ居ルノデアリマス、此主要ナル眼目、此根本問題ヲ解決スルモノハ農産物ノ價格ヲ維持スル、所謂價格ノ統制デアアル、引上デアルト云フコトハ申迄モナイ、而シテ此問題ガ提案サレテアリマスル真最中ニ、此誤レル數字、統制ノ根據、之ヲ固執シテ、サウシテ他ニ不合理ナ干涉壓迫ヲ加ヘルト云フコトハ、是ハ正ニ不合理デアアル、善政ト申セマセヌ、正ニ惡政デアリマス、斯ウ云フコトニ付テ本當ニ公平冷靜ナ判斷ヲセラレテ、此時局ノ對策ヲ講ゼラレル意思ハナイデアリマセウカ

○後藤國務大臣 米ノ價格ヲ不合理ニ壓迫シテ居ルト云フヤウナ御話デアリマシタガ、米穀法ニハ實ハソシナ力ハナイノデアリマス、別ニ不合理ナ米穀法ノ運用ヲシテ居ル譯デモ何デモゴザイマセヌ、御承知ノヤウニ米價ノ非常ナ釣上ヲシヨウト云フニハ、恐ラク米穀法ハ率勢米價ヲ探ツテモソレ程働ケルモノデハアリマセヌ、御話ヲ伺ヒマストドウシテモ米價ノ對策ノ根本問題ニ突入シナケレバナラスコトヲ前提トシテ御話ノヤウデアリマスガ、根本問題ニ入りマス前ニ於テ、應急ノ對策ト致シ

マシテハ今ノ米穀法ノ力ノ及ブ範圍内ニ於テ運用シア置イテ私ハ結構ナコトデアルト考ヘルノデアリマス

○宮澤委員 私ハ米穀問題ノ根本ニ入ッテ御計畫ヲ願ハナケレバナラスモノデアルト思ヒマス、當面ノ米穀對策ト致シマシテモ、コンナ不合理ナ所謂率勢米價率ト云フモノヲ撤廢スルト云フコトハ出來ヌコトデハナイノデアリマス、吾々政友會カラ致シマシテモ、率勢米價ト云フモノヲ撤廢スルコトヲ提案致シテ居ル、而シテ吾々ハ連日當局ニ要望シ、當局ニ迫ツテ居ル所モ即チ是デアリマス、例ヘバ今日ノ生産費ハ前ニ松山君ハ帝國農會ノ査定ヲ二十六圓ト仰シヤイマシタ、昨年ノ昭和六年度ノ暮ノ帝國農會ノ全國ノ生産費ハ、是ハ可ナリ過大ニ見積ツデアリマスガ、一石二十四圓八十錢、政府當局ガ色々御調べニナリマシタ材料ニ依リマスト二十圓十一錢、然ルニ政府ガ買上ゲル價格ト云フモノハ十七圓何十錢ト云フヤウナ所デ政府ハ價格ノ調節ヲヤラウト云フコトニナツタノデアリマスガ、政府ガ認メテ以テ少クトモ生産費ハ二十圓以上要ルト言ハレルノニ、生産費ヲ切ツテ賣買サレル狀態ニ放任シテ置クト云フノガ既ニ不合理デア

下シナケレバ之ヲ救済シナイト云フコトデハ、迪モ叶フモノデハナイ、要スルニ問題ハ生産費ト云フモノヲ一遍切盛シテ米價ト云フモノノ基礎ヲ定メナケレバナラス、茲ニ基礎ヲ置カナケレバ絶對ニイカスト思フ、サウ致シマスルト云フト色々ナ問題ガアルデアラウト思ヒマスルガ、政府ハ此生産費ヲ二十圓十一錢ト云フコトニ査定サレルニ付テ、勞銀ト云フコトモ是ハ勿論重要ナル生産費ニ加ハリマスガ、勞銀ハ果シテドレ程カ、或ハ資本ノ利子ト云フモノハドノ程度ニ御觀察ニナッタノデアリマスカ、之ヲ伺ヒタイ、ソレカラ重ネテ一石ヲ生産スル人夫賃、延日數ハ何ボニナツテ居ルカ、是モ一ツ加ヘテ御答辯願ヒタイ

○長瀨政府委員 是ハ地方ニ依リマシテ色々相違ガゴザイマスガ、ソレデ私共ノ方デ取りマスノハ各地方カラ地方廳ニ集ッテ參リマス、ソレチ地方廳ニ於テ集計致シマシテ、サウシテソレチ更ニ農林省ヘ提出スル、之ヲ私共ノ方デ集計致シマシテ、此米穀生産費ト云フモノヲ算出スル譯デアリマス、只今持合セテ分ッテ居リマスモノハ、自作農、小作農ト云フモノデ、自作農ガ四百八十九戸平均、小作農ガ四百八十四戸ノ平均、ソレカラ自作小作農ヲ通ジマシテ、九百七

十二戸ノ平均ト云フモノガ出テ居ル譯デアリマス、ソレデ勞賃ヲ申上ゲマスガ、一箇年通ジマシテ自作農ガ持チマスル石當リ勞賃ガ七圓九十錢、ソレカラ小作農ガ少シ増シテ居ッテ八圓ト云フコトニナツテ居リマス、ソレカラ自作小作通ジマシテ七圓九十五錢、只今ノ所デハ唯是ダケノ材料ヲ持合セテ居ルノミデアリマス、尙ホ一層細カイコトニナリマス、少シ又調ベナケレバナラスノデ、此程度デ御諒承ヲ願ヒタイと思ヒマス

○宮澤委員 今材料ヲ持合セニナラヌト云フコトデアレバ已ムヲ得ヌガ、土地資本利子ニ付テドレダケノ歩合デ御算定ニナツテ居ルカ分リマセヌカ

○長瀨政府委員 土地資本利子ハ勞賃ト同様ナ程度デ調ベテ居リマスガ、自作農ガ四圓八十九錢、ソレカラ小作農ガ六圓五十九錢ト云フコトニナツテ居リマス

○宮澤委員 歩合ハ分リマセヌカ

○長瀨政府委員 此種穀代、勞賃、畜力費、ズット全體ヲ百ト見マシテ、其中土地資本利子ノ占メテ居リマス所ノ百分比ヲ申上ゲマスト、二十五「パーセント」ト云フコトニナツテ居リマス、ソレカラ小作ノ方ヲ申シマスト、全體ヲ百ト致シマシテ二十四ト云フコトニナツテ居リマス

○宮澤委員 ソレカラ反當リノ收穫高ハドノ位ニナツテ居リマスカ

○長瀨政府委員 反當リノ生産費ト云フモノハ一寸分リマセヌガ、石當リノ生産費ニ致シマシテ集計シマシタ實數ヲ持ッテ居リマス、其石當リノ實數ヲ申上ゲテ見タイと思ヒマス、ソレハ自作農ニ致シマシテ全部實數ガ十九圓八十五錢、小作農デ十九圓六十四錢、兩方ヲ通ジマシテ平均致シマスト十九圓七十四錢、斯ウ云フ數ニナツテ居リマス

○宮澤委員 サウスルト、是ハ其收穫物ヲ價格ニ見積ッタ話デアリマスカ

○長瀨政府委員 其通りデアリマス

○宮澤委員 ソレハ其當時ノ時價ニ直シテドウト云フコトハ出テ居リマセヌカ、平均一段ノ收穫高ハ出テ居リマセヌカ

○長瀨政府委員 段當リノ收穫高、其當時ノ時價ト云フコトニ付テハ、一寸此處ニ持ッテ居リマセヌ

○東委員長 宮澤君、質問ヲ保留シテ置イテ下サイ

○長瀨政府委員 段當リノ收穫高ハ若シ御入用ナラバ——大體石單位ニヤッテ居リマスノデ、只今持合セゴザイマセヌ

○宮澤委員 ソレデハ若宮君ガ御質問サレルサウデスカラ、私ノ質問ヲ保留致シマス

○若宮委員 ソレデハ他ノ各位ニ相濟ミマセヌガ、簡單デスカラ暫時御許シテ願ッテ御尋ヲシテ置キタイ點ハ、政府提出ノ米穀應急施設法案デス、是レノ第一條ニ關スルコト、其目的デス、勿論之ヲ讀ンデ大體分ッテハ居リマスケレドモ、此目的ハ要スルニ近頃世ノ中ニ現レテ居ルヤウナ局限セラレタ且ツ極メテ緊要ナル場合ニ應ズル準備トシテ、道府縣ニ對シテ貯藏米ヲ現品デ貸與ヘルト云フコトノ途ヲ開イテ置キタイト云フ御趣意ガ、此第一條ノ目的デアルト了解シマスガ、ソレデ宜シウゴザイマスカ

○後藤國務大臣 サウ云フ趣旨モ入ッテ居リマスガ、一ツニハ本年ノ政府ノ手持ノ數量ノ一ツノ管理方法ト考ヘテ居リマス、隨テ此買換ヲスルト云フヤウナ限度ニ於テソレチ行ハウ、買換ノヤウナ觀念ノ一部トシテ——交換ト云フコトガ米穀法ニアリマスルケレドモ、時ヲ異ニシタ品物ヲ出ス爲メ交換ニナリ得ルカドウカト云フコトハ疑問デアリマス、貸付ケテ新米デ拂ハセルト云フヤウナコトガ、米ヲ管理シテ行ク上ニ於テ極メテ適切ナル方法デハアルマイカ、併シ是ハ初メテヤルコトデアリマスカラ、

確信ヲ將來ニ長ク持チ得ルカドウカ分リマセヌ、又今日ノ場合ニ於テハ一ツノ適切ナル方法ニナルデアラウ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○若宮委員 サウシマスト二ツノ目的ヲ兼ネテ、即チ貯藏管理ヲスル一便法ニモ供シタイ、併セテ私ガ今申述べタヤウナ臨時緊切ナル場合ノ準備ニモ充テタイ、斯ウ云フ二ツノ意味ヲ含シデ居ルモノト了解シテ宜シウゴザイマス

○後藤國務大臣 ソレニ附加ヘテ申シタイ、是ハ非常ニ大キナ程度ニヤラウト云フ譯デハアリマセヌ、保存ノ方法ノ限度ニ於テヤツテ行カウ、斯ウ云フ意味デアリマス

○若宮委員 此點バカリデヤナイ、以下御尋スルコトハ、議論ヲシヨウトカ、何トカ云フノデハナイ、條文ヲ見ナカッタガ、大變ナ案ガ出テ居リマシテ、政府案モアレバ、私共ノ案モアレバ、其他ノ案モアル、整理ヲシテ行ク必要ガ差掛ッテ出テ來ル、是ハ何レカノ機會ニ御相談ヲ致シテ、其準備ノ爲ニ意義ヲ明ニシテ置カスト、漏レガ出來テモ困ルト云フ趣意ニ外ナラヌカラ、極メテ腹藏ナイ御答辯ヲ願ヒタイ、ソレニ關聯シテ伺ッテ置キタイノハ、貯藏管理等ノ目的ノ爲ニオヤリナサルコトハ一ツ別ト致シテ、

他ノ非常緊急ノ極メテ局限セラレタル場合ニ對スル準備トシテ此第一條ヲ設ケヤウト云フ趣意デアリマス、買換ノ場合ヘテ行カレルコトハ、一寸私今適當ノ言葉ヲ發見シ難イ、妙ナ言葉ニナルカモ知レマセヌガ、少シク無理ナコデツケノ遣方ノヤウナ感ジガスルノデス、此コデツケトカ、無理トカ云フ言葉ハ或ハ穩當ヲ缺クカモ知レマセヌガ、斯ウ云フ目的ノ爲ニ斯ウ云フ處分ヲシ得ルト言ヘバ、真正面カラ見タコトニナリマス、原案ニアルガ如ク買換ト云フコト、即チ米穀法ノ中ニ今表レテ居ル買換ノ機會ヲ捉ヘヤウトスルノハ、稍、便乘主義デアルヤウニ私共ハ直觀致シマスガ、其邊ハドウデスカ

○後藤國務大臣 腹藏ナクト云フコトデゴザイマスカラ、是ハ腹藏ナク申シタイノデアリマス、米穀ノ廉賣ヲシロトカ、何トカ云フヤウナ希望モ折々アリマスガ、寧ロ此貸付ト云フ方法ガ保存上カラ言ッテモ宜シ、又當事者カラ言ッテモ非常ニ適切ニナル場合ガアルデヤナイカ、唯此方法ヲ非常ニ無制限ニドン／＼貸付ケルノダ、現在米ハ又買ッテ返セバ宜イノダト云フ所マデ實ハ擴大クナイノデアリマス、矢張現ニ米ヲ作ルヤウナ人達ガ出來秋マデ米ヲ持タナク

ナツテシマツテ居ル、サウスルト何等カノ方法デ米ヲ借りテ、利子ヲ附ケテ返サナケレバナラスト云フコトヨリ、寧ロ無手数料デ扱ハウト考ヘテ居リマスカラ、其方法ガ適切デアラウト云フノデ、自ラ發動スベキ方法ノ限度、目安ヲ立テ、ヤルト云フコトガ適當ナル方法デアルト考ヘテ居リマス

○若宮委員 恐ラク、當局ニ於カレテハ今御説明ノ通りノ趣旨デアルカト推定ヲ致シ、私共モ左様ナ場合ノ必要アリト自分等ガ念頭ニ描イテ居ルノデ御尋致シタノデ、即チ無制限ニ全國的ニ應ジ得ルモノニ非ラズ、又他ノ一面カラ見タナラバ、應ズベキモノニ非ラズ、是ハ極メテ局限セラレタ場合、局限セラレタ目的ニ向ッテノミ——貯藏管理ノ爲メハ別デアリマス、私ノ申上デヨウトシテ居リマスサウ云フ局限シタル場合デアルト云フコトヲ明ニスルニハ、今ノ御説明ノヤウニセズニ、其目的ヲ法條ノ上ニ明記シテ置イタ方が宜イデハナイカト云フ趣意デ御尋ヲシタ、是ハ今ノ御説明デ能ク趣意ノ在ル所ダケハ分リマシタガ、御考ガアレバ御示シテ願フシ、ドウデモ宜シウゴザイマス

引續イテ御尋シタイノハ茲ニハ貸付サレル場合ヲ道府縣ニ限ラレテ居リマス、私共

ノ提案シテ居ルノハ市町村ニ對シテ限定シテ居ルノデスガ、此邊極ク胸襟ヲ披イテ御相談シテ見タイと思フ一箇條デアル、何方カラ御説明下サツテモ宜イ、道府縣ガヨリ便宜ダト云フコトヲ御説明下サツテモ宜イ、市町村ニシテハ工合ガ惡イト云フコトガアレバ、其邊御腹藏ナク御説明願ヒタイ

○後藤國務大臣 是ハ御話ノヤウニ腹藏ナク御相談ヲ申上ゲ、吾々ノ意見モ申上ゲ、御意見モ伺ッテ決メテ宜シイコトダと思ヒマス、事務ノ方カラモ能ク考究シタ問題デアリマスカラ、其方カラ御説明シタ方が宜イト思ヒマスガ、私ハ今マデノ考究ノ結果府縣ニ取纏メサシテヤルトガ工合ガ宜イヤウニ考ヘマス

○若宮委員 其點ハ米穀部長カラ後デ私ハ承リマス、第一條ニ關聯シテモウ一ツ承ッテ置キタイノハ私が申述べタ如キ極メテ緊切ナル必要ヲ發生シタ場合ニ於テ、無償交付ノ場合ヲ政府ハ必要ナリト御認メニナラナカッタカト云フコトヲ御尋致シマス、今ノ場合ハ極メテ制限シタルコトデ、本會議デモ能ク趣意ハ説明シテ置キマシタカラアノ趣意デアルト御承知願ヒタイ

○後藤國務大臣 若宮サンノ仰セラレル御趣意ハ分ッテ居リマス、米穀法ノ運用ノ上

ニ之ヲ立テナカッタノハ、米穀法ノ運用ノ方デアルノガ適當デハナイト考ヘタカラデアリマス、而シテ是ハ自ラ社會政策ノ手段ノ他ノ方法ニ俟ツコトガ適當デハナイカ、此際ニ立法的態度ヲ探ルニ及バナイデハアルマ

イカ、諸種ノ社會政策ノ二色々ノ所ニアリマス資金ヲ使フコトニ依ッテ、米穀部ノ持つテ居ル米ノ取扱方ニ極メテ機敏、適切ノ處置ヲ講ジテヤルト云フコト、其要求ニハ——御趣旨ノ在ル所デ應ゼラレルノデハナイカト云フコトヲ思ッテ居リマス

○若宮委員 御趣旨ノ在ル所ハ分リマシタ、次ニ同法案第二條ニ認メラレテアル趣旨ハ、此二條ノ如キ法律ノ基礎ノアルコトハ固ヨリ結構デアリマスガ、實際ノ運用トシマシテハ、此事柄ヲヤラレルニハ豫算ガ成立シタナラバ、此立法ガナクトモ政府ハ實際ニ行フコトニ差支ガナイノデアラウ、サウ云フ例ハ各所ニ於テ多々アルモノデア

ルト私ハ思フノデスガ、其點ハ如何デアリマスカ
○後藤國務大臣 御説ノ通りデアリマス、唯今度モ豫算ガ別ニ出テ居リマス、一年限リデハナクシテ、將來モサウ云フ方法ヲ執ルノダト云フコトヲ明ニシ、又ヤルコトダケハ——金額ノ問題ナドハ豫算決マリマ

スケレドモ、ヤルコトハヤルノダト云フコトヲ明瞭ニ致シテ置キタイト云フノデ、其條文ガ入ッテ居ル譯デアリマス
○若宮委員 更ニ同法案第四條、是ハ現行米穀法第二條ト同ジ文面デアリマシテ、現行米穀法第二條ハ米穀ニ關シテ同様ノ規定ヲ存シテ居ル、今回此立法ニ方ッテ、第四條ニ粟ニ對シテ同ジコトヲ行ハレヤウト云フ御趣意ノヤウニ思ヒマスガ、是ハ立法技術ノ些末ニ互ルヤウデアリマスケレドモ、米穀法第二條ニ「又ハ粟」ノ三字ヲ加ヘテ用

チ足シ得ルヤウニ思ヒマスガ、其點ハドウシテ別ノ立法ニナルカ、其趣意ヲ伺ヒタイト思ヒマス
○後藤國務大臣 是ハ米ノ臨時ノ統制ト云フコト、自ラ關係ヲ持ッテ居リマス、米穀法ノ或ハ根本的ノ改革ヲ行フニ至ルカモ知レマセヌ、今日ノ場合臺灣米ノ月別移入ヲ行ッテ、廣ク全國ニ互ッテ米ノ或ル程度ノ統制ヲ考ヘタイノデアリマス、粟ト云フ問題ガ自ラ關係ヲ持ッテ參リマスノデ、直チニ今此立法ト同時ニ即時ニ粟ノ方ヲシヨウトハ考ヘテ居リマセヌ、其必要ガ生ジタ時分ニハ是ガ出來ルヤウニ致シテ置クト云フコトガ考ヘラレマスルノデ、此條文ノ中ニ入レテアル譯デアリマス

○若宮委員 今ノ御答ハ、私ノ御尋シタノトハ明ニ喰違ッテ居ルノデハナイカト思ヒマス、私ノ方カラ斯ウ御伺シタ方ガ明ニナルノデハナイカト思フ、アナタ方ノ御考ハ、米穀法ハ一ツノ基本法デアアル、所ガ此粟ニ關スル事柄ハ、臨時ノ處置デアアル、現ニ御尋シテ居ル應急施設法ノ施設ノ如キハ、期限ヲ約三年間ニ區切ッテ臨時立法ナノデア

ル、米ノ方ハ恆久的ニ米穀法第二條ノヤウナ措置ヲ要スルト云フ前提カラ出來テ居ル規定デアアル、粟ノ方ハ後ニ又繼續スル必要ガアルカモ知レマセヌガ、差當ッテハ應急ノ數年間ノ對策トシテヤルノデアルカラ、ソコデ應急法ノ方ニ持ッテ行ッタト云フ御趣旨デハナイカト、斯ウ御尋シタ方ガ明瞭ダラウト思ヒマス
○後藤國務大臣 大體サウ云フ御趣旨ト

思ッテ御答シタ譯デアリマスガ、モット具體的ニ申シマスルト、第三條ノ問題ニ關聯ヲ持ッテ居リマス、サウシテ第三條ノコトヲ應急の臨時施設トシテ付ケテアル譯デアリマス
○若宮委員 ソコデ今御尋致シマシタコトヲ概括シテ、是ハ私ノ誤解カモ知レマセヌガ、ヒョットスルト當初ハ政府當局ト吾々トハ觀念ノ基礎ガ違フテ居ッタカモ知レヌト

思フ、是ハ私ノ邪推カモ知レマセヌ、觀念ノ基礎ノ違ヒト云フノハ、應急策、恆久策ト云フコトニ關スル基礎觀念ニ多少ノ違ヒガアッタノデハナカラウカ、即チ吾々ノ考ヘマスル所デハ、現行米穀法ハ最早運命ハ具體的ニ申セバ本年限り——本年ト云フ言葉ハ使ヒタクハアリマセヌガ、今差向直チニ茲ニ政府ヲ煩ハシテ恆久ノ根本的ノ對策ヲ樹テ、貰ハナケレバナラヌ、吾々モ其處ヲ研究シテ決メテ行カナケレバナラヌ、之ヲ前提トシテ現在ノ米穀法ハ、最早運命ノ差迫ッタルモノナリト、茲ニ吾々ノ考ノ基準ガアッタ譯デアリマス、今日デモ引續イテ持ッテ居ル、當初ハ政府當局ノ側デハ永久ト云フ御考ハナカッタデアアラウケレドモ、コ、數年間根本策ヲ御樹テニナルマデノ間ハ現行ノ米穀法ヲ恆久性ヲ帶ビタル基本調節法ナリトシテ存置スル、斯ウ云フコトガ基本觀念トナッテ進ンデ御出ナサッタノデハナカラウカト私ハ想像致シテ居ッタ、是ハ間違ッタラ御免下サイ、——トウデモ宜シイノデス、ドウデモ宜シイノデスガ、併シ段々豫算委員會等ニ於テ質疑應答ヲ重ネテ見マス

ト、是ハ農林大臣ト私ノ間、又内閣總理大臣ト私ノ間、胸襟ヲ披イテ御相談ヲシテ見ルト、政府ニ於テモ吾々同様に至急ニ茲ニ

ハ觀念ノ基礎ガ違フテ居ッタカモ知レヌト

根本方針ヲ樹テナクレバナラヌト云フ御意見
見デアルコトヲ私ハ確メ得テ満足シタ次第
デアリマス、サウシマス、基本觀念ハ前
段申上ゲタノハ、私ノ全ク邪推ニ止ッテ、
基本觀念ハ今デハ全ク同ジニナッテ行ク、デ
スカラサウ云フコトカラ出發シテ見テ行キ
マス、今御説明ノ如クニ、米穀法ヲ基本法
トシテ樹テ、置イテ、ソレニ對スル差向ノ
例外ノ規定ヲ、別ナ立法ヲシテヤラナクテ
モ、米穀法ソレ自體ヲ政府ノ方ト私ノ方ト
ハ少々意見ノ——是ハ些細ナ差ト思ヒマス
ガ、少々意見ノ相違ガ今デハアルシク思
ハレマス、ソレハ能ク相談シテ決メルトシ
テ、茲ニ別ナ立法ヲセヌデモ、取纏メテヤ
テ、ソコニ何ノ差支ガアルト御考ニナッ
カ、ソレヲ腹藏ナキ御意見ヲ伺ヒタイ

○後藤國務大臣 元々ノ基本ノ考ニ相違ガ
アッタノデアラウカ、ナカラウカト云フコ
トヲ私ハ餘リ詳シク申上ゲマセヌガ、實ハ
大シタ相違ハナカッタラウカト思ヒマス、今
ノ根本ノ米穀法ヲドウスルカト云フコトノ
考ニ付テ、只今ノ根本法ヲドウスルカト云
フ具體的ノコトニ付テハ、只今モ私ハ何レ
ヲドウスルノダト云フ確信ヲ持ッテ居ルモ
ノハマダ出來テ居リマセヌ、御承知ノ通り
前議會ニ通過シタ米穀法ノ根本對策ノ調査

ガ二箇年位ナコトヲ豫定シテ居リマス、デ
此法案モ二箇年ト云フコトニ期限ヲ切ッテ
アリマスノハ、ソレト大體步調ヲ合セテ吾
吾ハ考究シテ參ッタノデアリマス、此案ニ於
キマシテモ、之ヲ出シマスコトガ、極メテ
適切デアルト思ッタノデアリマス、但シ根
本對策ノ考究ヲ二箇年ト云フヤウナ豫定ハ
過去ニ於テアリマシタニシテモ、サウ強イ
テ愚圖々々シナクレバナラヌコトモアリマ
セヌ、出來ルダケ速ニ吾々モヤリタイ、斯
ウ云フ風ニ思ッテ居リマス

○若宮委員 モウ其點ハ政府ノ趣旨ノアル
所サヘ分レバ、重ネテ御尋ハ致シマセヌ——
一寸言葉答メヲスルヤウデ惡イガ、強イ
テ二箇年愚圖々々シテ居タクナイト云フヤ
ウナコトハ私ハ不満足ニ感ジマス、是ハ御
無禮デスガ、ソレハ惡氣ガアッテ言ハレタ
トハ思ヒマセヌケレドモ、私ハ此點ニ付テ
ハ其席ニ御出デアッタカドウカ知リマセヌ
ガ、豫算委員會ニ於テ、責任アル答辯ヲ求
メタノデアリマス、誠意ヲ以テ吾々ハ次ノ
議會ニ根本策ヲ樹テ、臨マレンコトヲ望
ム、是ハ私ノ望ミ、其望ミニ對シテ二箇年
ハ長イト思フ、其點ニ付テ政府ノ所信ヲ問
フト云フト、政府ヲ代表シテ、其積リデ居
ルト答ヘラレテ居リマスカラ、明ニ之ヲ立

法サレタ時トハ御考モ——ソレヲ私ハ答メ
ル意味デハアリマセヌ、多少御考ガ變ッテ
居ルヤウニ思ハレルノデアリマス、就デハ
今申述べタコトハ、政府ニ於テモ退イテ能
ク御考究ヲ願ヒタイト思ヒマス、即チ是ハ
立法ノ遺リ方ノ問題デアリマス

モウ一點ダケ何ッテ置キタイノハ、需給調
節特別會計法中改正法律案、此案ニ依リマ
スルト、茲ニ一億圓ノ資金ガ増額サレルコ
トニ相成ッテ居ルノデアリマス、此一億圓ヲ
増額サレルト云フコトニハ、大體計畫ガアッ
テ生レテ來タ金額デアラウト想像出來ルノ
デス、其計畫ヲ示サレタイノデス、ソレヲ
示サレルコトハ政府委員カラ示サレテ一向
差支ナイト思ヒマス、大臣ガ答辯ニナレバ
尙ホ結構デス

○後藤國務大臣 細カイ數字ニナリマスカ
ラ、政府委員カラ御説明申上ゲマス、〔大
臣ニ對スル質問ヲ進メタラドウデス〕ト呼
フ者アリ

○後藤國務大臣 只今ノハ私ニ對シテノ御
尋デアラウト思ヒマスカラ、私カラ御答シ
テ宜イノデアリマスガ、唯便宜上政府委員
ノ方ニ御答致サスコトニ致シマス

○若宮委員 アナタハ何カ時間ノ約束デ退
席セラル、カノヤウニ、是ハ私ノ誤解デアッ

タカ知ラヌガ、サウ思ッタガ故ニ、政府委員
ヨリ先程ノ一點、竝ニ只今ノ一點ヲ答辯セ
ラル、コトモ一向差支ナイト申述べタ次第
デアリマス、アナタガ退席ナサラヌトスレ
バ、アナタガ答辯ナサルコトガ當然ダト思
ヒマス

○後藤國務大臣 私ガ御答申上ゲルベキ答
デアリマスガ、唯便宜ノ爲ニ、私ノ答辯致
シマスコトヲ、數字ニ付テ、アリマスカラ、
政府委員ヲシテ御答辯申上ゲヨウト思ッ
タノデアリマス

○東委員長 一寸此場合御諮リ致シマス
ガ、此委員會ニハ政友會提案モ一緒ニ審議
ヲ進メテ居ルノデスガ、高田君カラ政友會
提案ニ對シテ質問ヲ致シタイト云フ申込ガ
アルノデス、此政友會提案ニ對シテハ、ヤ
ハリ農林大臣ノ出席ノアルコトガ極メテ適
當デアルト思フ故ニ、此場合高田君ニ質問
ヲ願ッテ、サウシテ我黨ヨリ同僚ノ中カラ説
明致シマスカラ、サウ云フコトニ取計ラヒ
タイト思ヒマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ
○高田委員 實ハ私ハ政府委員ニ對スル質
問ガ終ッテカラ、政友會ニ對スル質問ヲスル
順序ト心得テ居ッテ、遠慮シテ居リマシタ、
此際御許シ下サレバ質問致シマス、第一ハ

第四條、第五條ヲ削除スルト云フコトナリマスルト、買上、賣渡ニ付テノ基準ガ全然ナクナリマシテ、元ノ米穀法ニ歸ルノデアリマス、ソコデ元ノ米穀法ニハ、御承知ノ通り基準ハ無論明示シテアリマセヌガ、吾々が政府ニ對シテ、既ニ質問シタ結果ニ依ッテ承知シテ居ル所ニ依レバ、是ハ三土君ナドガ農林政務次官ノ時デアッタノデアリマス、全體ドウ云フ場合ニ政府ハ米ノ買出動ヲヤルカト云フコトヲ聽クト、其當時ノ當局者ノ一貫セル答辯ハ、生産費、家計費、一般物價ニ對スル米價ガドウ云フ位置ニアルカ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、一般物價ハ非常ニ上ツタガ、米ハ割合ニ上ラナイト云フヤウナ場合、其他經濟上ノ有ユル事情ヲ斟酌シテ定メタノデアル、斯ウ云フコトノ基準ガ其内容ニ於テノ米穀ノ運用ノ基礎ガゴザイマス、唯徒ニ何デモナシニ時ノ主務大臣ガ買フト云フコトデハナイノデアリマス、必ズサウデナケレバナラスト思ヒマス、所ガサウ云フ意味ニ於テ從來ヤッテ居ッタガ、場合ニ依ッテハ多少弊害ガアッタ認メタコトガ此基準ヲ決メルト云フ理由ニナツタノダラウト思ヒマスカラシテ、今回政友會諸君ノ御提案ニナツタ第四條、第五條ヲ削除シテ全然基準ハナクスルト雖モ、去リナ

ガラ第一條ノ發動ガ唯徒ニ何ノ根據モナク買ヒ或ハ賣ルト云フ御意見デハ無論ナイダラウ、即チ生産費、家計費、或ハ一般物價ニ對スル米價ノ割合、其他ノ經濟事情ヲ斟酌シテ定メルト云フコトニ依ッテ買出動ヲスルノダラウト思ヒマスガ、或ハサウデナク、何か他ノ方法ニ依リ、他ノ基準ニ依ッテ御買ヒニナルノカソレヲ伺ヒタイ

實ヲ舉ゲナケレバナラストハ言フマデモナイノデアリマス、ケレドモ國民ノ多數ハ何處ニ居ルノダ、何ヲシテ食ウテ居ルノダト云フ事實ニ即シテ考ヘマスト、農村ナルモノガ今日ノ時局匡救ノ中心點デアル、ソレカラ農村ヲ救済スルト云フコトニハ色々方法ガアリマセウト吾々モ考ヘテ居ル、政府ニ於テモ色々考ヘテ提案セラレテ居ル、併ナガラ種々ナル方法ハソレモ、特長ガアリマセウケレドモ、普通のデアリ一般的デアル效果ヲ望ミ得ルモノハ米ノ價格ヲ維持スルト云フコト、負債整理ト云フコトデアル、負債整理ハ今問題デハアリマセヌカラ申述べマセヌ、米ノ價格ガ適當ニ維持セラル、ト云フコトノ實ガ舉ガリサヘスレバ各階級ヲ通ジ、各種類ノ人ヲ通ジテ、國民ノ多數ヲ包容シテ居ル所ノ農村ガ救ハレルコトハ是ハ一番普遍的デアル、ソレデスカラ私ダケデハアリマセヌ、同僚各位モ何レモ此點ニ深く御注意ニナリマシテ、此委員トシテ私ハ只今マデ傍聽致シテ居リマシタガ、同僚諸君ト政府當局トノ間ノ質疑應答ノ如キモ、實ニ熱心ニ意見ノ交換、質問ノ交換ガアルト云フコトハ、洵ニ故アリ、斯クナケレバナラスト、今日ノ時局匡救ノ中心點デアル米ノ價格維持ト云フコトヲ斯様

ニ熱心ニ御ヤリ下サルト云フコトハ實ニ喜バシイ、又此委員會ニ付議サレテ居ル政府ノ提案モアレバ吾々ノ提案モアル、種々ナル提案ガアル、是モ洵ニ御尤ナル次第ト考ヘテ居ル譯デアリマス、斯ウ云フ目的カラ吾々ノ此改正案ガ出タノデアリマス、偕テ此率勢米價ノ點ニ移ルノデアリマスガ、他ノ同僚カラ種々御話ガアリマシタガ、高田君ハ洵ニ私ニ好機會ヲ御與ヘ下サレタコトヲ私ハ光榮ト存ジテ委員長ノ許可ヲ得テ信念ヲ以テ申上ゲマスカラ、暫ク御辛抱下サレテ御聽取ヲ願ヒタイ、此率勢米價、是ハ本法ノ中ニ加ヘラレテ實際ニ施行セラル、上ニ付テ米穀法ノ發動ヲ妨ゲ、農民救済ノ實ヲ舉ゲ能ハザリシト云フコトハ、モウ議論スル必要ハナイ、他ノ同僚諸君モ數字ヲ舉ゲテ詳シク政府當局トノ間ニ質疑應答ヲセラレタ通りデ、是ハ實際ノ運用ニ適シナイモノデアル、全ク試驗濟ミノ事實デアル、此事實ニ付テ考ヘテ見マスト、今度ノ如ク眼ノ前ニ出來秋ヲ控ヘテ茲ニ直ニ應急對策ヲ設ケテ置カナケレバナラスト云フ時ニ、斯ウ云フ妨ゲナモノヲ置イテハ、是ハ目的ヲ達スルコトハ出來マセヌ、時局匡救ノ核心デアル農村ノ救済、米價ノ維持ト云フコトハ出來マセヌ是ガ明カデアル以上、之ヲ

○若宮委員 私カラ御答シテ宜シウゴザイマスカ—御尋ノ點ハ吾々提案ノ米穀法中改正法律案ヲ以テ第四條、第五條ヲ削除セントスルカ、斯クテハ何ヲ標準ニシテ發動スル積リカト云フ御尋ト思ハレマス、是ハ極メテ簡單ニ御答ヲシ得ルト思ヒマスガ、高田君カラ幸ニモ吾々ノ提案ニ關スル骨子中ノ骨子ヲ成ス率勢米價ノコトニ關シテ、御尋下サイマシタコトハ洵ニ仕合デアリマス、此機會ニ於テ政府當局モ居ラレル此際何ガ故ニ茲ニ吾々が改正案ヲ提出シタカト云フ趣旨ヲ能ク御諒承ヲ願ヒタイ、ソレニハ極メテ好機會デアリマス暫ク御聽取ヲ願ヒタイ

一昨日ノ本議場ニ於テ本案提出ノ際ニ、私ガ縷々申述べマシタ通り、今度ノ時局匡救ハ言フマデモナク農村ダケデハナイ、社會全般、中小商工業者、其他ニ向ッテ匡救ノ

心點デアル米ノ價格維持ト云フコトヲ斯様

心點デアル米ノ價格維持ト云フコトヲ斯様

除シテ全然基準ハナクスルト雖モ、去リナ

會全般、中小商工業者、其他ニ向ッテ匡救ノ

心點デアル米ノ價格維持ト云フコトヲ斯様

心點デアル米ノ價格維持ト云フコトヲ斯様

去ッテシマフヨリ外ニハ病ノ癒シドコロハ
ナイ、ソレデアリマスカラ之ヲ去ッテシマ
ハウト思フノデアリマス、此窮屈ナ、先程
同僚ノ諸君カラ詳シク問答ヲ重ネラレタカ
ラ私ハ重ネテ申上ゲヌデモ宜シイ、之ヲ去ッ
テシマウ、サウシテ政府ハ物價ヲ標準ニ
シ、又生計費モ標準ニスル必要ハ固ヨリア
ルノデアリマス、是ガ最モ肝要デアリマス、
而シテ農村ヲ虐ゲザル、又消費者ヲ虐ゲザ
ル極メテ適切ナル點ニ於テ發動スルト云フ
コトニサレタナラバ何等弊害ガアル筈ハナ
イ、尙ホ御尋ガアレバ段々申上ゲマスガ御
退屈ノヤウデアリマスカラ、此程度ニシテ
置キマス

○高田委員 私ハサウ云フコトヲ御尋シタ
ノデハナイ、率勢米價ヲ廢スルコトノ理由
ハ、是ハ本會ニ於テ承ッテ分ッテ居リマスサ
ウデナク、率勢米價ヲ御廢止ニナル、是ハ宜
イトシテ、サウスレバドウ云フコトニ依ッテ
米ノ買出動ヲ爲サルカト云フコトデアリマ
ス率勢米價廢止ノ理由ハ能ク分ッテ居リマス、
本會ニ於テモ、今日迄ノ諸君ノ質疑ニ依ッテ
モ率勢米價ガ惡イト云フコトハ餘程聽キマ
シタ、聽キ飽キル程聽イテ分ッテ居リマス、
唯率勢ト云フ基準米價ヲ廢シテ、今度ハド
ウ云フコトニ依ッテ買上ゲルカ、單ニ生産費

一本ニ依ッテ買上ゲルカ、或ハ又多少經濟上
ノ事情ヲ加味スルノカ、ソレヲ御參考ノ爲
ニ申上ゲタノデアリマス、基準米價ヲ設ケ
ナイ政府ニ於テノ運用ハ、是ハ東君ナドモ
御承知ノ通り、時ノ生産費、家計費、一般物
價ニ對スル米價ノ割合、言葉ヲ換ヘテ言ヘ
バ一般物價ガ高クテ米ガ上ラナイ時ニ出動
スル、又一一般物價ハ非常ニ下ッテモ米ガ高イ
時ニハ是ハ賣出ス、其他經濟事情ヲ斟酌シ
テ生産費一本デ買ッタコトハナイ、所ガ今度
ノ基準米價ヲ御採リニナル以上ハ、前ニヤッ
タ方針ニ戻ッテ生産費、家計費其他ノ經濟事
情ヲ斟酌シテ買フノカ、或ハ生産費一本デ
御買ヒニナルノカ、ソレヲ承ルノデアッテ、
率勢米價廢止ノ理由ヲ聞イタノデハナイカ
ラ、今度ハドウゾサウ云フ意味ニ於テ御答
ヲ願ヒタイと思ヒマス

○若宮委員 高田君ガ率勢米價宜シカラズ
ト云フ吾々ノ理由ヲ御了解下サレテ、答辯
ニ及バズトマデ言明サレタコトハ深く満足
ニ思ッテ居リマス、此四條、五條ヲ削除シテ
何ノ標準ニ依ッテ買フカト云フコトガ質問
ノ要點デアルト思ヒマスガ、元ノ米穀法ノ
如ク生産費ヲ最モ重要ナル條件ト致シ、之
ニ經濟事情ヲ加味シ、就中今日ノ農村ノ現
狀ト云フコトヲ加味シテ、適當ナル値段ヲ

定メテ買上ゲシメルト云フノガ吾々ノ精神
デアリマス

○高田委員 サウスルト矢張生産費、ソレ
ニ經濟事情、家計費モ加味スルト云フコト
ニナル、從來ノ運用ト何等違ヒハナイ、サ
ウスルト元ノ米穀法通り決シテ生産費ニ
依ルモノデナイト云フコトガ分リマシタ

○若宮委員 特ニ農村ノ實情ニ即シト云フ
言葉ガ速記ニ殘ッテ居ル筈デスカラ左様即
承知ヲ願ヒマス

○高田委員 尙伺ヒマス、特ニ農村ノ實情
ニ即シト云フコトニナルト、消費者ノ方ノ
考ハ何モ御構ヒナシニ、生産費以上ニドン
ドン買フト云フ意味デアルカ、ソレモ承ハ
リタイ

○若宮委員 先程御答シテ、經濟事情ヲ加
味シ、社會全般ノ事ヲ加味スルト云フコト
ヲ申述べテ置イタカラ、ソレデ盡キテ居ル
ト思ヒマス

○高田委員 サウスルト矢張消費者、生産
者ノ考ヲ以テ無暗ニ生産費以上ニ買フト云
フ意味デハナイト云フコトニ了解致シマ
ス、サウスルト元ノ通りデアル、何モ變ッ
タ事ハナイ、第二ニ伺ヒタイノハ第四條第五
條ヲ削ッタ結果、買上ハ何ノ標準デ買フカ
ト云フコトガナクナル、元ノ米穀法ニハ時

價ヲ以テ買フコトガアリ、基準米價ヲ設ケ
タ現行米穀法ニ於テモ時價ヲ以テ買フト云
フコトガアルガ、今度ノ政友會ノ提案ニハ
何モ明示シテアリマセヌガ、買上價格ヲ何
ヲ以テ買フカ、ソレヲ伺ヒタイ

○若宮委員 私ノ答辯シタコトヲ大層無駄
ダッタヤウニ言ハレマシタケレドモ、御尋
モ餘リ重複スルヤウニ考ヘマスガ、率勢米
價ニ關スル四條五條ヲ取ッたら何ヲ基準ト
スルカト云フ御尋ダカラ、ソレニ適當シタ
答辯ヲ致シマシタガ、基準ガ分ッたら何デ
買フカト云フコトハ必然ノ結果トシテ御分
リニナルコト、思フ

○高田委員 サウデハナイ、發動ハ只今ア
ナタノ御話ノ通りデアルガ、買上及賣渡ヲ
何ヲ以テアルカ、時價ト云フ規定ヲ取ッテ
アルカラ私ハソレヲ聞クノデス、時價ト云
フコトガ存シテアレバ聞カナイガ、何カ買
上賣渡ノ基準ガナケレバナラヌノダガ――
サウスルト時價ト云フ文字ヲ法律ニ書クコ
トヲ漏ラシタト云フ意味デスカ
○若宮委員 高田氏ニ陳謝シマス、アナタ
ノ質問ノ趣旨ヲ聞違ヘテ答辯ガ横ヘ外レタ
ヤウデスガ、今度ノ御尋デ分ッタカラ、答辯
致シマス、時價ト云フ文字ヲ入レテ置ク必
要ハナイト思ッテ入レテ居リマセヌ

○高田委員

實ハ買上或ハ賣渡ハ時價デスルト云フ文字ハ、最初大正九年ニ政府ガ提出シタル所ノ法律案ニハナク、ソレヲ貴族院ニ於テ買上賣渡ハ時價ヲ以テスルト云フコトノ規定ヲ設ケタ、ソレガ前ノ米穀法カラ今度ノ米穀法マデズツト繼續シテ居タ、サウスレバズツト政友會、民政黨ヲ通ジテノ内閣ガドウシテモ買上、或ハ賣渡ノ基準ヲ決メル必要ガアツテ、貴族院ノ修正ヲ認メテ行ッテ居タモノデアル、此際時價ト云フコトヲ取ルト云フコトニ致シマス、買上賣渡ハ何ヲ以テヤルカ、時價ト云フ意味ナラバ時價ト云フコトヲ入レルノガ必要デアルト思ヒマスクレドモ、ソレガナイトスルト何デ買フカ分ラヌ、斯ウ云フコトニ諒解致シテ居リマス、甚ダ不徹底ナモノデアラス、

○若宮委員

念ノ爲ニ御答ヲ致シテ置キマス、ソレデアリマスルカラ先程無駄ト仰セラレマシタガ、私ハ少シモ無駄ト感じズニ此改正案ヲ提出シタ吾々ノ趣旨ノアル所ヲ繰返シテ申上ゲタノハソコナノデス、繰返シテ言ヒマスルガ、此目ノ前ニ迫ッタル時局匡救、ソレノ核心デアアル所ノ農村ノ救済、是ガ此改正ヲシタイト云フ重點デアリマスルガ故ニ、吾々ハ此目的ヲ達スル爲ニ此改正ガ行ハレサヘスレバソレデ目ノハ貫徹スル、貴族院云々ヲ仰セラレタガ、貴族院ノ諸公亦ソレノ御意見ガアリマセウ、政府モ亦ソレノ御意見ガアリマセウ、併ナガラ此大切ナル時局匡救、何トカ致サナケレバナラス農村ノ救済、之ニハ吾々ガ御互胸襟ヲ開イテ銘々意見、考ヘノアル所ヲ持寄ッテ比較シテ見テ、一番良イモノヲ採ッテヤルコトガ、今日ノ急務ナノデアルト考ヘテ居ル、私共ノ出シタモノヨリ良イモノヲ御出シ下サレバ、私共ハソレヲ容レルニ吝デハアリマセヌ、本案ガ最モ宜シイ信ジマシタカラ之ヲ出シテ居ル、御批判下サル所、御意見ノアル所ハハ御自由、天下國家ノ爲ニ十分ニ御審査ヲ仰ガナケレバナラス、殊ニ此米價ノ如キニ至ッテハ是ガ問題ノ重點デアアル、ソレデアリマスルカラ政府ト同僚諸君トノ段々質問應答ヲ承ッテ居ッテモ、政府ガ主張サレル如クニ、現行法ノ率勢米價ニ依ッテ本年發動スルトスルナラバ、具體的ニ言ヘバ一石幾ラトナッテ發動スルノデアアルカ、ソレガ生産費ヨリ以下デアアルノカ以上デアアルノカ、吾々ノ考ヘル所ハ生産費以下デアアル、少クモ生産費以上デアアルネバナラヌト思フ、此二ツノモノヲ互ニ金額ヲ寄セ集メテ見テオ前ハドウ思フ、私ハ斯ウ思フ——吾々ハ觀念ノ遊戲ニ耽リ、議

論ノ遊戲ニ耽ル場合デハナイノデアアル、國民ノ爲ニ、農村救済ノ爲ニ一番良イト思フモノヲ互ニ取入レテ、本當ニ時局匡救ノ對策ヲ致サナケレバナラス、是ガ吾々ノ職責デハアリマセヌカ、茲ニ互ニ胸襟ヲ披イテヤッテ行カネバナラス、私ハ議論ヲスルヨリハ教ヘテ乞フト云フ態度ヲ自分デモ採ッテ見タイト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスルカラ貴族院ノ諸公ニ於テモ意見ガアラレルデアリマセウ、アラレルナラバ十分適當ノ機會ニ於テ申サレルデアリマセウ、申サレル意見ガ吾々ヨリモ可デアル場合ニハ、吾々ハ胸襟ヲ披イテ之ニ應ズルコトハ、決シテ國民ノ爲ニ吝ナラズト考ヘテ居リマス

○高田委員

何ダカ御答辯ヨリモ御意見ノヤウニ思ヒマスガ、唯私ハ時價ト云フコトヲ取ッタノハドウ云フ意味カト云フコトヲ伺ヒタイノデスガ、御答辯ガアリマセヌカラ仕方ガアリマセヌ、無鐵砲ニ買フト云フノデアリマセウ(「無茶ナコトヲ言フナ」御取消ヲ願ヒマス)ト呼フ者アリ)

次ハ粟ノ問題デアリマス、粟ノ問題ハ何方カト言ヘバ、朝鮮ニ於テ米ヲ買上ゲルヨリモ重要ナル問題デアルト思フノデアリマス、是ニ於テ行懸リハ申上ゲル必要モアリ

マセヌガ、粟ノ輸入ヲ禁止セントスル所ノ強イ意見モアッタノデゴザイマス、所ガ是ハ朝鮮統治上、殊ニ生活程度ノ低イ朝鮮人ガ滿洲ヨリ這入ル粟ヲ一體禁ズルト云フコトハ統治上ニ重大ナル關係ヲ持ツカラト云フコトニ依テ、近時ハ輸入制限ガ出來ナクナッタノデアアル、是ニ於テ關稅ニ依テ一面朝鮮ニ於ケル粟ノ生産ヲ獎勵スルト同時ニ、粟ノ價格ヲ高メテ成ベク米ヲ消費サスヤウニ仕向ケテ行クト云フ政策ニ依テ政府ノ今度提案致シマシタル所ノ米穀應急施設法案ノ中ニ粟ノ問題ガアルノデアリマス、先程御話ノアリマシタヤウニ、米穀法ニ其儘改正ヲ加ヘテモ宜イ程重大ナル問題デアアルノデアリマス、其點ニ付テ政友會諸君ノ御提案ガ之ニ觸レテナイノデアリマスガ、是ハドウ云フ意味ニ於テ粟ノ問題ヲ全然缺如シテ居ルノデアリマスカ、御同致シマス

○若宮委員

粟ノ問題ニ付キマシテハ私個人ト致シマシテ適當ノ機會ニ於テ自分ノ意見ヲ發表シタイト云フ準備ノ爲ニ先程御聽ノ通り政府當局ニ御質問ヲ致シ、其點ニ付テハ私ハ吾々ノ提案シテ居ル改正法中ニ之ヲ編入スルノ必要ヲ認メテ居リマス

○高田委員

サウシナケレバナラヌト思ヒマス、政友會諸君ノ御提案ノ附則ノ中ニ朝

鮮臺灣ノ米ノ買入レヲ爲スノ規定ヲ設ケラ

レル、是ハドウ云フ意味デゴザイマスカ、

先程河野君ノ質問ニ依レバ朝鮮臺灣ニ於テ

政府ガ月別平均移入ヲスル爲ニ米ヲ買フ金

ガアルナラバ、内地ニ於テ千三百萬石ノ縣

外移出ヲシテ居ルノデアルカラ、之ヲ買フ

方ガ宜イデハナイカト云フ御質問ガアツタ

ノデアリマスガ、見様ニ依テハ此案ニ反對

ノヤウナ意味ニ聞エル點モアリマスガ、私

共ガ能ク聽ク議論デアリマスガ、朝鮮デ買

フナラ内地ノ方デ買ッタ方ガ宜イデハナイ

カ、是モ一理アリマス、併ナガラ考ヘナケ

レバナラスコトハ朝鮮ニ於テ時價デ買ッタ

ナラバ大抵ノ場合ニ於テ内地ノ時價ヨリ安

イノデアリマス、故ニ内地ニ於テ二百萬石

買フヨリモ朝鮮ニ於テ安イ、内地ニ入ッテ來

テ内地ノ市場ヲ壓迫スル、米ヲ朝鮮ニ於テ

時價デ買ッテ朝鮮ニ置イテ置クト云フ方ガ

内地ノ米ヲ二百萬石買フヨリモ安イ米ガ買

ヘル、内地市場ヲ壓迫シナイト云フコトニ

依テ效果ガ現ハレダラウト思フ、ソレ故

ニ政府ハ斯ウ云フ案ヲ立テタト思ヒマス、

而シテ政友會諸君ハ同一ノ意味ニアル案ヲ

御出シニナッテ居ルノデアリマスガ、政府案

ノ意味ト、政友會諸君ノ案ノ附則ヲ設ケタ

意味トハ意味ガ異ッテ居ルノデゴザイマス

カ、ソレヲ參考ノ爲ニ御伺ヲ致シマス

○若宮委員 政府ノ趣旨ガ何レニアルカ、

政府カラ相當答辯モアラウシスルカラ、御

尋ヲ願ヒタイ、私共ノ提案致シタ意味ハ此

附則ニ書イテアル文字ノ通り極メテ簡單デ

讀ンデ貰ヘバヨク分リマス、即チ只今高田

君ノ言ハレタ趣旨ノ通りニ附則ヲ設ケタノ

デアル、ソレカラ私ハ直接ニ御尋ニナッタ

カ知ラヌガ、河野君ノ言ハレタコトハ、私

ノ耳ニハサウ入ラナイ、私共ハ別ニ案ヲ出

シテ居ルカラ、御覽ニナッテ居ルカ居ラヌカ

知リマセヌガ、私共ハ米穀資金ヲ二億圓増

加シ、其中ノ一部ヲ此附則ノ運用ニ充テヤ

ウト云フコトヲ考ヘテ居ッテ、吾々同志トシ

テハ兩方ニ盛ニ運用ヲシヨウト思ッテ居ル

ノデアル、ソレ故ニ少シモオカシク耳ニハ

響キマセヌ

○高田委員 前ニハサウデナイヤウニ聞エ

マシタガ……

〔私語スル者アリ〕

○東委員長 私語ヲ禁ジマス——大體政友

會案ノ質問モ終リマシタガ、實ハ私カラ負

債整理案ノ委員長ト相談ヲシテ三時マデト

云フノヲ、四時マデ此方デ引留メタ譯デア

リマスカラ、一寸此場合大臣ハ出席出來ヌ

ト思ヒマスガ、ソレ以外ニ何カ御質問ヲ繼

續致シマスカ、ソレトモ休憩致シマセウカ

○小川委員 政友會案ニ質問ガアリマス

ガ、實ハ私一寸豫算委員會ニ居リマシタノ

デ、或ハ質問ガ重複ニナルカ知レマセヌガ、

ドウカソレハ御容赦ヲ願ヒマス、今日高田

君ガ質問ヲシテ居リマシタコトニ關聯シテ

伺ヒタイコトガアル、ソレハ米穀法ノ第四

條第五條ガ削除セラレルト、何ニ依テ政府

ハ米ヲ買上ゲルカ、其標準デアリマスガ、

其標準ニ付テ高田君ノ質問ニ對シテ若宮君

ノ御答辯ノ中ニヤレ米穀ノ生産費デアルト

カ、生計費ト云フヤウナモノヲ考ヘルノダ

ト云フ御話ガアツタヤウデス、若シサウデア

ルナラバ第五條ニ率勢米價ノ問題モ關聯シ

テアリマスケレドモ、米穀生産費デアルト

カ、家計費デアルトカ云フヤウナ一ツノ標

準ガ出テ居リマスガ、其五條ヲ削除スルト

云フコトハ家計費ナリ、生計費ナリ、生産

費ナリナンカハ眼中ニ置カナイデ宜イノダ

ト云フコトニナリマスガ、今迄ノ御説明デ

ハ削除ノ精神ガハッキリ致シマセヌガ、之ヲ

削ラレル限りハ家計費モ生産費モ考ヘテナ

イト云フコトデナケレバ五條ノ削除ト云フ

モノハ出テ來ナイト思フノデアリマス

○東委員長 曩ニ高田君ガ質問ヲシテ若宮

君ガ答辯ヲシテ居リマシタ、アナタ聽キマ

セヌデシタカ

○小川委員 聽キマセヌデシタ

○東委員長 ソレデハ一言ニシテ盡キルコ

トデアリマスカラ、簡單ニ願ヒマス

○若宮委員 高田君ヨリ同様ノ御指摘ガア

リマシタコトニ對シテ小川君ニ重ネテ答辯

申上ゲヌデモ宜シイト思ヒマス、唯斯ウ云

フコトダケ一言申添ヘテ置イタラ宜カラウ

ト思ヒマス、成程第五條ノ書方ダケヲ御覽

ニナルト、是ハ何ト言ヒマスカ、最低ノ價

格ヲ裁量スベキ條件トシテ、米穀生産費デ

アルトカ家計費デアルトカ、ソレカラ所謂

率勢米價、斯ウ云フ三項目ガ上ゲテアルノ

デスカラ、之ヲ法ノ表面カラダケ見テ行ケ

バ、何デモナイヤウデアリマスケレドモ、併

ナガラ之ヲ施行令ト照合セ、此四條五條ガ

編入セラレタ其歴史、其實際ニ鑑ミテ行ク

ト、是ガ所謂世ノ妨ヲシテ居ル率勢米價ノ

基礎ニナルノデアリマス、デスカラ斯ウ云

フ事柄ヲ、政府ヲシテ買上セシムル時ノ標

準ニスル、其標準ニスルコトニハ吾々異存

ガアリマセヌケレドモ、之ヲ法律ノ上ニ存

シテ置クト云フコトハ、國民ノ疑惑ヲ貽ス

基ニナル、アノ全農民ノ聲デアアル率勢米價

ハ困ルト云フ、農民ノ惑ヒヲ生ゼシメル虞

モ無キニシモ非ラズ、殊ニ提案ノ際ニ此五

條ヲ取棄テ、シマウタコトハ、サウ云フ精神ヲ一方ニ含ンデ居ルト云フコトヲ一面ニ於テ御承知置テ願ヒタイノデアリマス

○小川委員 此率勢米價如何ト云フコトニ付キマシテハ、私はハ意見ヲ申スノデハアリマセヌガ、其事ハ姑ク措キマシテ政友會ノ御方ガ一體生産費ト云フモノニ生計費ト云フモノヲ一ツノ標準ニシナケレバナラヌト云フコトヲ考ヘテ居ルナラバ、五條デナクテモ四條デモ宜シイガ、米穀法ノ或ル箇條ヘ持ッテ行ッテ其趣旨ヲ明白ニシテ置カレルコトガ必要デハナイカト思フノデアリマス

○若宮委員 率直ニ申シマスガ、提案者ノ一人デアル私ハ別ニ法律家ヲ以テ任ジテモ居リマセヌ、又立法技術ニ長ジタルモノト己惚レテモ居リマセヌ、私共ハ本法律案提出ノ時ノ趣旨辯明ニモ述べテ置キマシタ通り、今日ノ時局匡救ノ中心問題トシテドウシテモ斯ウ云フコトヲヤッテ置カナケレバナラヌト云フ信念カラ、吾々ハ本案ヲ提出シタノデアリマス、此吾々ガ趣旨トスル所ガ各位ニ諒承セラレテ、是サハ間違ヒナクヤッテ下サルナラバ、立法ノ仕方ハ或ハ若シ御名案ガアルナラバ御直シ下サレテモ、他ノ

各位ハ存ジマセヌガ、立案者ノ一人トシテノ私ハ決シテ苦情ヲ申上ゲマセヌ、ダカラ此趣旨ガ一番肝腎ナノデスカラ、之ヲ御認メテ願ヒタイ、サウシテ此趣旨ガ私共ノ主張スル通り認メラレルナラバ、書き方ヲ斯ウ書イタラ宜イデハナイカト云フヤウナコトハ、ソレハ其時ニハ御賛成申上ゲル場合ガアルカモ知レマセヌ

○小川委員 兎ニ角米ヲ政府ガ買上ゲルト云フ大ナル權限ヲ政府ニ與ヘル、法律ヲ以テ其權限ヲ與ヘルト云フコトデアレバ、ソレニ對シテ政府ガ餘リ勝手ニヤッチャイカヌト云フ、ソコニ間違ノナイヤウナ買上テスルト云フコトヲ法律デ示ス必要ハ當然私ハアルト思フノデアリマス、ソレガ其標準ガ生産費デアルトカ、或ハ家計費デアルトカ、或ハ率勢米價トカ云フモノガ働イテ來ルンデセウ、其中ノ率勢米價ガイカナイトシテモ、ソレマデニ政友會ガ生産費ナリ、家計費ガイ宜イト言ハレルナラバ、少クトモ法律ニ於テ、買上ノ方法ナリ、買上ノ標準ヲ示シテ行政當局ニ一ツノ目印ヲ與ヘルト云フコトガ必要デハナイカ、無標準無基準デ勝手ニヤレト言ッタナラバ、私ノ行政ハ誰ガ行政ノ局ニ當ルコトニナルカ知リマセヌガ、ソレハ非難ヲ浴ビセラレルコトニナラ

ウト思ヒマス、時價ト言ヒマシテモ、時價ノ普通ノ標準ガアリマス、何等ノ標準モナクシテ、米穀法ヲ運用セシメヤウト云フコトハ、却ッテ國民ノ期待ヲ裏切ルト云フヤウナ心配ハアリマセヌデセウカ、眞ニ政友會ガ生産費ナリ、家計費ナリヲ標準ニシナケレバナラヌト云フコトヲ考ヘラレテ居ルナラバ、何故ソレヲ働キノ上ニ表サレヌノデアリマスカ

○若宮委員 繰返スヤウデスガ、法律規定ト云フコトノ爲ニ農村救済ノ實ヲ失フト云フコトヲ私共ハ一番懸念ト致シマス、趣旨ノアル所ヲ御分リ願ヒタイノガ吾々ノ一番ノ念願デアリマスカラ、吾々ノ趣旨ヲ容レラレテ、而シテ斯ウ立法サレルノガ宜シイト云フコトナラバ吾々ハ賛成致シマス

○小川委員 凡ソ法規ニハ政府ガ買上ナラ買上ト云フ大ナル權限ヲ持ツノデアリマスカラ、斯ウ云フヤウナ時ニハ買フトカ、何トカ云フ目印ガナイト云フコトハ、法ノ體裁ヲ成サスト思フ、今日マデニ四條五條ガアル以上ハ、之ニ代ルベキ一ツノ標準ガナケレバナラヌト思ヒマス、法ハ此處マデ發達シテ來テ居ルデヤアリマセヌカ、モウ少シ他ノ方面ヲ聞キタイノデスガ、此買上ノ

一ツノ目印ニナルモノヲ何カ規定シナケレバナラヌト云フコトニ付テモウ一度御答ヲ願ッテソレカラ質問シタイト思ヒマス

○若宮委員 私ハ體裁ニ構ッテ居レマセヌ、率直ニ申上ゲマス、目前ニ展開シテ居ル農村ノ此疲弊ヲドウシテ救フカ、是ガ吾々ノ希望、願望デアル、ダカラ體裁ニ於テ惡イ所ガアレバ、各位ニ於テ此趣旨ヲ容レテカラ相當ナ修正案ヲ御出シニナルナラ、私共ソレヲ拜見シテ感服シタナラ、胸襟ヲ披イテ賛成スル、斯クマデ私ハ繰返シ申上ゲテ居ルノデアリマス

○小川委員 是ハ私ハ政友會ノ案ト致シマシテハ、皆様非常ニ國事ヲ御憂ニナルノデスカラ、ソレニハ共鳴致シマスケレドモ、此法律ハ唯此時局ニ對シテ此場合ヲ切抜ケルト云フノデハナクテ、私ハ恆久ノ法律ダト思ヒマス、米穀法ハ恆久ノ法律デア

○若宮委員 突然出テ來テ、突然妙ナ事ノ質問ヲサレルコトハ、委員長ニ於テ宜シク御處置ヲ願ヒタイト思ヒマス、私ハ提案ノ趣旨ノアル所ハ、先程モ詳シク申述べタ、若モ其時ニ臨席シテ居ラレタナラバ、今ノヤウナ質問ハ發生セザルモノト思ヒマス

○小川委員 ソレハ多分專賣法ヲ以テ恆久

ノ法律トセラレルカモ知レマセヌ、サウ云フ風ニ聞イテ居リマス、併シ政友會ノ方トセラレテモ專賣法案ハ黨全體ノ是ハ御提議デハナイヤウニ聞イテ居リマス、今日デ言ヒマスレバ、ドウシテモ政友會ノ黨議トシテ出サレテ居ル案カラ見マスレバ、米穀法ハ恆久ノ法律デアルト思フノデス、政友會ノ有志ノ方ガ專賣法ヲ以テ恆久ノ法律トセラレルト云フコトニ付テハ、政友會トシテモハッキリシテ居ラレナイト思フノデス、ソレニ付テ有志ノ人ガ專賣法ハ恆久のデアッテ、米穀法ハ臨時的ノ應急ノ法案ダト云フコトハ、ソレハ聞エナイト思フ、ダカラ米穀法ハ恆久法デ今日マデ來テ居ルノデス、其恆久法ヲ變ヘルベクヤッテ居ルノデアリマスカラ、米穀法ハ恆久法トシテ見ナケレバナラス、次ノ議會ニ於テ專賣法ガ出テソレガ通過シタ時分ニハ、ソレヲ以テ恆久法トシテモ宜シ、私ハ今日ニ於テ臨時法ト云フコトハ出來ナイト思フノデス

○若宮委員 今議題ニナッテ居リマセヌ、即チ本委員會ニ於テ引續キ研究セラルベキモノニ觸レテ今私ハ御答辯ヲ申上ゲル責任ハナイト信ジマス、而シテ私カラ御答ヲ申上ゲベキモノハ、私ガ本會議ニ於テ説明ヲ致

シマシタ此米穀法中改正法律案ニ關スルコ

トデアリマスカラ、是ダケハ御答ヲ致サナケレバナラナイ、私ハ及バズナガラ我黨ヲ代表致シマシテ、本案ヲ提出スル其理由説明ニ於テ、是ガ臨時應急ノモノデアルト云フ我黨ノ趣旨ハ、本議場ニ於テ誠ニ明瞭ニ致シテ置キマシタ、或ハ御聽キ下サラナンダノナラドウゾ速記録ニ就テ十分ニ御熟讀ヲ願ヒタイ、而シテ今日此非常時ニ於ケル非常對策、時局匡救ノコトヲ吾々ガ熱心ニ研究ヲ致シ、實現ヲシナケレバナラヌト云フ此大切ナ時ニ於テ、只今小川君ガ申述ベラレルヤウナ形式法理米穀法ト云フモノハ期限ガ定メテナイ、恆久のナ形式ノ法律デアルカラ次ニ何カ恆久法ガ出來ルマデハ、ソレガ恆久法ダナドト云フ形式法理ニ囚レテ今私ハ時間ヲ費ヤスコトハ、國民ニ對シテ相濟マヌト思フノデアリマス、現ニ吾々が左様ニ考ヘルノミナラズ、現内閣ニ於テモ私ノ質問ニ對シテ、次ノ通常議會マデニハ恆久策ヲ講ジテ、之ヲ樹立スルト云フコトヲ公ノ席ニ於テ言明ヲ致シテ居ル、今日ハ左様ニ吾々ハ決ッテ居ルモノデアルト確信ヲシテ居リマス

○小川委員 政友會ノ黨議デハナイ、腹デアル、是ガ恆久法デナイト云フコトニスル

ノデハ駄目ダト思ヒマス、專賣法ハ黨議デ

ハアリマセヌ、是ハ應急的ノ法律デアリマセヌ、此法律ハ——此米穀法ハ恆久のノ法律トシテ今日マデ來テ居ルノデス、ソレヲ變更スルニハ、變更シタ結果デナクチャナラス、ヤハリ此法律ト云フモノハ是ガ立法セラレタ今日マデノ恆久法ナンデスカラ、ソレヲ恆久法トスルノニ何ノ不思議ガアリマス、併シ私ハ政友會ノ内輪デヤッタコトヲ以テ此處デ論議スル必要ハナイト思フ、ソレハアナタ方ガ恆久法ニシヤウト爲サルナラバ、恆久法ニ爲サルダケノ話デアリマス、併シサウ云フコトハ色々論議シテモ仕様がアリマセヌカラ、此程度ニシテ置キマシテ、私ハ第一條ノ改正ニ付キマシテ伺ヒタイノデアリマス、此「第一條ニ左ノ一項ヲ加フ」ト云フコトデアリマス、其中ニ「市町村ニ對シ其ノ貯藏ニ係ル米穀ヲ有償若ハ無償ニテ交付シ」云々トアリマス、此無償ニテ交付スルト云フコトハドウ云フ趣旨デアリマセウカ、實ハ是ハ恤救、賑恤、慈善的ノ働キニナルト思フノデアリマス、米穀法ニ於キマシテ、一ツノ惠ミトシテ、只デ呉レテヤル、賑恤、救貧ト云フヤウナ其趣旨ヲ米穀法ノ中ヘ挾マシメルト云フコトハ、ドウ云フ趣旨デアリマスカ、此無償

ニテ交付スルト云フ、其一ツノ政策ヲ私ハ善イトカ惡イトカ云フノデアリマセヌ、米穀法ノ中ニサウ云フヤウナ救恤的ノ政策ヲ編込ムト云フ其考ハ、何處カラ來テ居リマスカ、ソレヲ一ツ伺ヒタイノデアリマス

○若宮委員 異ナ御尋ト思フ、一寸何ヲ御

尋ニナルカ私甚ダ御趣意ノアル所ヲ諒解スルニ苦シミマスガ、目的ハ此處ニ限定シテ書イテアリマス、政府ハ災害救助其ノ他緊急ノ必要アリト認ムルトキハ市町村ニ對シ其ノ貯藏ニ係ル米穀ヲ有償若ハ無償ニテ交付シ又ハ一定ノ期間ヲ限り貸付ヲ爲スコトヲ得」ト、此處ニ明ニ法律ノ目的ハ書イテアルノデスカラ、之ヲ御讀ミ下サレバ洵ニ明瞭デアリマス、恐ラクハ今ノ御尋ハ、ヤハリ形式法理論デアル、想像シテ申上ゲルノハ失敬ニ當ルケレドモ、私ガ今ノ御尋ヲ聽イテ想像シテ見ルト、米穀法ト云フモノハ、其第一條ニ於テ、「政府ハ米穀ノ數量又ハ市價ヲ調節スル爲必要アリト認ムルトキハ」云々トシテ、目的ヲ書イテ居ル、然ルニ更ニ救恤、即チ此吾々が加ヘントスル第二項ノヤウナモノヲ入レルト一ツノ目的ヲ兼ネルコトニナルノヂヤナイカト云フ形式

的ノ御尋デアラウカト想像ヲ致シマス、間

違ッタ又取直シテ下サイ、私ハサウ想像致シマスガ、ソレハ一向差支ナイ、一ツノ法律ニ二ツノ目的ヲ兼ネシメヤウト、十ノ目的ヲ兼ネシメヤウト、一向差支ナイ、今ノ政府ハ單行法ヲ以テヤラウトシテ居ル、ソレモ一ツノ立法ノ遣方デアル、又吾々ノヤウニ此第一條ニ一項ヲ加ヘテ二ツノ目的ヲ兼シメルコトモ一ツノ立法ノ方法デアル、何等差支ナイモノデアルト確信シテ居リマス

○小川委員 今若宮君ノ御答辯ニナリマシタコトニ關係シテ居リマスガ、米穀法ト云フモノハ米穀ノ數量、市價ノ調節、是ガ私ハ使命デアラウト思フノデス、法律ニハ凡ソ目的ガアル、幾ツノ目的ヲ兼ネテモ宜イデヤナイカト云フ御議論モアリマスケレドモ、其目的タルヤ、相矛盾シタル目的デアッテ、ソレガ旨ク行ハレヌヤウナモノガ一緒ニアッテハナラヌト思ヒマス、一體事ノ性質カラ申シマシテモ、米ヲ只デ呉レテヤルト云フヤウナコトハ、是ハ社會政策的ノコトデアリマセウガ、是ハ一般會計デ、内務省ナラ内務省ノ方カラ相當ナ經費ヲ計上シテ出スベキ性質ノモノデアリマシテ、米穀法ノ中デサウ云フ目的ヲ達スベキモノデハナイ、事ノ性質上、ハッキリ違ッタモノダト私

ハ思フノデス、ソレハ運用ノ方カラ見レバ直グ分リマスガ、米穀法ノ運用ヲスルニ致シマシテハ、米穀需給調節特別會計ト云フモノガ裏ニナッテ行クト思フ、是ハ表裏ニナッテ來ルト思フ、サウシマスト米穀ヲ買上ダルト云フノハ、ヤハリ米穀需給調節特別會計ニアル米穀資金ヲ以テ買フト云フコトニナルノダト思フノデス、ソコガ運用デアリマスガ、其運用ヲシナイデ、只デ呉レタルト云フコトガアリマシタ時分ニハ、一體ドウデセウカ、サウ云フコトノ爲ニ其資金ハ與ヘラレタモノデハナイト私ハ思フノデアリマス、サウナレバ一般會計デサウ云フ金ハ出スベキモノデアリマシテ、米穀需給調節特別會計カラ出スベキ金デハナイト私ハ思フ、其處ニ其目的ガ紛淆スルノデス、目的ガ矛盾スルノデス、ソレデ今ノ賑恤ノヤウナ意味ニ於テ米ヲ呉レタルト云フコトヲ否認スルノデハナイ、若シソレガ今日ニ於テ必要ナラバ、一般會計デ出シテ、米穀需給調節特別會計デ出スベキモノデナイ、目的ハ幾ラアッテモ宜イデヤナイカト云フコトナラバ、米穀需給調節特別會計カラ、例ヘバ内務省ノ出スベキ金ヲモ皆出シテモ宜イデヤナイカト云フコトニナル、極端ニ言ヘバ……、ソレナコトハナイ筈デス、ソ

コニ法律ガアリ、會計ガ特別ニナッテ居ッテ、紛淆ヲ許サナイヤウ、誤リノナイヤウニスルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、アナタノ趣旨ガ若シ是デ貫カレヤウトスルナラバ、米穀法ニ規定シヨウト單行法ニシヨウト、ソレハ色々方法ハアリマセウ、又恆久的ノ法律上ノ立法方モアリマス、併シ米穀法ニ於テハ、米穀需給調節特別會計ヲシテヤラセルノデナケレバ、會計ノ紛淆ヲ來シマス、是ハ私ハ事理ガ餘リニ明瞭ニナラナイ、今日ノ立法ニ於キマシテハ、趣旨ハ善クッテモ、形式々々ト言ハレマスケレドモ、法律ハ形式デアル、形式ヲ整ヘテ人ノ心ヲ安ンズベキモノデアリマス、ソレハ私ハ絶對ニ必要ダト思フノデアリマス、此點ニ付テ發案者ハドウ考ヘテ居ラレマス

○若宮委員 モウ重ネテ御答スル必要ハナイト思ヒマスガ、第二項ヲ加ヘテ何處ガ惡イノデアリマスカ、二ツノ目的ヲ兼ネサスコトガ法理上惡イト云フコトハドウモ今初テ承ルノデ、私共御尋ノ要點ガ何處ニアルヤラ諒解ニ苦シムノデアリマス、私共ハモウ少シ眞ニ時局ト云フコトヲ考ヘ、眞ニ農村ノ救済ト云フコトヲ考ヘテ貫ヒタイト思フノデス、徒ニ形式法理ニ時間ヲ費スト云フコトハ、委員長、吾々ハ實ニ堪ヘヌノデア

リマス、モウ少シ實體ニ觸レテ、寧ロ左様ナコトニ時間ヲ空費スルヨリハ、率直ニ簡明ニ若シモ御議論ガアルナラバ——率勢米價デヤッテ今ノ農家ハ少シモ困ラヌト云フコトマデ主張サレルナラ、私ハ謹ンデ御議論ヲ承ルノデアリマスケレドモ、形式デ單行法ニシヨウガ何ニシヤウガ、此目的ノアル所ガ宜イトサレタナラバ、御賛成ニナッテ差支ナイデヤアリマセヌカ

○小川委員 モウ一ツ、政友會ハ斯ウ云フ風ニ改正ニナッテモ、米穀需給調節特別會計ト云フモノハ其儘ニ運用セラレテ行クト思ヒマスガ、ソレデ間違アリマセヌカ

○若宮委員 サウデス

○小川委員 サウシマスト政友會ハ幾ラデサレルカ知リマセンガ、政府ノ出シテ居ラレル所ノ此四億八千萬圓ヲ御認メニナリマスカ

○若宮委員 其點ニ付テハ適當ノ機會ニ申述ベル積リデ居リマシタガ、私共ノ考トシテハ、政府デ増額ヲセラレヨウト言フモノヲ以テ尙ホ不足ナリト考ヘテ居リマス、尙ホソレヨリモ増額ヲ致シタイト云フ考ヲ以テ居リマス、併シ其點ニ於テハ未ダ質疑應答ヲ經テ居リマセヌ、是ヨリ段々審査ガ進ンデカラ、吾々ノ意見ヲ述ベテ御賛成ヲ仰

ギタイト思ッテ居リマス

○小川委員 米穀需給調節特別會計ノ資金ヲ増スト云フコトニハマダハッキシタ御考ガナイ、是カラ後ニ考ヘテ決メルコトニ諒解シテ宜シイノデスカ

○若宮委員 ハッキシタ考ハ持ッテ居リマス、持ッテ居リマスガ、未ダソレガ適當ノ機會ニ到達シテ居ラヌト云フコトヲ申上ゲタノデス、願クハ本委員會ニ席ヲ置カレル人ハ、始終顔ヲ出サレテ、大概委員會ノ經過等ヲ御承知アリタイト云フコトヲ私ハ切望シテ置キマス

○小川委員 ソレハ一億三千萬圓増シタノデハ足リナイデ、モット多ク増スト云フ御意見ノヤウデアリマスガ、何レニ致シマシテモ、其額ノ中デ米ヲ買フ、買ッタ米ハ只デ呉レテヤルノダト云フ、サウシマス、米ヲ今日迄買ッテ居ッテ、ソレヲ賣ッテ行クト云フヤウナ考カラ、違ッタ目的ガ一ツ這入ッテ來テ、賑恤ノ意味デアルト云フナラバ、ドレダケノ程度ニ於テ只デ呉レテヤルト云フ範圍ガ決マラナケレバナラス、是ハ如何ナル國デアリマシテモ、物ヲ只デヤルト云フヤウナコトガアッタナラバ、其範圍ガ決マラナケレバナラス、無制限デ行クト云フコトハナイノデアリマス、如何ナル慈悲デアリマ

シテモ、ソレハ内務省ノ豫算ニアラウガ、或ハ農林省ノ豫算ニアラウガ、其豫算ノ立テ方ニ於テ或ル程度ト云フモノガ決マラナケレバナラス、或ル程度マデ決マラスデ何處マデヤッテ行クカ分ラヌヤウナ立法ノ仕方ハナイト私ハ思フガ、其處ニ何カ限界ヲ設ケル考ガアルカ、幾ラデモ出シテ宜シト云フコトデアリマスカイ

○若宮委員 財界ヲ豫見シテ、其程度ヲ定メテ、ソレニ適應シタ豫算ヲ定メラレタ例ハ、私不敏ニシテ承リマセヌ、又理論上アルベキ筈ハナイノデアリマス、茲ニ吾々ガ提案シテ居ル事項ヲ御覽下サレバ能ク分リマス、「災害救助其ノ他緊急ノ必要アリト認ムルトキハ」ト目的ハ限定サレテ居ル、加之趣旨辯明ノ際ニモ私ハ詳シク申述べテ置キマシタ、極メテ局限セラレタル場合ヲ是マデ申述べテアル、今日モ御出席下サレバ、當局大臣トノ間ニ其問答ヲ重ネテ居ッテ、能ク御諒解爲サッテ居ルコトデアアル、願クハモット御出席願ヒタイノデアリマス

○小川委員 私ハ若宮君ノ今ノ御言葉ニハ承服シ難イ、國家ガ非常ノ場合ニ於テ相當賑恤ヲシナケレバナラスト云フコトハ宜シイデゴザイマセウガ、限度ガ決ラヌデヤッテ宜イト云フコトハナイ、幾ラ何デモ豫算ニ於テ限度ヲ決メラレナイコトハアリマセヌ、何千萬ナリ、何百萬ナリ、ソレヲ決メズニ賑恤ノ目的ヲ達スルト云フコトハ出來スト私ハ思フ

於テ限度ヲ決メラレナイコトハアリマセヌ、何千萬ナリ、何百萬ナリ、ソレヲ決メズニ賑恤ノ目的ヲ達スルト云フコトハ出來スト私ハ思フ

○東委員長 小川君、アナタノ意見モ能ク分リマシタ、若宮君ノ説モ能ク分リマシタガ、其以上ハ意見ノ相違デアリマスカラ、此處デハ餘リ議論ヲスル必要ハナイト認メマスカラ、此程度デドウカ……

○原(淳)委員 一寸伺セマス、私ハドウモハッキシ致シマセヌガ、政友會ガ出シタ米穀法中改正法律案理由書ト云フ中ニ、其ノ應急對策トシテ率勢米價ニ關スル規定ヲ廢止シ云々トアリマス、此率勢米價ト云フ意味ガ、私共ノ諒解シテ居ル率勢米價ト云フ意味ト、此提案者ノ率勢米價ト云フ意味ト少シ違フヤウナ氣持ガ致シマス、此改正ノ内容ハ第四條ノ削除、第五條ノ削除ト云フコトニナッテ居リマスガ、而モ第四條、第五條ノ中ニハ率勢米價以外ニ生産費ノ規定モアリマス、家計費ノ規定モアリマス、サウ云フモノヲ含シテ居ルニ拘ラズ、此理由書ノ中ニハ率勢米價ニ關スル規定ヲ廢止ストアリマス、是ハ寧ろ率勢米價ト云フ意味ガ少シ違フヤウデアリマスガ、此理由書ニ書イテアル率勢米價ト云フ意味ヲ説明テ願ヒタ

イト思ヒマス

○若宮委員 ソレハ改正案ヲ御覽下サレタ方ハ能ク御分リダラウト思ヒマス、即チ第四條及第五條ヲ削除スト云フノガ吾々ノ趣意デアル

○原(淳)委員 第四條、第五條ヲ削除スルコトハ分ッテ居リマスガ、世間ニ所謂率勢米價ト通常言フノハ、此施行令ノ第三條ニ書イテアルノガ所謂率勢米價デアッテ、施行令第四條ニアルノハ、所謂普通ニ家計米價ト申シテ居リマスガ、此理由書ニ書イテアル率勢米價ト云フノハ、此施行令ノ第三條ニアル率勢米價ヲ言フニ非ラズシテ、廣イ意味ノ率勢米價デヤナイカト思ヒマスガ、其點ヲハッキシテ戴キタイ

○若宮委員 能ク御尋ノ趣旨ガ分リマシタ、ソレハ廣イ方ノ意味ノ積リデ、即チ條文ノ方ニ現ハレテ居ル四條、五條ヲ削除スルト云フ意味ハ、初メ長イ文句デ詳シイ理由書ヲ書イテ置キマシタガ、通常政府カラノ理由書デモ、議員カラノ理由書デモ、極メテ簡單ニ三四行ニ書クコトニナッテ居リマスノデ、書改メテ極ク簡單ニ書イタノデアリマス、御趣意ハアナタノ御考ノ通りデアリマス

○東委員長

ソレデハ本日ハ是デ散會致シ

マ
ス

午後四時三十五分散會

昭和七年八月二十九日印刷

昭和七年八月三十日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社印刷所